

平成 29 年度
牧之原市 市民意識調査
～ 報告書 ～

平成 29 年 6 月
牧之原市

目 次

1 調査の概要	1
2 調査結果	2
1) 調査結果の要約	2
1. 牧之原市での暮らしについて	2
2. 原子力発電について	3
3. 子育て環境について	3
4. 公共施設の更新問題について	4
5. 産業・雇用について	5
6. 地域活動について	6
7. 市からの情報発信について	7
8. 牧之原市の行政サービスについて	8
9. 全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位	10
2) 調査結果の詳細	11
1. 牧之原市での暮らしについて	11
(1) 今後とも住み続けたいか	11
(2) 他の地域へ移りたい理由	13
(3) 今現在、幸せだと思うか	16
(4) 幸せだと思う理由	18
2. 原子力発電について	21
(5) 浜岡原発の今後について	21
3. 子育て環境について	23
(6) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か	23
(7) 子供を産み育てやすい環境にするため市がすべきこと	25
4. 公共施設の更新問題について	28
(8) 「公共施設の更新問題」の把握の有無	28
(9) 「公共施設の更新問題」への牧之原市の取り組みの把握の有無	30
(10) 「公共施設の更新問題」の情報源	32
(11) 使用料の値上がりを受け入れられるか	35
5. 産業・雇用について	37
(12) 市の産業に活力があると思うか	37
(13) どの産業に活力があると思うか	39
(14) 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組み	41

6 . 地域活動について	44
(15) 週に何日くらい外出するか	44
(16) 何のために外出するか	46
(17) 30分以上の運動を週何日くらいするか	49
(18) 現在参加している地域活動は	51
7 . 市からの情報発信について	55
(19) 地域活動の活発・活性化に必要なことは何か	55
(20) 市からのどんな情報を得たいと思うか	58
(21) 市からの情報を何から知っているか	61
(22) 広報まきのはらのどこを読むか	64
(23) 広報まきのはらの構成や内容について 文字の大きさ	67
(24) 広報まきのはらの構成や内容について 文字の量	69
(25) 広報まきのはらの構成や内容について ページ数	71
(26) 広報まきのはらの構成や内容について 見やすさ	73
(27) 広報まきのはらの構成や内容について 内容	75
8 . 牧之原市の行政サービスについて	77
(28) 満足度・重要度について	77
(29) 満足度・重要度 【健康福祉】	78
(30) 満足度・重要度 【教育文化】	81
(31) 満足度・重要度 【産業経済】	84
(32) 満足度・重要度 【生活基盤】	87
(33) 満足度・重要度 【防災】	90
(34) 満足度・重要度 【市政経営】	93
9 . 回答者の属性	96
(35) 回答者の属性 性別	96
(36) 回答者の属性 年齢	96
(37) 回答者の属性 世帯構成	96
(38) 回答者の属性 子どもの有無とその年齢	97
(39) 回答者の属性 職業	97
(40) 回答者の属性 居住地域	98
 3 調査票	 99

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成 27 年度からスタートした第 2 次総合計画推進のための資料とすることを目的とする。

2) 調査項目

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 牧之原市での暮らしについて | 2. 原子力発電について |
| 3. 子育て環境について | 4. 公共施設の更新問題について |
| 5. 産業・雇用について | 6. 地域活動について |
| 7. 市からの情報発信について | 8. 牧之原市の行政サービスについて |
| 9. 回答者の属性 | 10. 日ごろ思うこと(自由意見)【別冊】 |

3) 調査の設計

- ・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の 16 歳以上の男女
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成 29 年 4 月 28 日～平成 29 年 5 月 12 日
- ・発送数：1,400 人

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,397 人	804 人	57.6%

抽出数は 1,400 人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない 3 人については対象外とした回収数 807 人のうち無効票 3 人

報告書を見る際の注意事項

回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してある。

百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。

1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。

サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。

2 調査結果

1) 調査結果の要約

1. 牧之原市での暮らしについて

3人のうち2人が牧之原市に「住み続けたい」

【問1 今後とも住み続けたいか】

今後とも住み続けたいかでは、「住み続けたい」65.0%が最も多く、以下「市外へ移りたい」15.8%、「わからない」12.9%、「市内の他の場所へ移りたい」5.0%となっている。

昨年度と比較すると、「住み続けたい」（昨年度 59.0%）が6.0ポイント高くなっている。

「地震や津波などの被災のおそれがあるから」や「公共施設や商店がなく生活に不便だから」を理由に他の地域に移りたいが約半数

【問2 他の地域へ移りたい理由】

他の地域へ移りたい理由では、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」47.9%が最も多く、以下「公共施設や商店がなく生活に不便だから」46.7%、「通勤や通学など交通面が不便だから」38.3%、「医療や介護の環境が良くないから」27.5%、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」19.8%となっている。

昨年度と比較すると、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」（昨年度 38.4%）が8.3ポイント、「通勤や通学など交通面が不便だから」（昨年度 31.1%）が7.2ポイント高くなっている。

今現在、幸せだと“思う”が約7割

【問3 今現在、幸せだと思うか】

今現在、幸せだと思うかでは、「大いに思う」14.6%、「ある程度思う」54.2%を合わせた“思う”が68.8%となっている。一方、「あまり思わない」5.8%と「まったく思わない」3.0%をあわせた“思わない”は8.8%となっている。

「健康であるから」幸せだと思っているが6割

【問4 幸せだと思う理由】

幸せだと思う理由では、「健康であるから」60.2%が最も多く、以下「家族や友人との関係が良好だから」55.3%、「住まいがあるから」48.6%、「生活環境が良好であるから」24.1%、「生きがいがあるから」15.6%となっている。

昨年度と比較すると、「スポーツ活動などの趣味が充実しているから」（昨年度 1.6%）が5.6ポイント高くなっている。

2 . 原子力発電について

「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が半数

【問5 浜岡原発の今後について】

浜岡原発の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」51.7%が最も多く、以下「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」20.9%、「どちらともいえない」17.5%、「わからない」5.7%、「その他」3.1%となっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」（昨年度 47.3%）が4.4ポイント高くなっている。

3 . 子育て環境について

3人のうち1人が、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと“思う”

【問6 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か】

牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かでは、「大いに思う」2.6%と「ある程度思う」32.7%を合わせた“思う”35.3%となっている。一方、「あまり思わない」18.3%と「まったく思わない」3.7%を合わせた“思わない”が22.0%となっている。

昨年度と比較すると、“思わない”（昨年度 28.0%）が6.0ポイント低くなっている。

子供を産み育てやすい環境にするために市がすべきことは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が7割

【問7 子供を産み育てやすい環境にするため市がすべきこと】

子供を産み育てやすい環境にするため市がすべきことでは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」70.9%が最も多く、以下「子育てに関する経済的支援の充実」41.9%、「親子で遊べる施設や公園の整備」31.6%、「地震・津波などの災害対策」23.3%、「一時的に子どもを預かる施設」21.5%となっている。

昨年度と比較すると、「地震・津波などの災害対策」（昨年度 29.4%）が6.1ポイント低くなっている。

4 . 公共施設の更新問題について

公共施設の更新問題の認知度は3割

【問8 「公共施設の更新問題」の把握の有無】

「公共施設の更新問題」の把握の有無では、「聞いたことがある」39.1%が最も多く、以下「知っている」31.8%、「知らない」27.7%となっている。

昨年度と比較すると、「知っている」（昨年度25.3%）が6.5ポイント高く、「知らない」（昨年度34.2%）が6.5ポイント低くなっている。

公共施設の更新問題への牧之原市の取り組みの把握の認知度は1割

【問9 「公共施設の更新問題」への牧之原市の取り組みの把握の有無】

「公共施設の更新問題」への牧之原市の取り組みの把握の有無では、「知らない」63.3%が最も多く、以下「聞いたことがある」25.2%、「知っている」9.5%となっている。

昨年度と比較すると、「知らない」（昨年度68.0%）が4.7ポイント低くなっている。

情報源は「広報まきのはら」が7割

【問10 その情報源】

その情報源では、「広報まきのはら」70.6%が最も多く、以下「家族や知人」33.7%、「市民グループの会合」14.3%、「議員の話」11.1%、「市の会合」10.8%となっている。

昨年度と比較すると、「市の会合」（昨年度5.5%）が5.3ポイント高くなっている。

施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりすることを“容認できる”は8割を超える

【問11 使用料の値上がりを受け入れられるか】

使用料の値上がりを受け入れられるかでは、「容認できる」12.7%と「ある程度までは容認できる」72.6%を合わせた“容認できる”が85.3%となっている。一方、「容認できない」は12.8%となっている。

昨年度と比較すると、“容認できる”（昨年度81.2%）は4.1ポイント高くなっている。

5 . 産業・雇用について

市の産業に活力（元気）があると“思う”人は、1割

【問 12 市の産業に活力があると思うか】

市の産業に活力があると思うかでは、「あまり思わない」34.6%と「まったく思わない」11.7%を合わせた“思わない”が46.3%となっている。一方、「大いに思う」1.0%と「ある程度思う」10.1%を合わせた“思う”は11.1%となっている。

昨年度と比較すると、「あまり思わない」（昨年度38.9%）は4.3ポイント低く、“思わない”（昨年度53.1%）は6.8ポイント低くなっている。

活力（元気）のある産業は、「工業」が約6割

【問 13 どの産業に活力があると思うか】

どの産業に活力があると思うかでは、「工業」58.4%が最も多く、以下「農業」43.8%、「観光業」15.7%、「水産業」13.5%、「商業」13.5%となっている。

昨年度と比較すると、「工業」（昨年度34.7%）は23.7ポイント高くなっている。

市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは、「企業誘致の促進」が半数

【問 14 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組み】

産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組みでは、「企業誘致の促進」49.6%が最も多く、以下「後継者の育成への支援」38.4%、「特産品・製品の市外へのPR」32.6%、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」23.0%、「起業・新規就農に対する支援」21.1%となっている。

6 . 地域活動について

週あたりの外出頻度は、「毎日」が4割を超える

【問 15 週に何日くらい外出するか】

週に何日くらい外出するかでは、「毎日（週に6～7日）」45.0%が最も多く、以下「週に4～5日」20.3%、「週に2～3日」15.9%、「週に1日」8.6%、「ほとんどない」8.6%となっている。

外出の目的は、「買い物」が8割

【問 16 何のために外出するか】

何のために外出するかでは、「買い物」80.6%が最も多く、以下「仕事（農作業含む）」59.8%、「医療機関への通院」37.9%、「趣味や娯楽」33.2%、「外食」30.8%となっている。

30分以上の運動習慣は、「ほとんどない」が半数

【問 17 30分以上の運動を週何日くらいするか】

30分以上の運動を週何日くらいするかでは、「ほとんどない」49.5%が最も多く、以下「週に2～3日」19.0%、「週に1日」11.8%、「週に4～5日」9.0%、「毎日（週に6～7日）」8.8%となっている。

参加している地域活動は、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が3割以上

【問 18 現在参加している地域活動は】

現在参加している地域活動では、「参加していない」35.8%が最も多く、以下「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」33.3%、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」19.4%、「文化芸術（伝統行事、まつり等）」15.0%、「スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等）」12.1%となっている。

地域活動の活発・活性化に必要なことは、「住民の自治意識の向上」が約半数

【問 19 地域活動の活発・活性化に必要なことは何か】

地域活動の活発・活性化に必要なことは何かでは、「住民の自治意識の向上」46.6%が最も多く、以下「行政と住民との地域情報の共有」35.1%、「人材育成」31.1%、「行政からの財政支援」25.1%、「活動拠点の整備」17.9%となっている。

昨年度と比較すると、「住民の自治意識の向上」（昨年度 41.3%）が 5.3 ポイント、「人材育成」（昨年度 25.6%）が 5.5 ポイント高くなっている。

7. 市からの情報発信について

3人のうち2人が、「健康・医療・福祉」情報を市から得たい

【問 20 市からのどんな情報を得たいと思うか】

市からのどんな情報を得たいと思うかでは、「健康・医療・福祉」64.9%が最も多く、以下「防災・防犯」49.9%、「観光・イベント」26.1%、「生活」20.4%、「環境」16.2%となっている。

4人のうち3人が、市からの情報の入手方法に「広報まきのはら」

【問 21 市からの情報を何から知っているか】

市からの情報を何から知っているかでは、「広報まきのはら」76.2%が最も多く、以下「家族や知人」36.8%、「区、町内会の会合」30.6%、「新聞、テレビ、ラジオ」30.0%、「議会だより」17.0%となっている。

広報まきのはらで読まれている箇所は、「全て」が6割

【問 22 広報まきのはらのどこを読むか】

広報まきのはらのどこを読むかでは、「全て」60.0%が最も多く、以下「特集・お知らせ」25.8%、「まちのわだい」24.1%、「生活情報」22.0%、「市政情報」21.9%となっている。

昨年度と比較すると、「まちのわだい」（昨年度17.7%）、「市政情報」（昨年度16.4%）、「困りごと・悩みごと相談」（昨年度4.6%）などが高くなっている。

広報まきのはらの文字の大きさ・文字の量・ページ数は「ちょうど良い」が8割を超える。3人のうち2人が“見やすい”く、内容が“良い”

【問 23 文字の大きさ】

文字の大きさでは、「ちょうど良い」86.4%が最も多く、以下「小さい」9.2%、「大きい」0.6%となっている。

【問 23 文字の量】

文字の量では、「ちょうど良い」84.7%が最も多く、以下「多い」9.8%、「少ない」1.0%となっている。

【問 23 ページ数】

ページ数では、「ちょうど良い」82.2%が最も多く、以下「少ない」7.2%、「多い」5.6%となっている。

【問 23 見やすさ】

見やすさでは、「見やすい」19.9%と「どちらかといえば見やすい」48.5%を合わせた“見やすい”68.4%となっている。「見にくい」1.4%と「どちらかといえば見にくい」3.2%を合わせた“見にくい”は4.6%となっている。

【問 23 内容】

内容では、「良い」20.9%と「どちらかといえば良い」43.7%を合わせた“良い”が64.6%となっている。「悪い」0.5%と「どちらかといえば悪い」2.1%、を合わせた“悪い”が2.6%となっている。

昨年度と比較すると、「良い」（昨年度15.5%）は5.4ポイント高く、「悪い」（昨年度58.2%）は6.4ポイント高くなっている。

8 . 牧之原市の行政サービスについて

【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

『3 こども医療費制度』が満足度・重要度ともに最も高く7割を超える

『3 こども医療費制度』の満足度では、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が72.3%と7割を超え、評価点は1.00点となっている。

また、重要度においても『3 こども医療費制度』で「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が76.4%と7割を超えており、評価点は1.29点と最も高くなっている。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』の重要度が約7割で最も高い

『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』の満足度では、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が57.1%と半数を超え、評価点は0.36点となっている。

一方、重要度では『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”69.4%、評価点は1.03点と高くなっている。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

全ての項目において、満足度はマイナス評価、重要度はプラス評価

『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が74.2%と7割を超え多く、評価点も-1.05点と低くなっている。

一方、重要度では『20 特産品の消費推進の取り組み』と『24 企業誘致の取り組み』で「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が61.6%と約6割を占め、評価点は『20 特産品の消費推進の取り組み』が0.70点、『24 企業誘致の取り組み』が0.77点と高くなっている。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

『30 道路や河川の補修・整備』『31 上水道施設整備の取り組み』『34 生活環境対策などへの取り組み』の重要度が多く7割を超えて高い

『40 公共交通の充実』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が69.0%と多く、評価点は-0.87点と低くなっている。

一方、重要度では『34 生活環境対策などへの取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が76.3%と約7割を占め、評価点は1.03点と高くなっている。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』の重要度が8割で最も高い

『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が60.2%と6割を占め、評価点は-0.49点と低くなっている。

一方、重要度では『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が77.4%と7割を超え、評価点が1.29点となっており、依然とし震災・防災に関する取り組みの重要度が高いことがわかる。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり

『54 行政改革の取り組み』が満足度・重要度ともに最も高く半数を超える

『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』の満足度では、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が51.9%と約半数を占め、評価点は0.22点と低くなっている。

一方、重要度では『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が60.3%と多く、評価点は0.56点と高くなっている。

9. 全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位

	満足度					重要度					
	順位	29年度 (A)	28年度 (B)	差 (A)-(B)		順位	29年度 (A)	28年度 (B)	差 (A)-(B)		
健康福祉	1) 子育て支援の取り組み	8	0.23	0.06	0.17	ア	7	1.05	1.01	0.04	ア
	2) 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	2	0.44	0.40	0.04	ア	5	1.13	1.10	0.03	ア
	3) こども医療費制度	1	1.00	1.16	-0.16	ウ	1	1.29	1.30	-0.01	ウ
	4) 高齢者への福祉サービスの取り組み	15	0.09	0.07	0.02	ア	8	1.04	0.95	0.09	ア
	5) 障がい者への福祉サービスの取り組み	14	0.12	0.13	-0.01	ウ	12	0.96	0.80	0.16	ア
	6) 福祉施設などの整備	29	-0.15	-0.06	-0.09	ウ	13	0.92	0.84	0.08	ア
	7) 健康づくりサービスの推進	8	0.23	0.25	-0.02	ア	21	0.81	0.65	0.16	ア
	8) 健康相談などの日常的な保健活動	5	0.34	0.30	0.04	ア	34	0.60	0.49	0.11	ア
	9) 公共スポーツ施設の整備	28	-0.14	-0.13	-0.01	ウ	50	0.38	0.27	0.11	ア
	10) 救急医療体制の整備、橿原総合病院の診療体制	55	-0.80	-0.64	-0.16	ウ	3	1.16	1.13	0.03	ア
	11) 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	25	-0.05	0.01	-0.06	ウ	43	0.48	0.25	0.23	ア
教育分野	12) 子どもを届けたいと思える学校づくりへの取り組み	15	0.09	0.09	0.00	ア	9	1.03	0.98	0.05	ア
	13) 小・中学校施設の整備	20	0.04	0.07	-0.03	ウ	17	0.88	0.97	-0.09	ウ
	14) 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供	4	0.36	0.44	-0.08	ウ	41	0.52	0.40	0.12	ア
	15) 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み	20	0.04	0.04	0.00	ウ	16	0.89	0.81	0.08	ア
	16) 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取り組み	32	-0.22	-0.15	-0.07	ウ	52	0.36	0.30	0.06	ア
	17) 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	25	-0.05	0.03	-0.08	ウ	47	0.43	0.28	0.15	ア
	18) 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	48	-0.52	-0.52	0.00	ウ	32	0.61	0.50	0.11	ア
	産業経済	19) 農漁業の担い手への支援の取り組み	49	-0.55	-0.53	-0.02	ウ	27	0.68	0.56	0.12
20) 特産品の消費推進の取り組み		38	-0.33	-0.42	0.09	ア	25	0.70	0.60	0.10	ア
21) 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		57	-1.05	-1.04	-0.01	ウ	31	0.62	0.54	0.08	ア
22) 茶業安定のための取り組み		51	-0.63	-0.55	-0.08	ウ	32	0.61	0.55	0.06	ア
23) サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場の復元への取り組み		44	-0.46	-0.49	0.03	ア	56	0.18	0.14	0.04	ア
24) 企業誘致の取り組み		53	-0.72	-0.79	0.07	ア	23	0.77	0.68	0.09	ア
25) 起業支援、産業雇用支援の取り組み		50	-0.59	-0.66	0.07	ア	28	0.64	0.60	0.04	ア
26) 商工業の振興の取り組み		44	-0.46	-0.54	0.08	ア	30	0.63	0.61	0.02	ア
27) 商店街の魅力向上の取り組み		54	-0.75	-0.86	0.11	ア	38	0.53	0.54	-0.01	ウ
28) 観光誘客促進のための取り組み		51	-0.63	-0.70	0.07	ア	41	0.52	0.56	-0.04	ウ
29) 各種イベントの開催		36	-0.27	-0.29	0.02	ア	51	0.37	0.42	-0.05	ウ
生活基盤	30) 道路や河川の補修・整備	40	-0.36	-0.49	0.13	ア	13	0.92	0.94	-0.02	ウ
	31) 上下水道施設整備の取り組み	20	0.04	0.07	-0.03	ウ	15	0.90	0.90	0.00	ウ
	32) 計画的な土地利用の推進	47	-0.51	-0.54	0.03	ア	28	0.64	0.68	-0.04	ウ
	33) 公園・緑地の管理や整備の取り組み	42	-0.43	-0.46	0.03	ア	36	0.55	0.54	0.01	ア
	34) 生活環境対策などへの取り組み	3	0.38	0.20	0.18	ア	9	1.03	0.97	0.06	ア
	35) 公害防止対策への取り組み	13	0.20	0.08	0.12	ア	24	0.71	0.70	0.01	ア
	36) 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	19	0.07	0.03	0.04	ア	26	0.69	0.71	-0.02	ウ
	37) 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	41	-0.37	-0.30	-0.07	ウ	49	0.41	0.50	-0.09	ウ
	38) 自然環境の保全への取り組み	31	-0.19	-0.07	-0.12	ウ	45	0.45	0.39	0.06	ア
	39) 空港を活用するための取り組み	39	-0.34	-0.29	-0.05	ウ	36	0.55	0.55	0.00	ウ
	40) 公共交通の充実(バス交通など)	56	-0.87	-0.82	-0.05	ウ	22	0.79	0.75	0.04	ア
	41) 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	43	-0.45	-0.40	-0.05	ウ	54	0.24	0.32	-0.08	ウ
防災	42) 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	32	-0.22	-0.35	0.13	ア	1	1.29	1.33	-0.04	ウ
	43) 自主防災組織の強化のための取り組み	18	0.08	-0.03	0.11	ア	4	1.15	1.20	-0.05	ウ
	44) 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	34	-0.23	-0.26	0.03	ア	17	0.88	0.97	-0.09	ウ
	45) 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	7	0.24	0.31	-0.07	ウ	11	1.02	1.07	-0.05	ウ
	46) 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	46	-0.49	-0.50	0.01	ア	20	0.86	0.88	-0.02	ウ
	47) 学校や地域で子どもを守る取り組み	6	0.30	0.27	0.03	ア	6	1.07	1.05	0.02	ア
	48) 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	23	0.02	0.00	0.02	ア	38	0.53	0.51	0.02	ア
	49) 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	37	-0.31	-0.44	0.13	ア	17	0.88	0.91	-0.03	ウ
市政経営	50) 自治会の住民自治活動への支援	29	-0.15	-0.22	0.07	ア	47	0.43	0.47	-0.04	ウ
	51) 地区公民館などの活動拠点の施設整備	15	0.09	0.02	0.07	ア	43	0.48	0.49	-0.01	ウ
	52) NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	27	-0.11	-0.15	0.04	ア	55	0.21	0.15	0.06	ア
	53) 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み	24	-0.04	-0.04	0.00	ア	53	0.31	0.24	0.07	ア
	54) 行政改革の取り組み	35	-0.26	-0.34	0.08	ア	38	0.53	0.56	-0.03	ウ
	55) 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	11	0.22	0.08	0.14	ア	35	0.56	0.55	0.01	ア
	56) 情報通信(光ファイバーなど)の環境整備の取り組み	12	0.21	-0.18	0.39	ア	45	0.45	0.43	0.02	ア
	57) 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	8	0.23	0.19	0.04	ア	57	0.11	0.09	0.02	ア

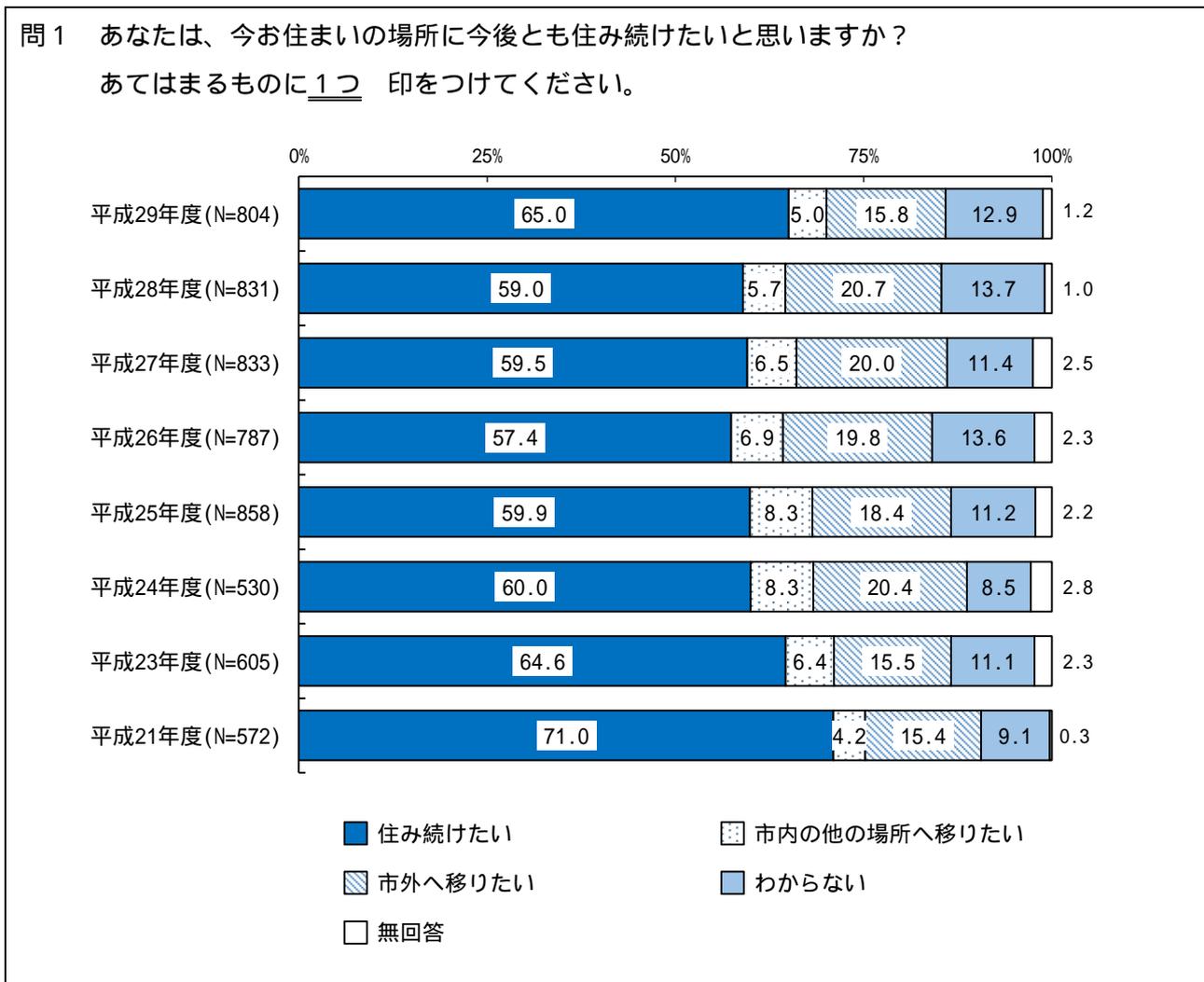
全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位については、上表のとおりとなっている。

満足度と重要度のそれぞれ上位5項目と、平成28年度の調査よりも評価が高くなった項目については、網掛けが付いている。

2) 調査結果の詳細

1. 牧之原市での暮らしについて

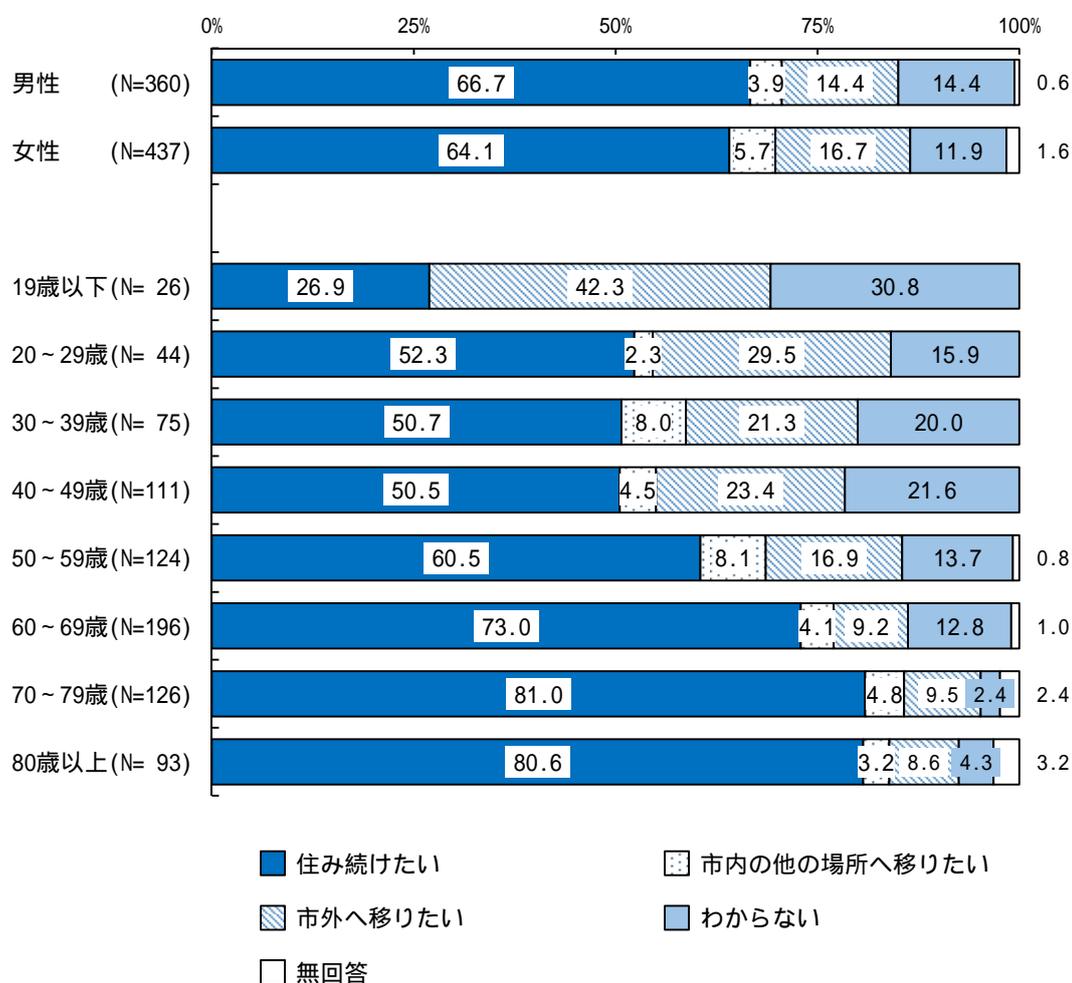
(1) 今後とも住みたいか



今後とも住みたいかでは、「住みたい」65.0%が最も多く、以下「市外へ移りたい」15.8%、「わからない」12.9%、「市内の他の場所へ移りたい」5.0%となっている。

昨年度と比較すると、「住みたい」が6.0ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】：大きな差異はみられない。

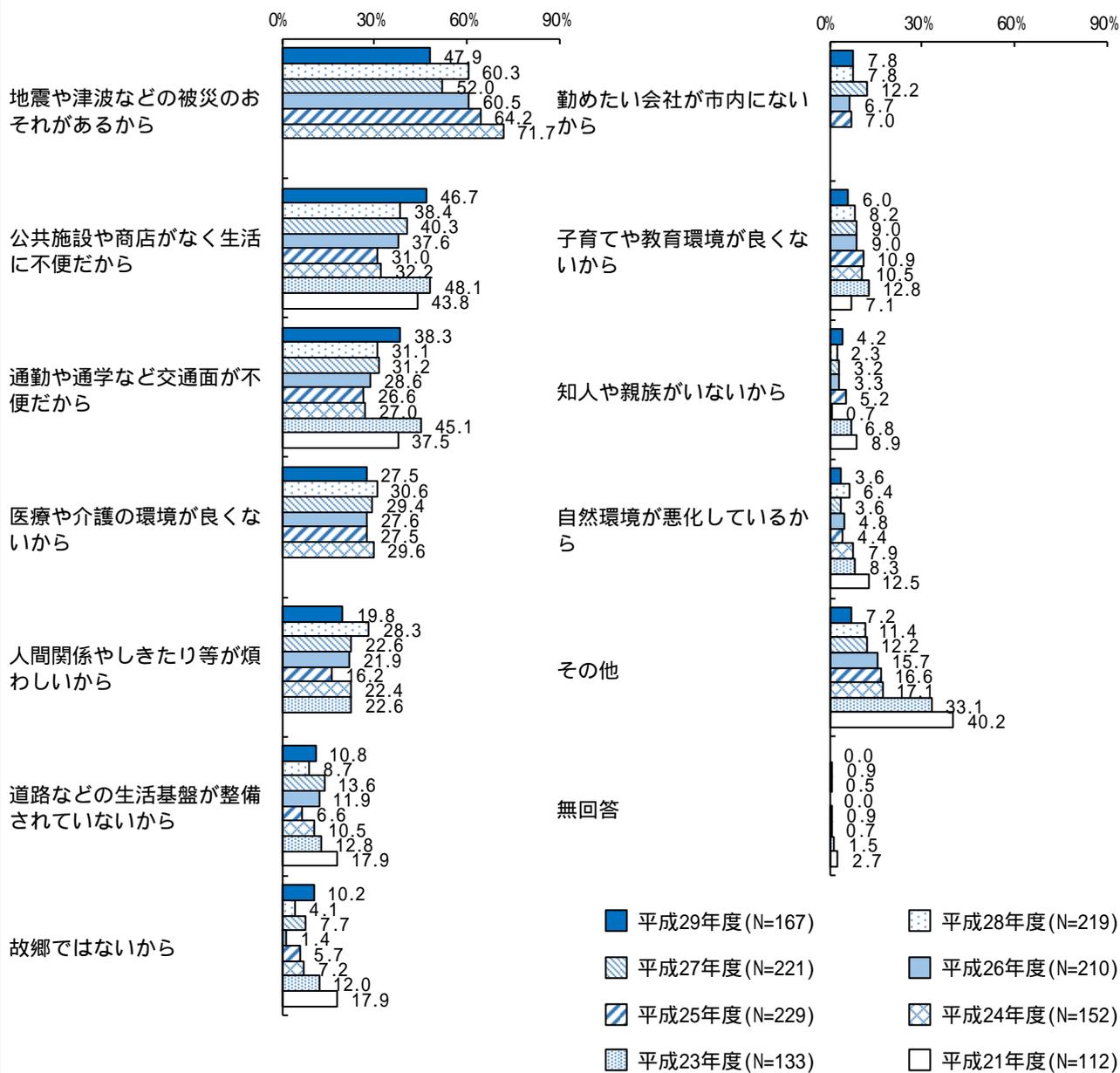
【年齢別】：19歳以下は、「市外へ移りたい」42.3%が最も多くなっている。

年齢が上がるにつれて「住みたい」は多くなる傾向があり、『60歳以上』では7割を超えている。

(2) 他地域へ移りたい理由

問2 他地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた167人のみ

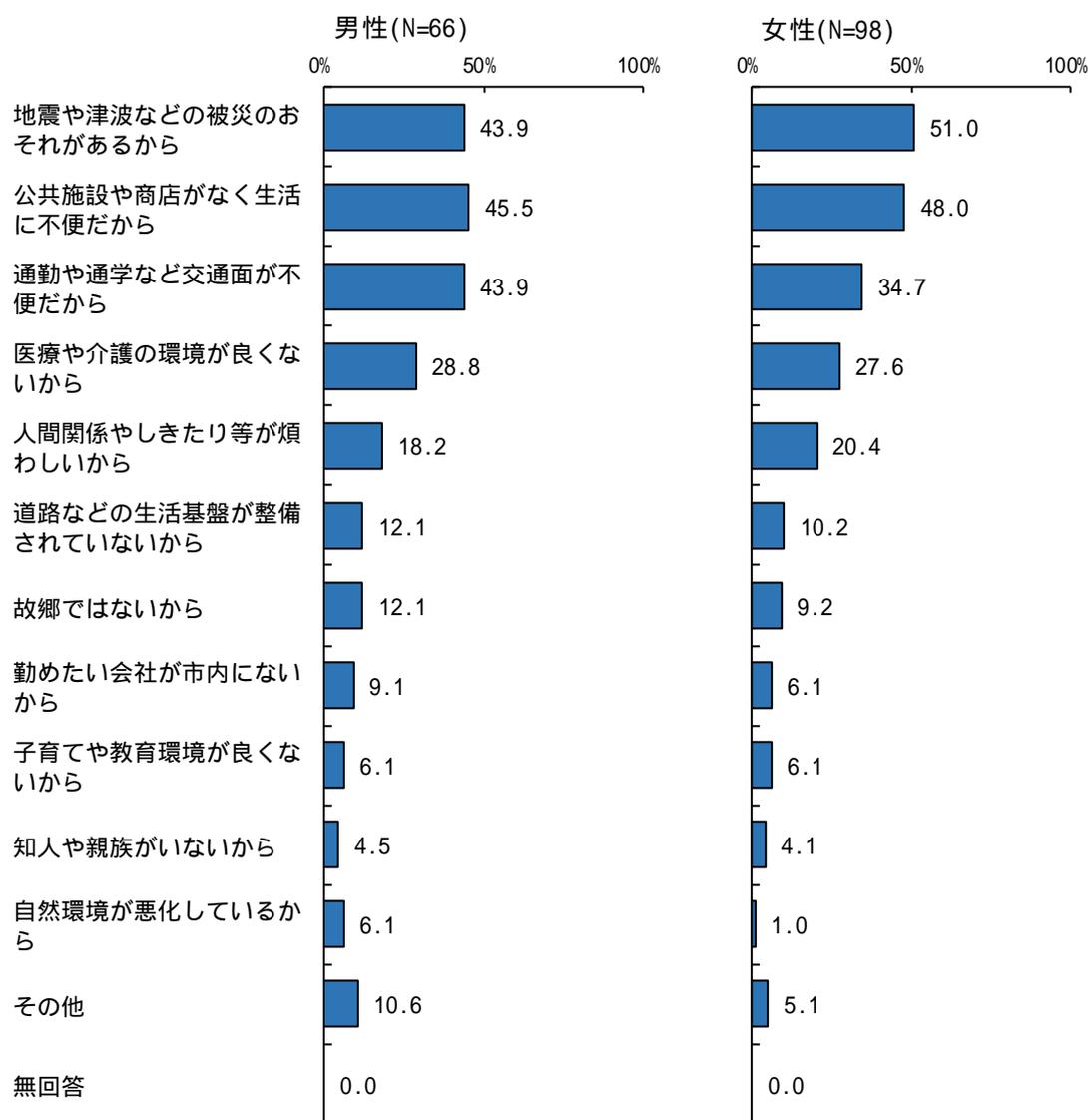


「人間関係やしきたり等が煩わしいから」は、平成23年度より追加された項目
 「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「医療や介護の環境が良くないから」は、平成24年度より追加された項目
 「勤めたい会社が市内にないから」は、平成25年度より追加された項目

他地域へ移りたい理由では、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」47.9%が最も多く、以下「公共施設や商店がなく生活に不便だから」46.7%、「通勤や通学など交通面が不便だから」38.3%、「医療や介護の環境が良くないから」27.5%、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」19.8%などとなっている。

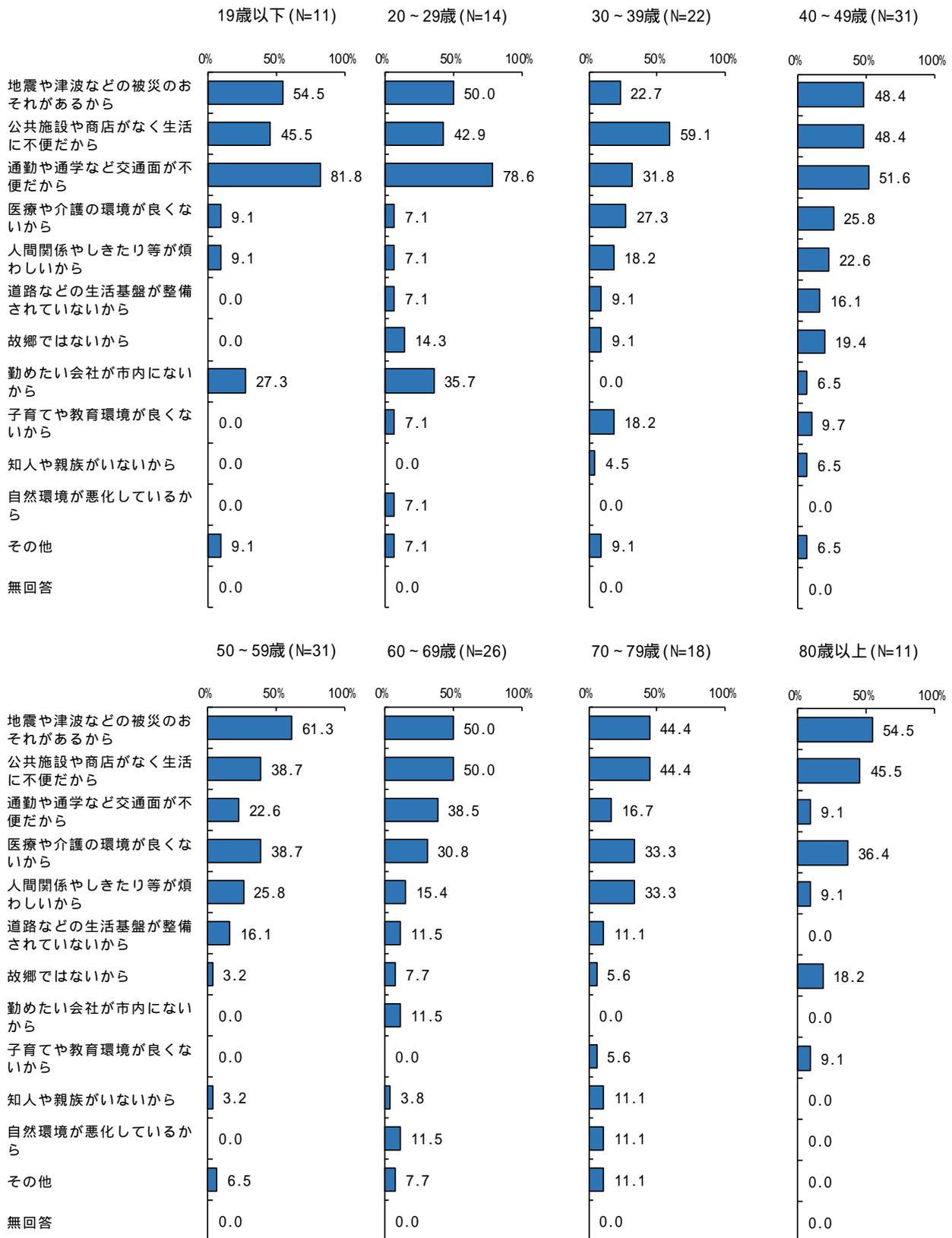
昨年度と比較すると、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」、「通勤や通学など交通面が不便だから」などが高くなっており、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」などが低くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「通勤や通学など交通面が不便だから」43.9%が、女性の34.7%よりも9.2ポイント高くなっている。

女性は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」51.0%が、男性の43.9%よりも7.1ポイント高くなっている。



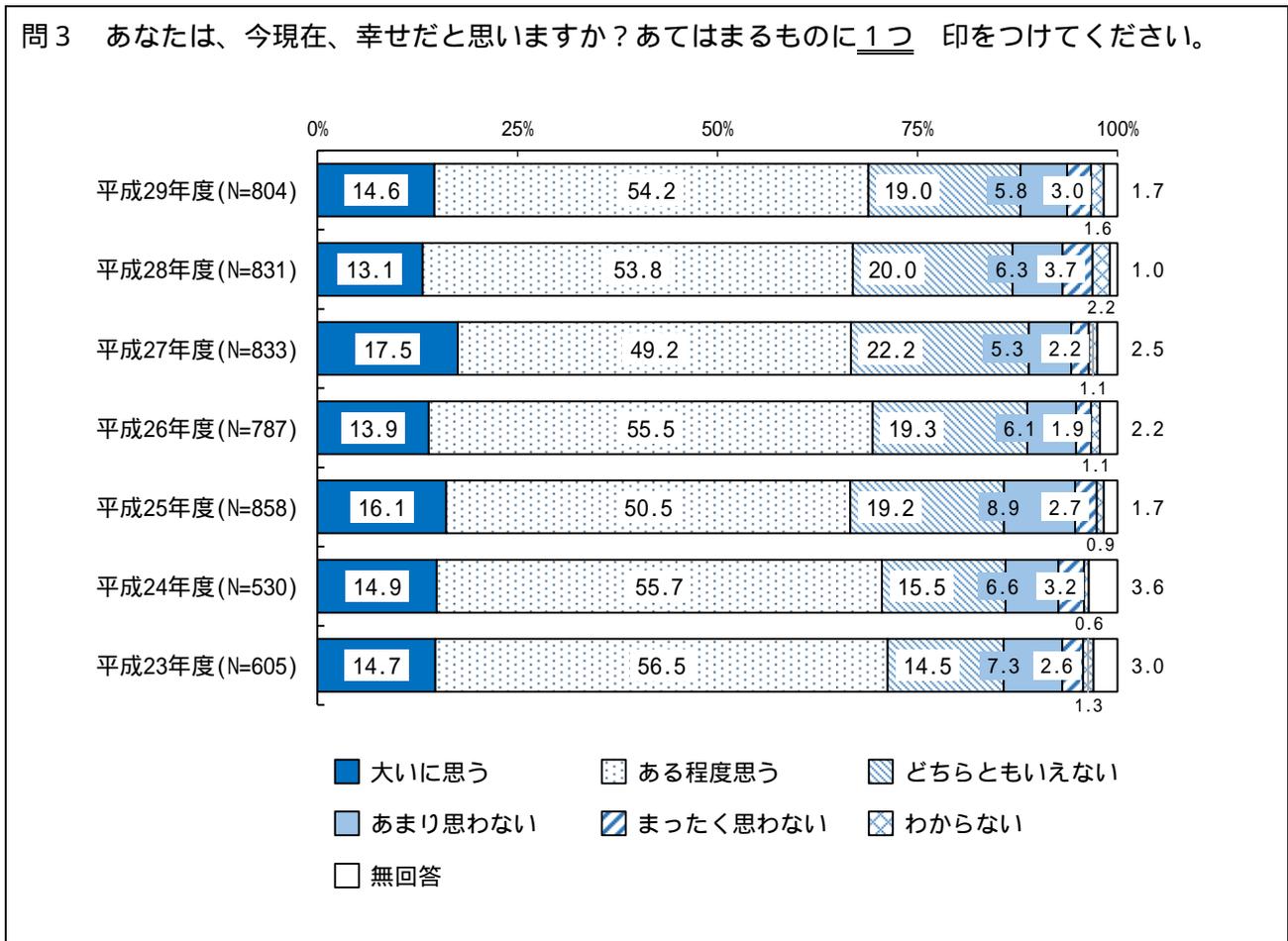
【年齢別】：『29歳以下』は、「通勤や通学など交通面が不便だから」が最も多く、他の年齢と比べると「勤めたい会社が市内にないから」が多くなっている。

30～39歳は、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」59.1%が最も多く、他の年齢と比べると「子育てや教育環境が良くないから」18.2%が多くなっている。

70～79歳は、他の年齢と比べると「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が多くなっている。

年齢が上がるにつれて「医療や介護の環境が良くないから」は多くなる傾向がある。

(3) 今現在、幸せだと思うか

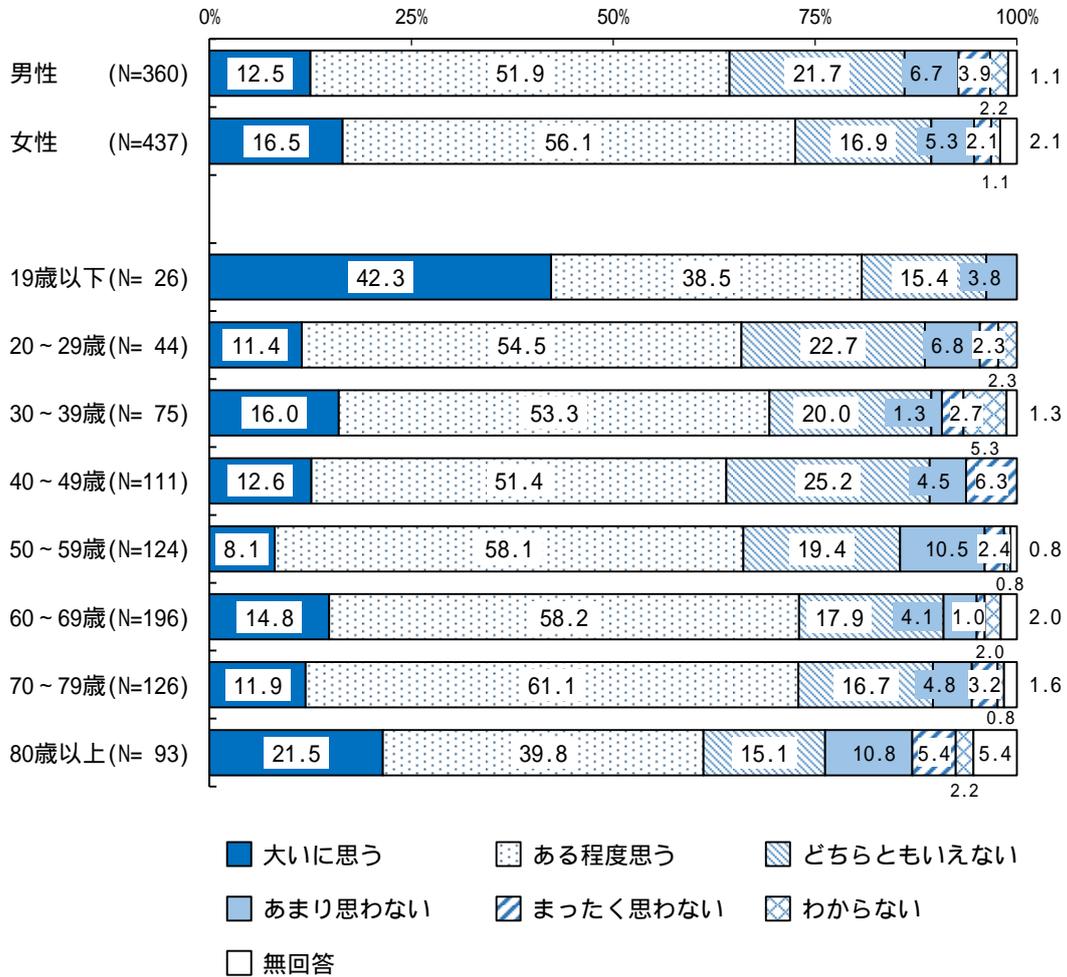


今現在、幸せだと思うかでは、「ある程度思う」54.2%が最も多く、以下「どちらともいえない」19.0%、「大いに思う」14.6%、「あまり思わない」5.8%、「まったく思わない」3.0%などとなっている。

「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は68.8%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“思わない”は8.8%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



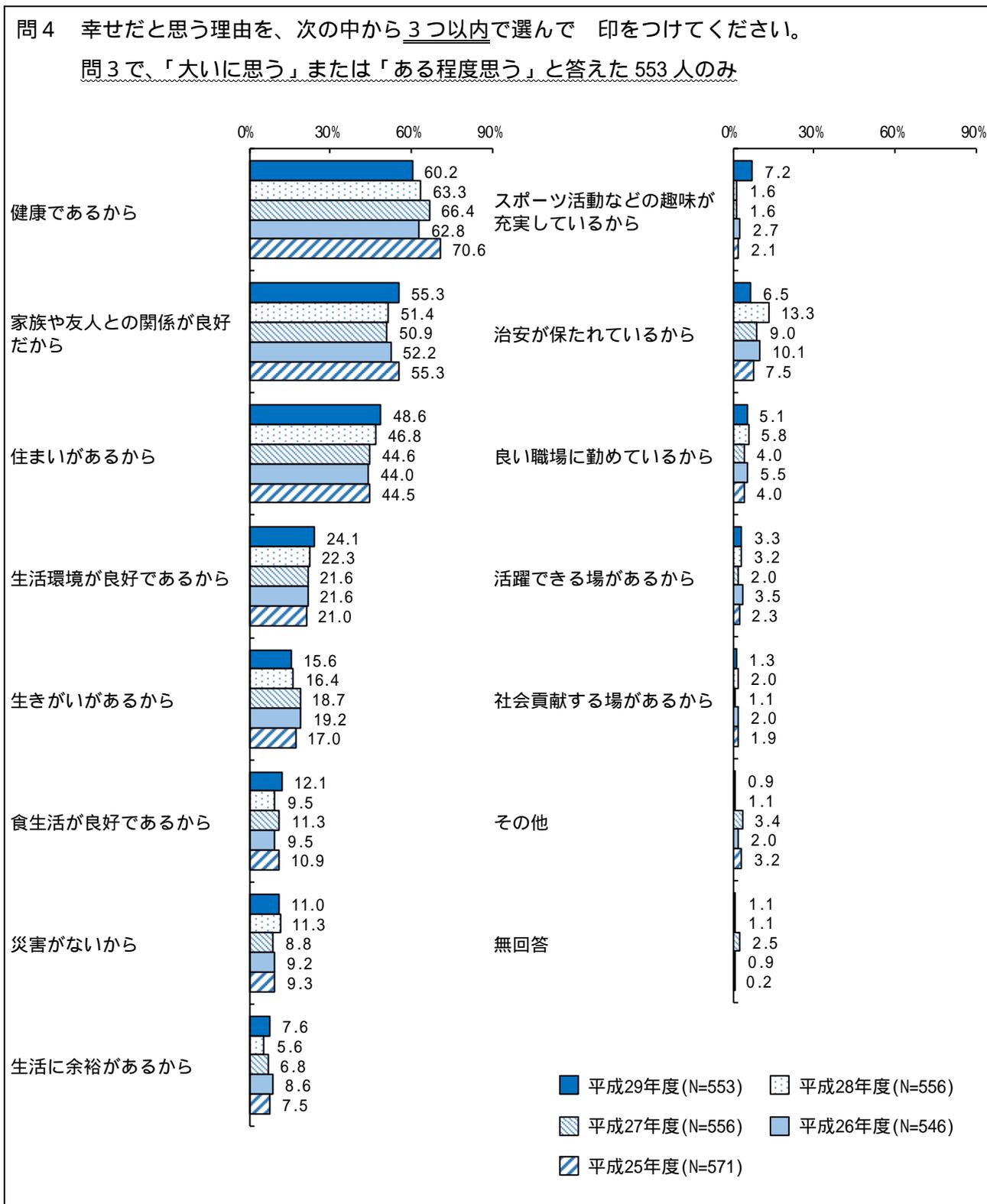
【性別】：女性は、“思う” 72.6%が、男性の 64.4%よりも 8.2 ポイント高くなっている。

【年齢別】：19歳以下は、「大いに思う」 42.3%が最も多くなっている。

『20歳以上』は、「ある程度思う」が最も多くなっている。

“思う” は、19歳以下が 80.8%、60～69歳と 70～79歳が 73.0%と 7割を超えている。

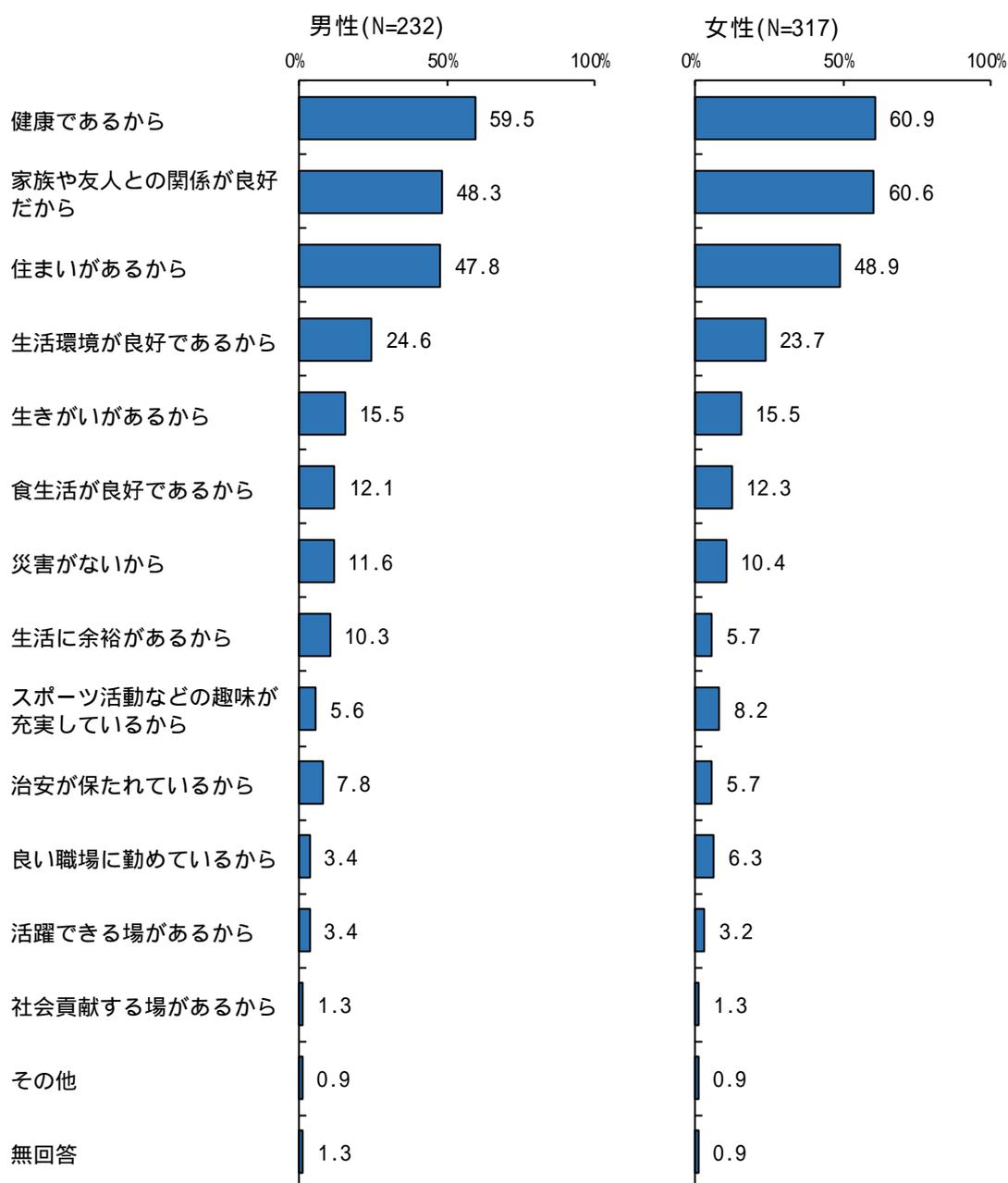
(4) 幸せだと思う理由



幸せだと思う理由では、「健康であるから」60.2%が最も多く、以下「家族や友人との関係が良好だから」55.3%、「住まいがあるから」48.6%、「生活環境が良好であるから」24.1%、「生きがいがあるから」15.6%などとなっている。

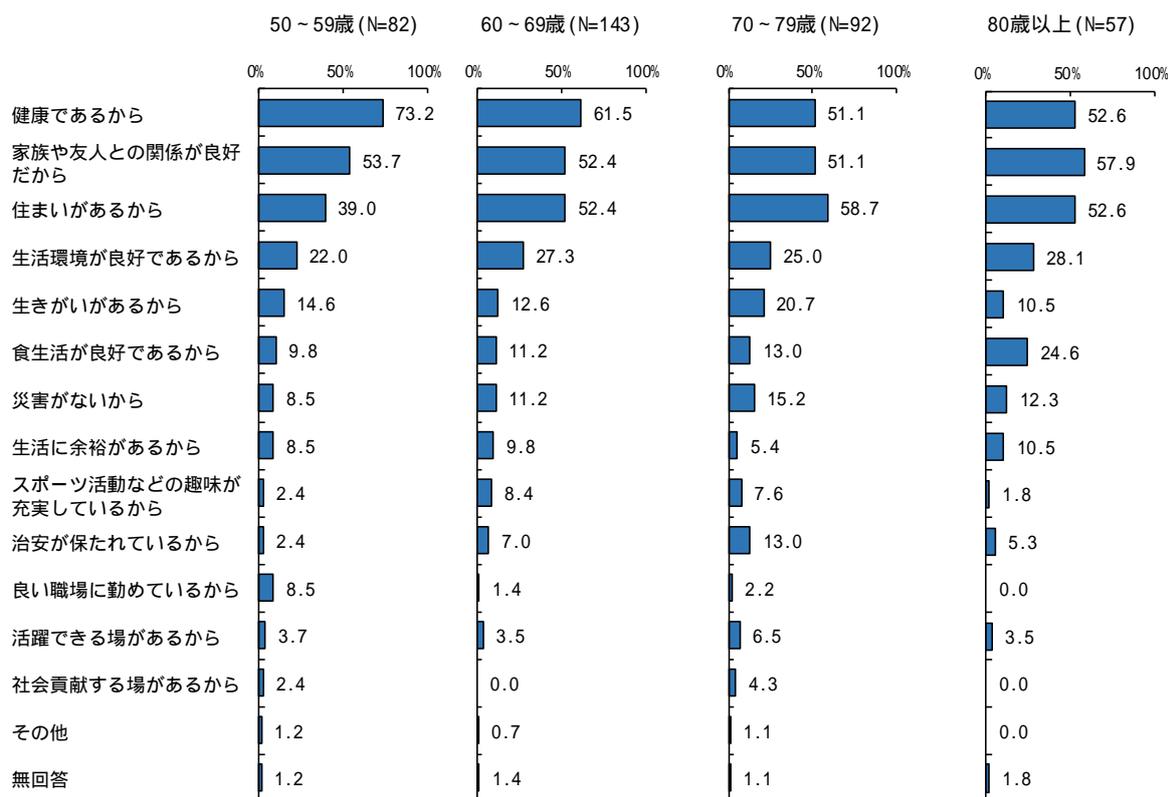
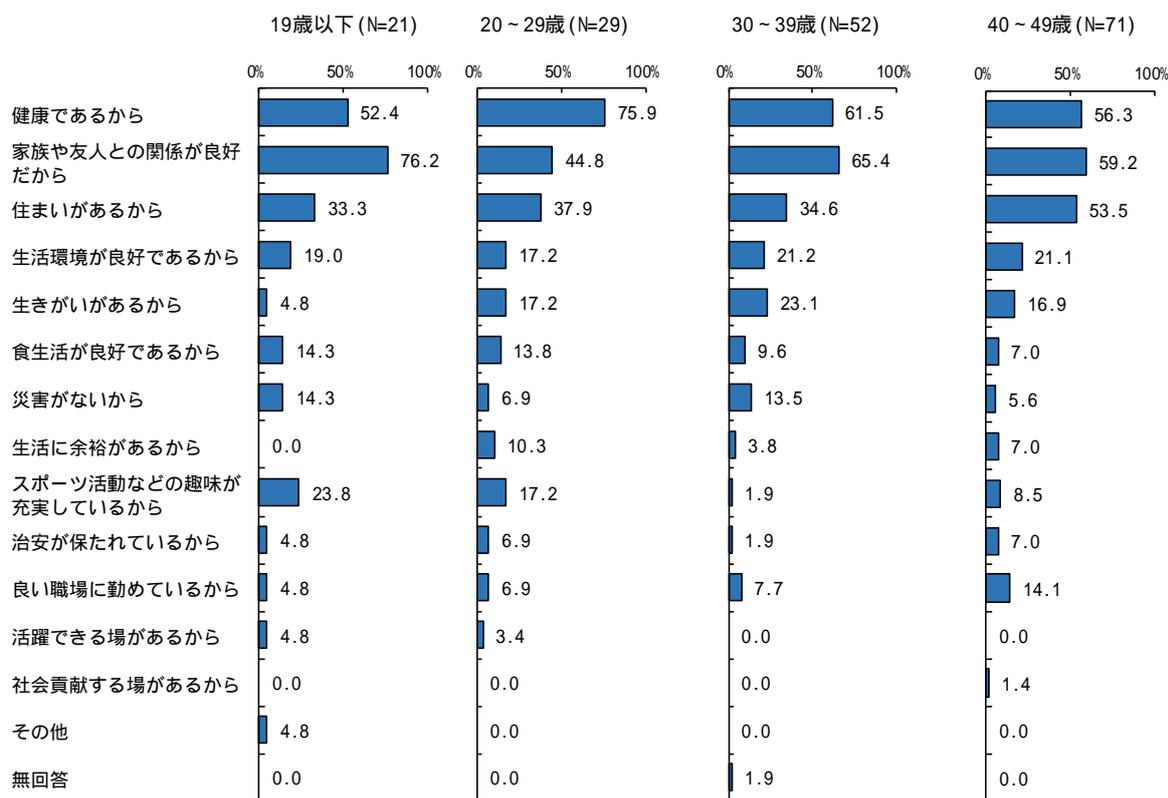
昨年度と比較すると、「スポーツ活動などの趣味が充実しているから」が5.6ポイント高くなっており、「治安が保たれているから」が6.8ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「生活に余裕があるから」10.3%が、女性の5.7%よりも4.6ポイント高くなっている。

女性は、「家族や友人との関係が良好だから」60.6%が、男性の48.3%よりも12.3ポイント高くなっている。

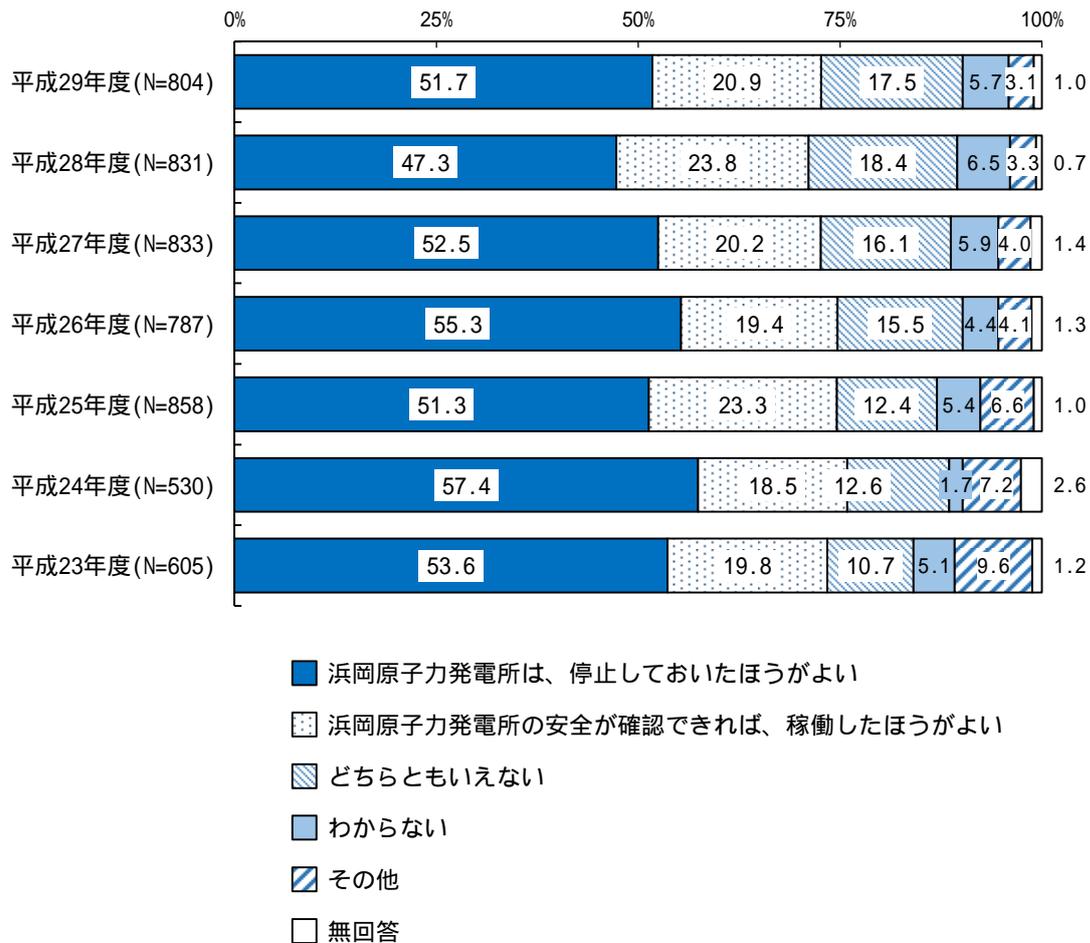


【年齢別】：19歳以下は、「家族や友人との関係が良好だから」76.2%が最も多くなっている。
 20～29歳は、「健康であるから」75.9%が最も多くなっている。『29歳以下』は、他の年齢と比べると「スポーツ活動などの趣味が充実しているから」が多くなっている。
 40～49歳は、他の年齢と比べると「良い職場に勤めているから」14.1%が多くなっている。
 70～79歳は、「住まいがあるから」58.7%が最も多く、他の年齢と比べると「治安が保たれているから」13.0%が多くなっている。
 80歳以上は、他の年齢と比べると「食生活が良好であるから」24.6%が多くなっている。
 年齢が上がるにつれて「生活環境が良好であるから」は多くなる傾向がある。

2. 原子力発電について

(5) 浜岡原発の今後について

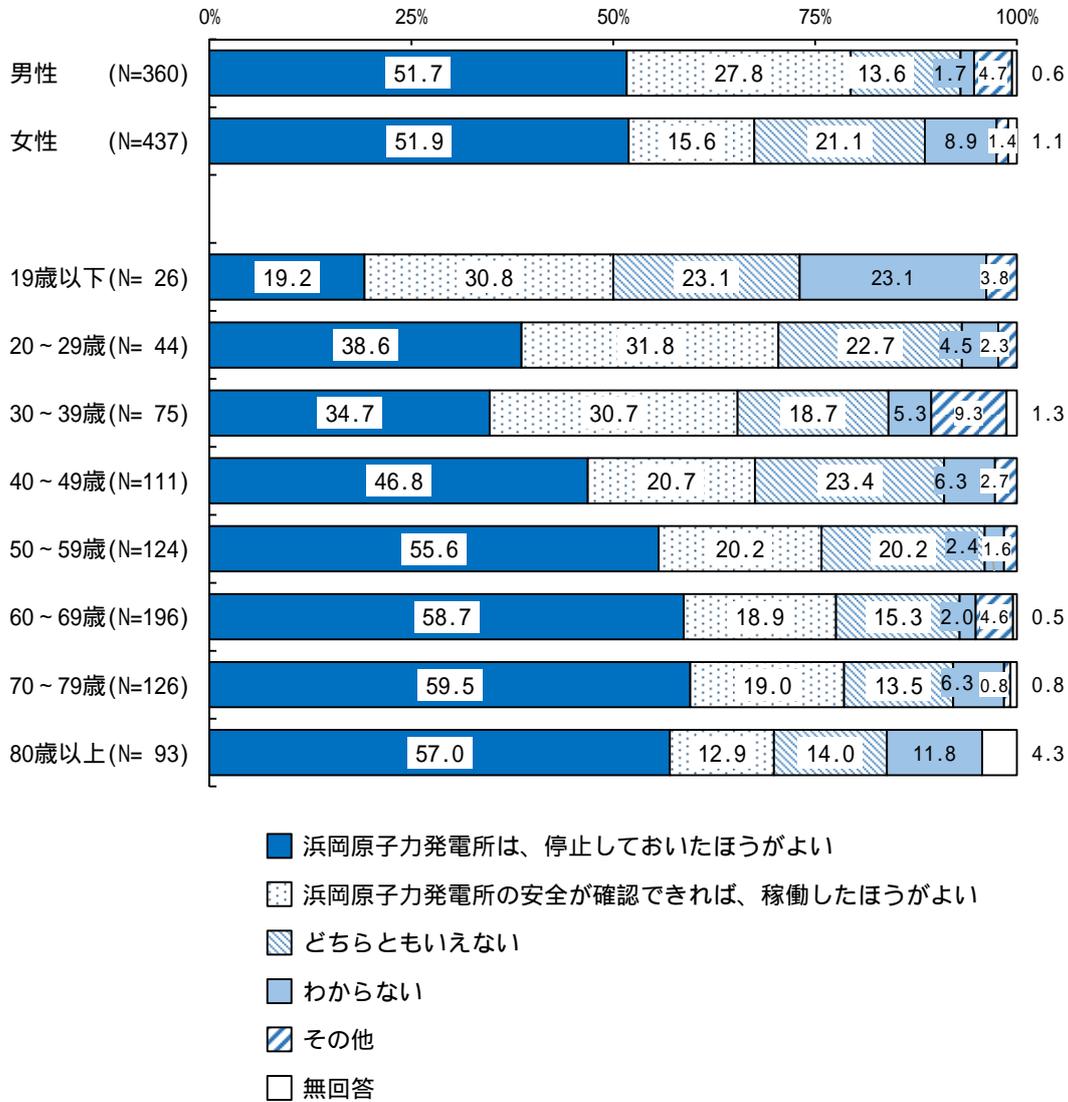
問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？
 あてはまるものに1つ 印をつけてください。



浜岡原発の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」51.7%が最も多く、以下「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」20.9%、「どちらともいえない」17.5%、「わからない」5.7%、「その他」3.1%となっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が4.4ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」27.8%が、女性の15.6%よりも12.2ポイント高くなっている。

女性は、「どちらともいえない」21.1%や「わからない」8.9%が、男性よりも7.0ポイント以上高くなっている。

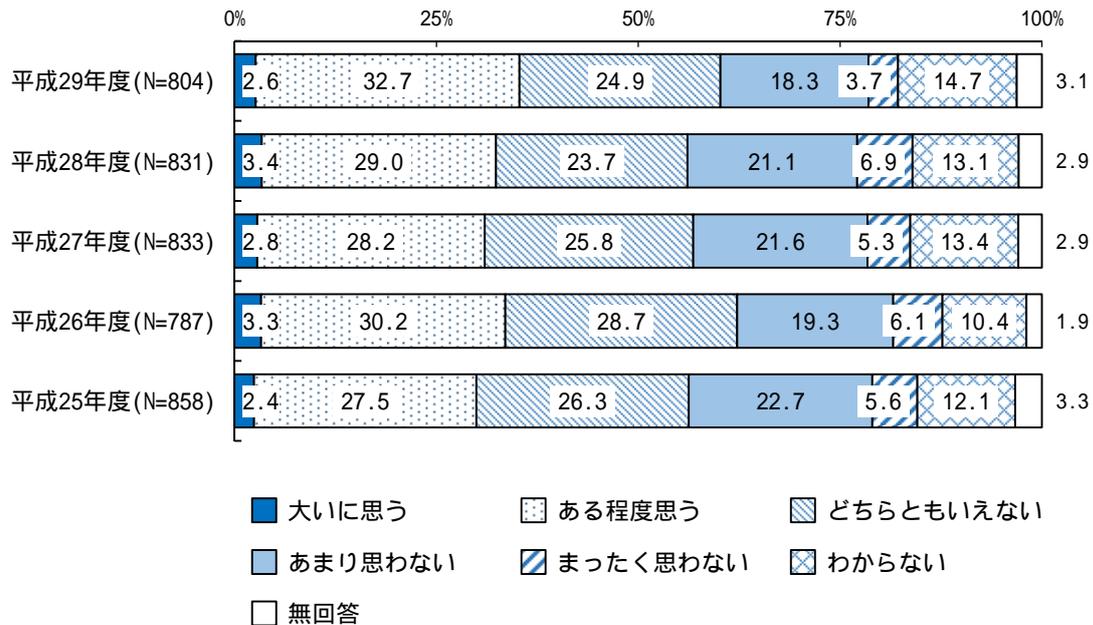
【年齢別】：19歳以下は、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が30.8%と最も多く、他の年齢と比べると「わからない」23.1%が多くなっている。

年齢が上がるにつれて「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が多く、年齢が下がるにつれて「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は多くなる傾向がある。

3. 子育て環境について

(6) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？
 あてはまるものに1つ 印をつけてください。

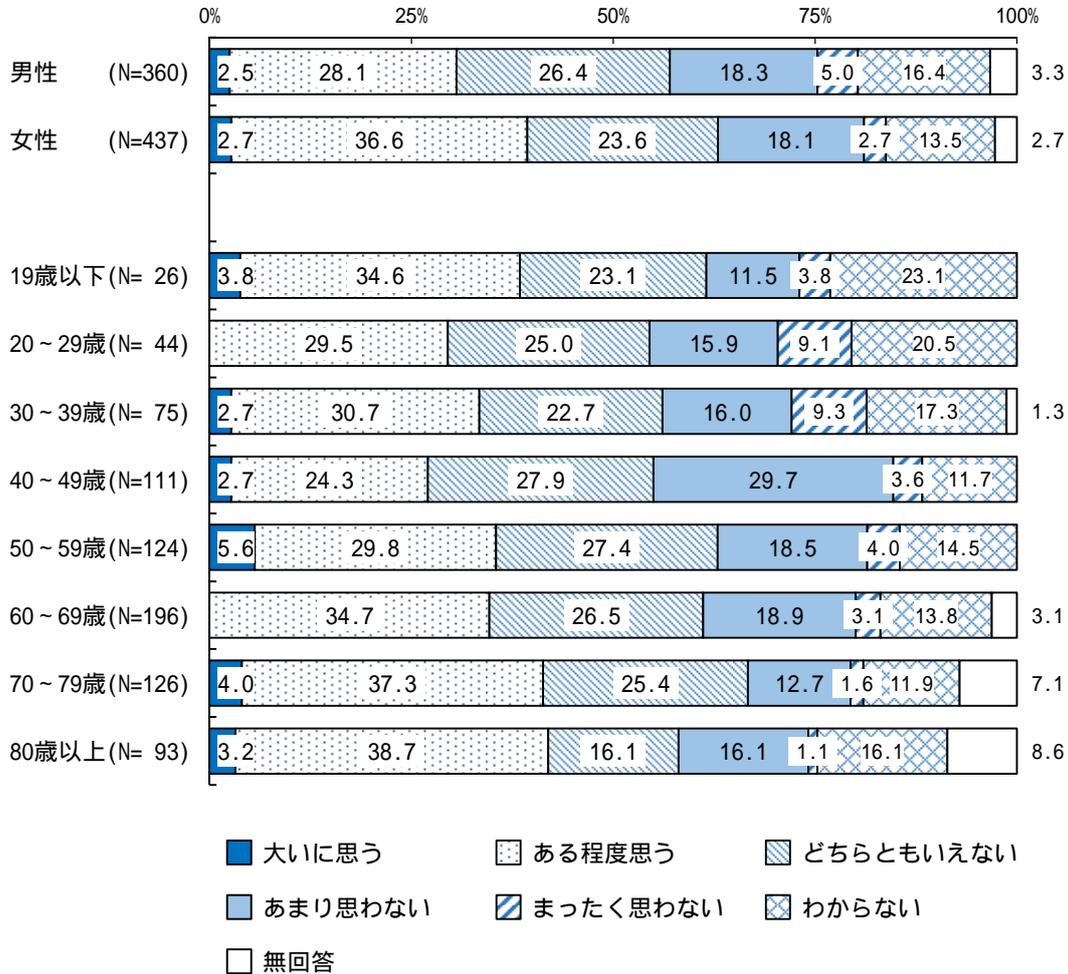


牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かでは、「ある程度思う」32.7%が最も多く、以下「どちらともいえない」24.9%、「あまり思わない」18.3%、「わからない」14.7%、「まったく思わない」3.7%などとなっている。

「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は35.3%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“思わない”は22.0%となっている。

昨年度と比較すると、“思わない”が6.0ポイント低くなっている。

クロス集計



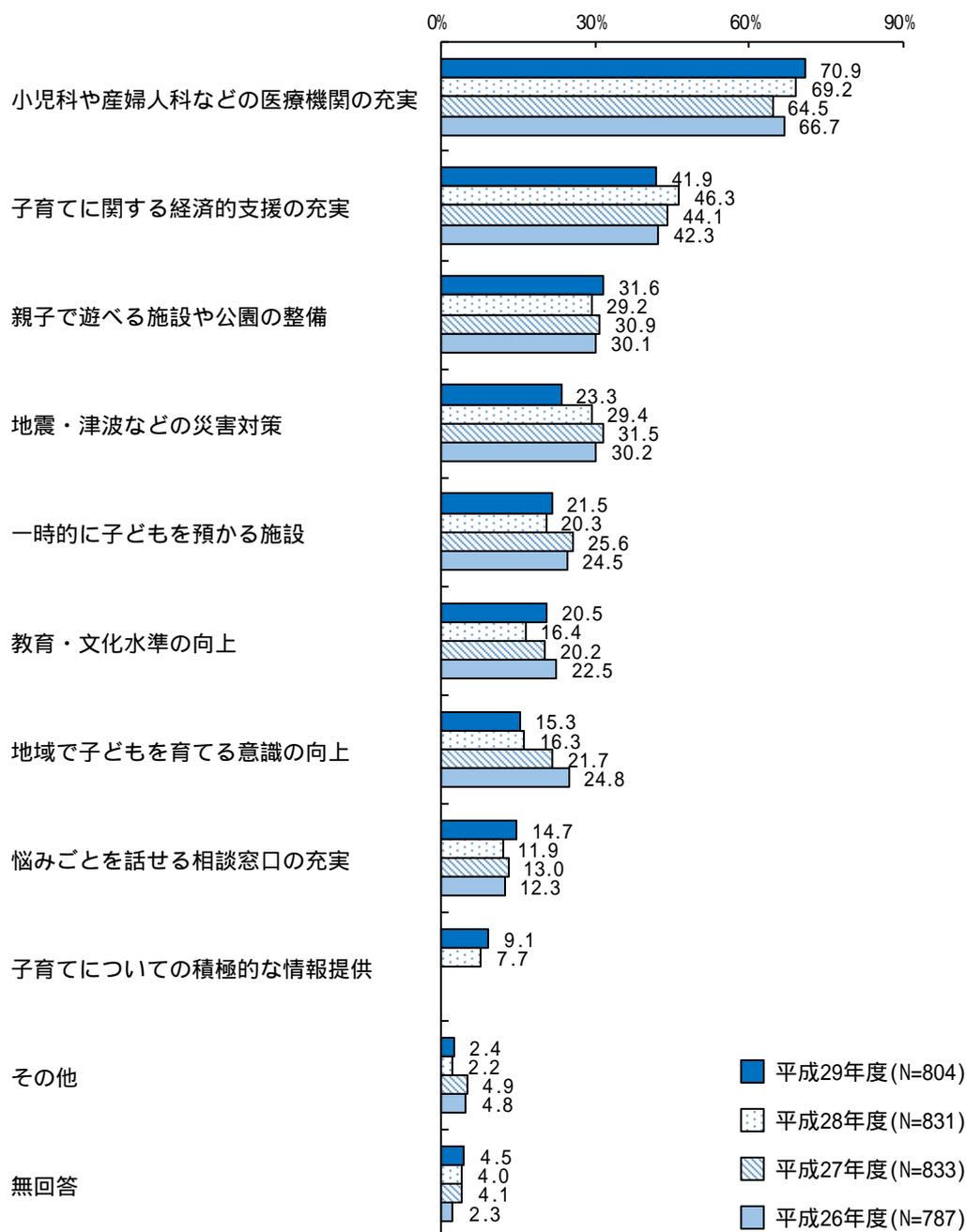
【性別】：女性は、「ある程度思う」36.6%が、男性の28.1%よりも8.5ポイント高くなっている。
また、「思う」39.3%が、男性の30.6%よりも8.7ポイント高くなっている。

【年齢別】：40～49歳は、「あまり思わない」29.7%が最も多く、他の年齢と比べると「思わない」33.3%が多くなっている。

『70歳以上』は、「思う」が4割を超えている。

(7) 子供を産み育てやすい環境にするため市がすべきこと

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。

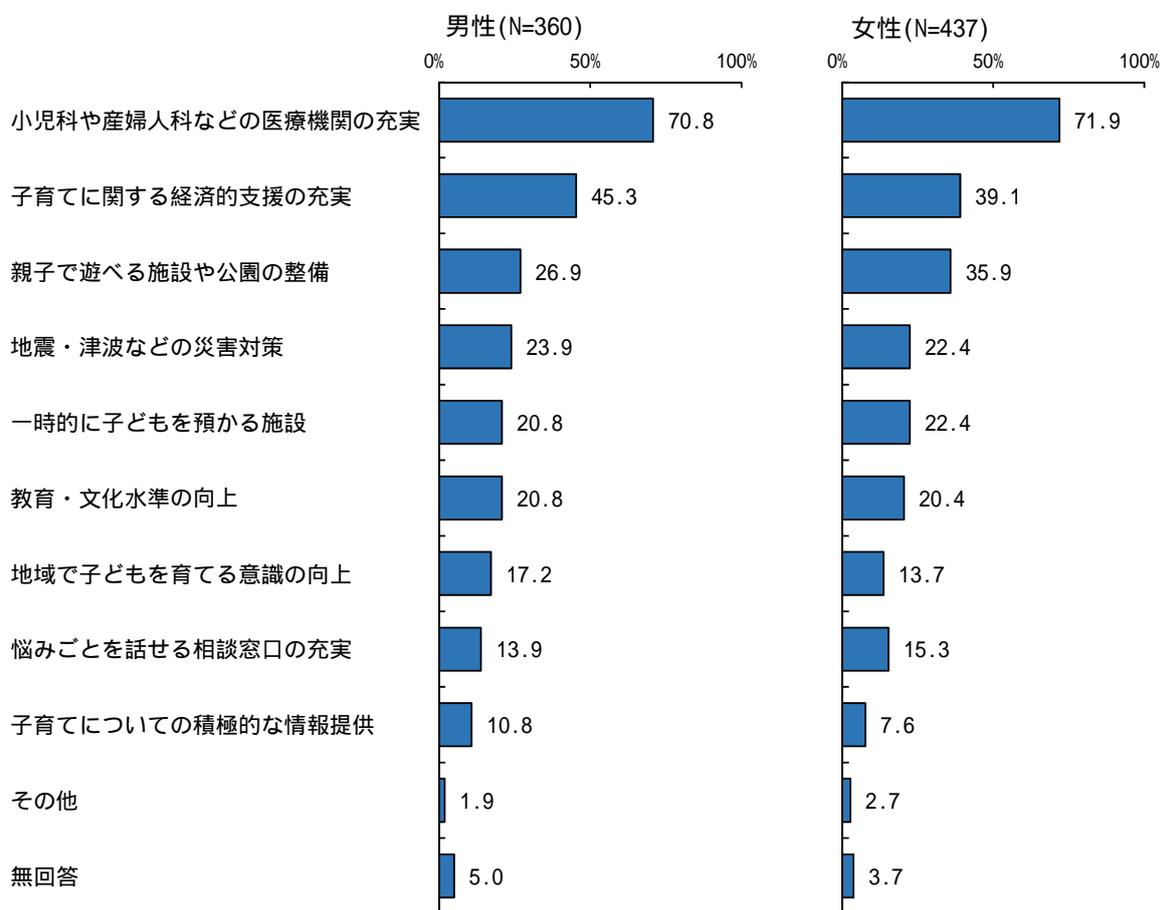


「子育てに関する経済的支援の充実」は、平成27年度以前は「医療費の無料化」として実施
 「子育てについての積極的な情報提供」は、平成28年度より追加された項目

子供を産み育てやすい環境にするため市がすべきことでは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」70.9%が最も多く、以下「子育てに関する経済的支援の充実」41.9%、「親子で遊べる施設や公園の整備」31.6%、「地震・津波などの災害対策」23.3%、「一時的に子どもを預かる施設」21.5%などとなっている。

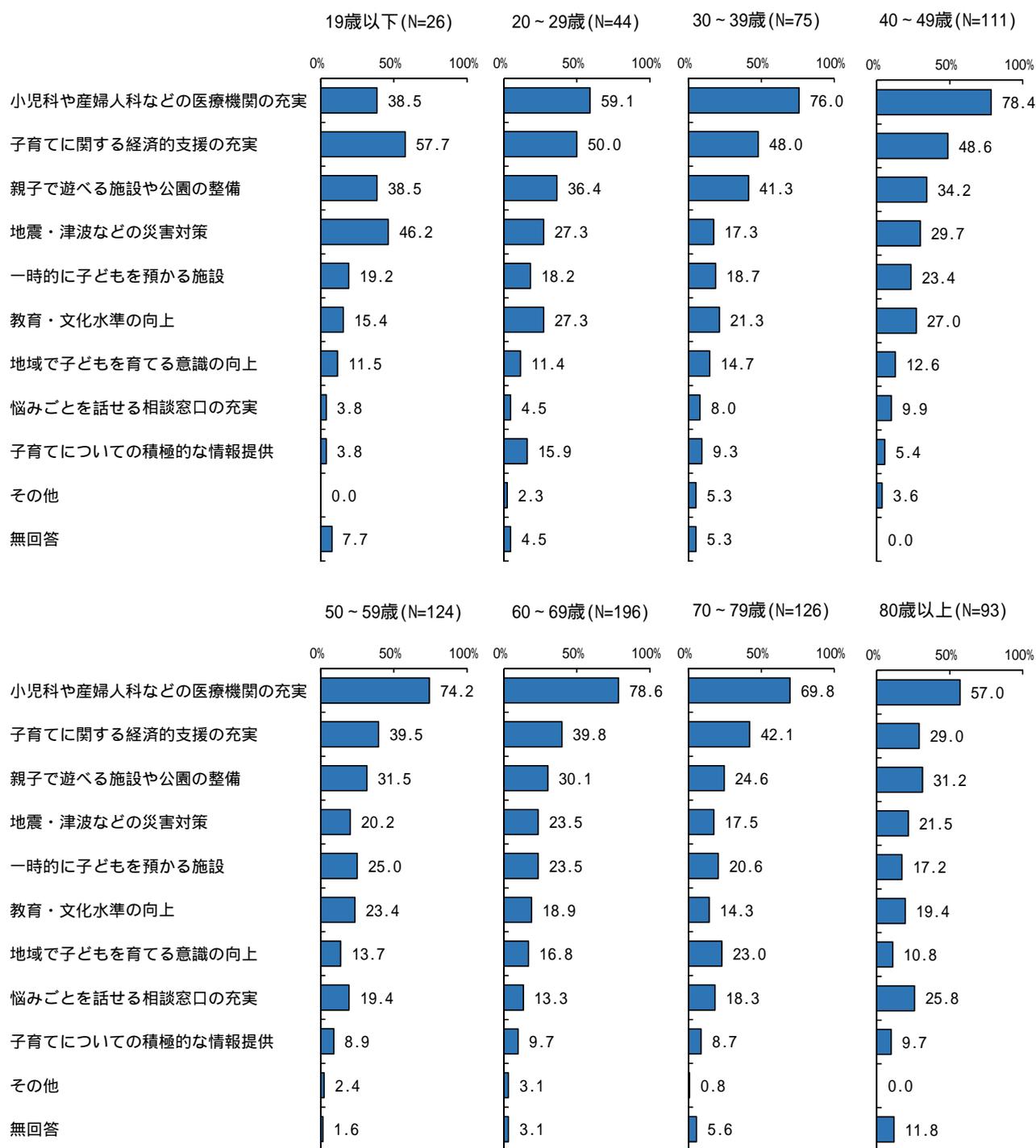
昨年度と比較すると、「地震・津波などの災害対策」が6.1ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「子育てに関する経済的支援の充実」45.3%が、女性の39.1%よりも6.2ポイント高くなっている。

女性は、「親子で遊べる施設や公園の整備」35.9%が、男性の26.9%よりも9.0ポイント高くなっている。



【年齢別】：19歳以下は、「子育てに関する経済的支援の充実」57.7%が最も多く、他の年齢と比べると「地震・津波などの災害対策」46.2%が多くなっている。

20～29歳は、他の年齢と比べると「子育てについての積極的な情報提供」15.9%が多くなっている。

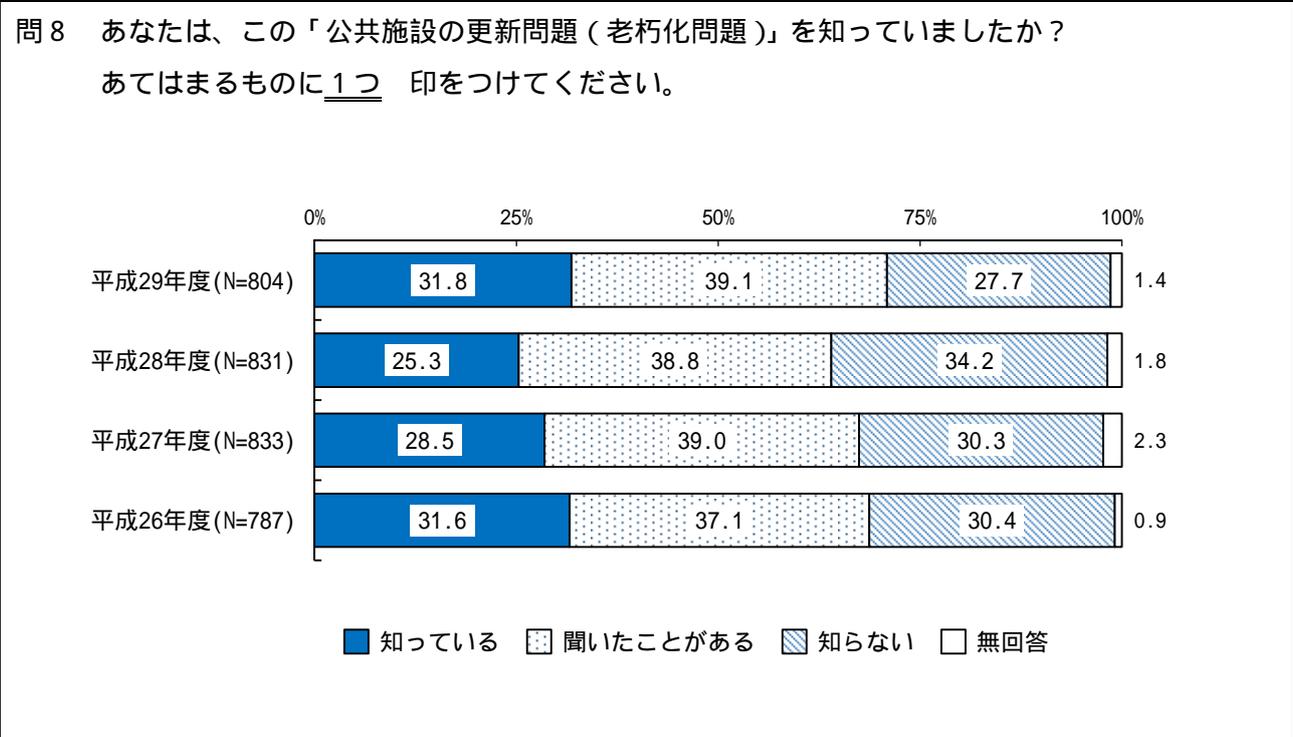
『20歳以上』は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が最も多く、30代から60代までで7割を超えている。

70～79歳は、他の年齢と比べると「地域で子どもを育てる意識の向上」23.0%が多くなっている。

年齢が上がるにつれて「悩みごとを話せる相談窓口の充実」が多く、年齢が下がるにつれて「子育てに関する経済的支援の充実」は多くなる傾向がある。

4 . 公共施設の更新問題について

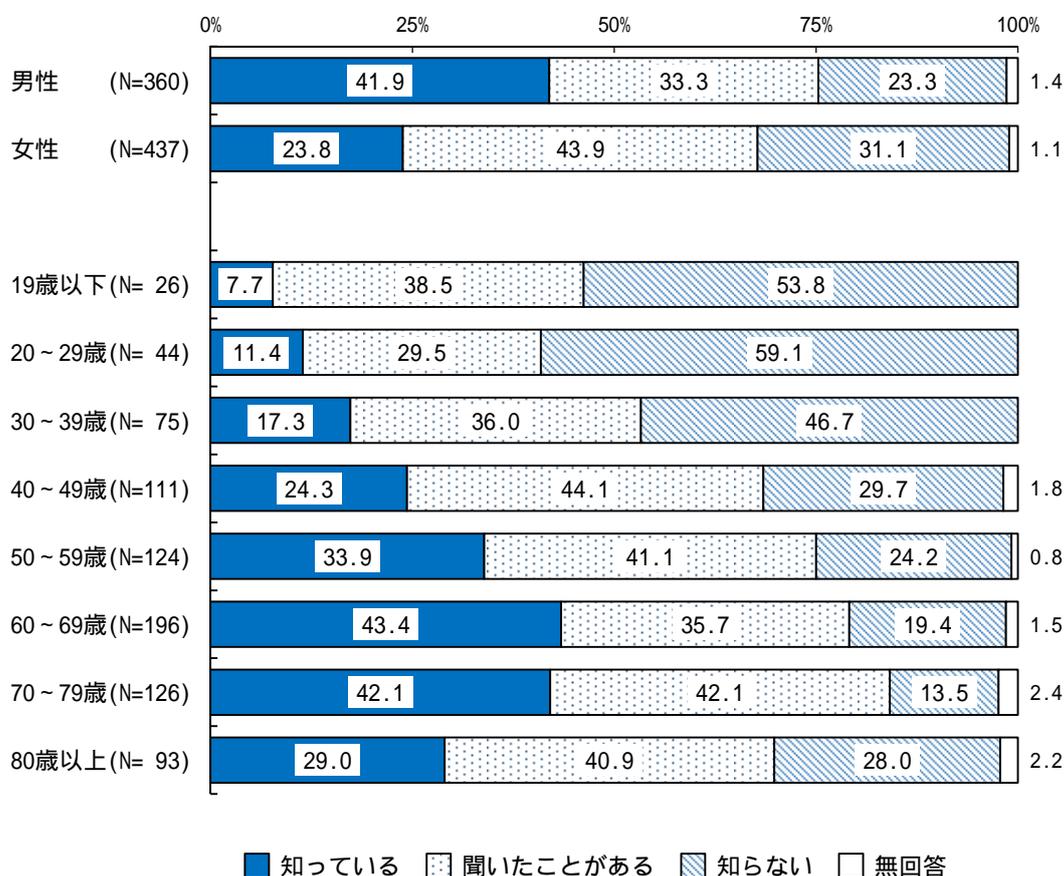
(8) 「公共施設の更新問題」の把握の有無



「公共施設の更新問題」の把握の有無では、「聞いたことがある」39.1%が最も多く、以下「知っている」31.8%、「知らない」27.7%となっている。

昨年度と比較すると、「知っている」が6.5ポイント高く、「知らない」が6.5ポイント低くなっている。

クロス集計



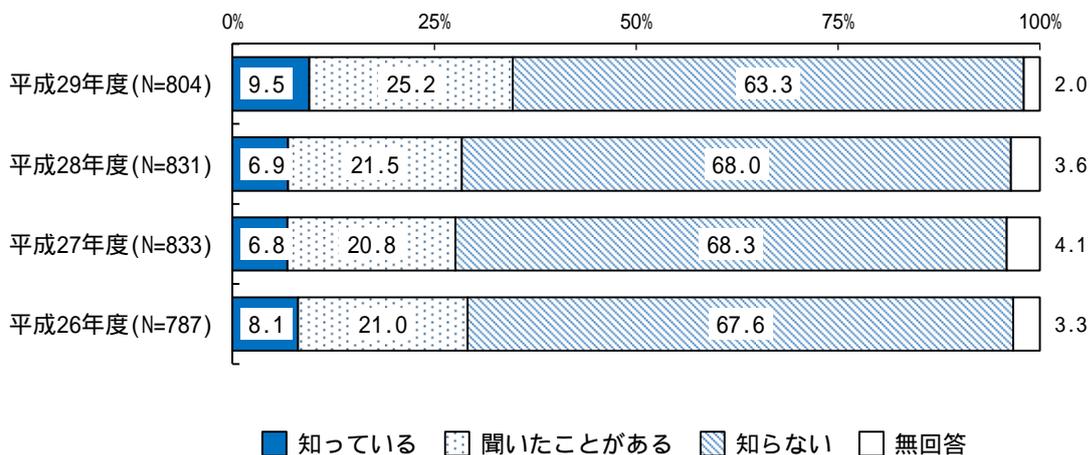
【性別】：男性は、「知っている」41.9%が、女性の23.8%よりも18.1ポイント高くなっている。
 女性は、「聞いたことがある」43.9%が、男性の33.3%よりも10.6ポイント高く、「知らない」31.1%が、男性の23.3%よりも7.8ポイント高くなっている。

【年齢別】：『39歳以下』は、「知らない」が最も多く、年齢が下がるにつれて「知らない」は多くなる傾向がある。

『40歳以上』で認知度が高く、60代から70代では「知っている」が4割を超えている。

(9) 「公共施設の更新問題」への牧之原市の取り組みの把握の有無

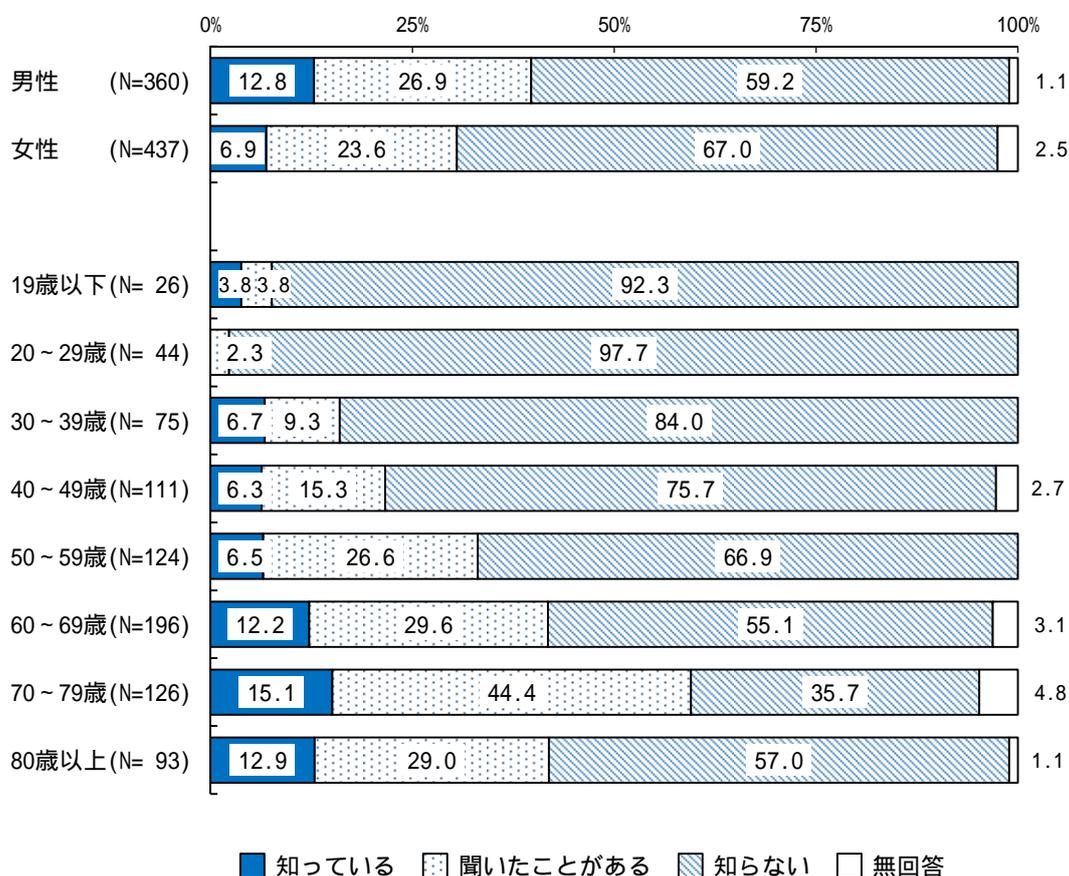
問9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを行っています。あなたは、この取り組みを知っていましたか？
 あてはまるものに1つ 印をつけてください。



「公共施設の更新問題」への牧之原市の取り組みの把握の有無では、「知らない」63.3%が最も多く、以下「聞いたことがある」25.2%、「知っている」9.5%となっている。

昨年度と比較すると、「知らない」が4.7ポイント低くなっている。

クロス集計

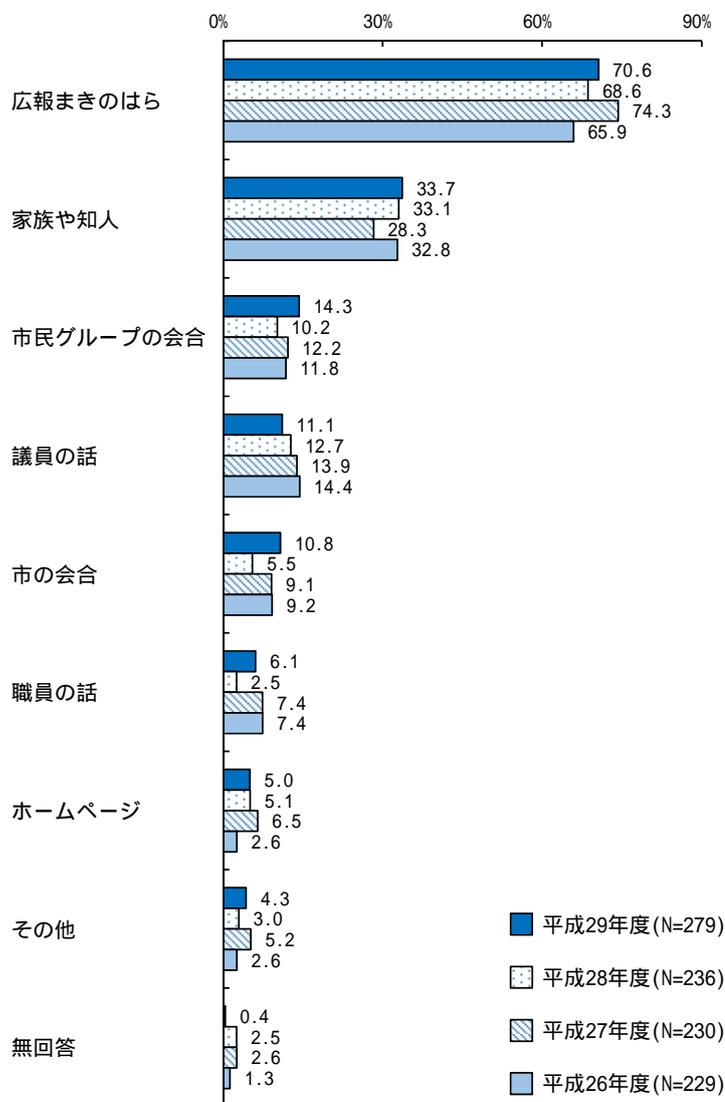


【性別】：男性は、「知っている」12.8%が、女性の6.9%よりも5.9ポイント高くなっている。
 女性は、「知らない」67.0%が、男性の59.2%よりも7.8ポイント高くなっている。

【年齢別】：70～79歳は、「聞いたことがある」44.4%が最も多くなっている。
 年齢が下がるにつれて「知らない」は多くなる傾向がある。

(10) 「公共施設の更新問題」の情報源

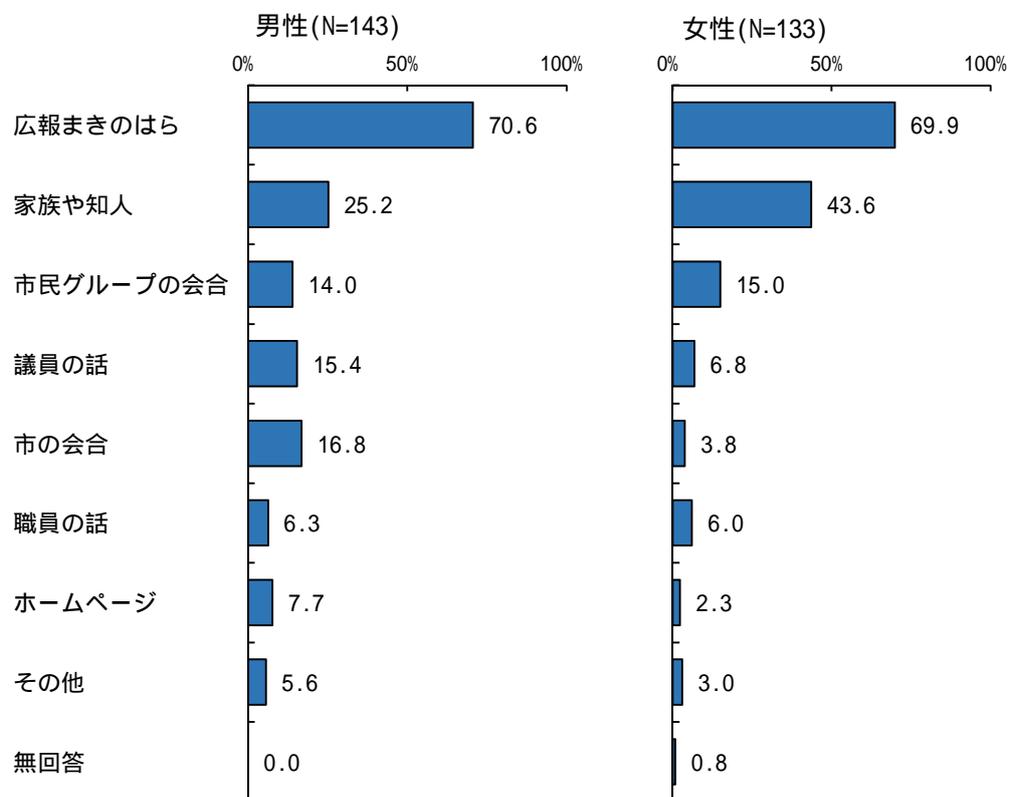
問10 その情報を何で見聞きしましたか？あてはまるもの全てに 印をつけてください。
 問9で「知っている」または「聞いたことがある」と答えた279人のみ



「公共施設の更新問題」の情報源では、「広報まきのほら」70.6%が最も多く、以下「家族や知人」33.7%、「市民グループの会合」14.3%、「議員の話」11.1%、「市の会合」10.8%などとなっている。

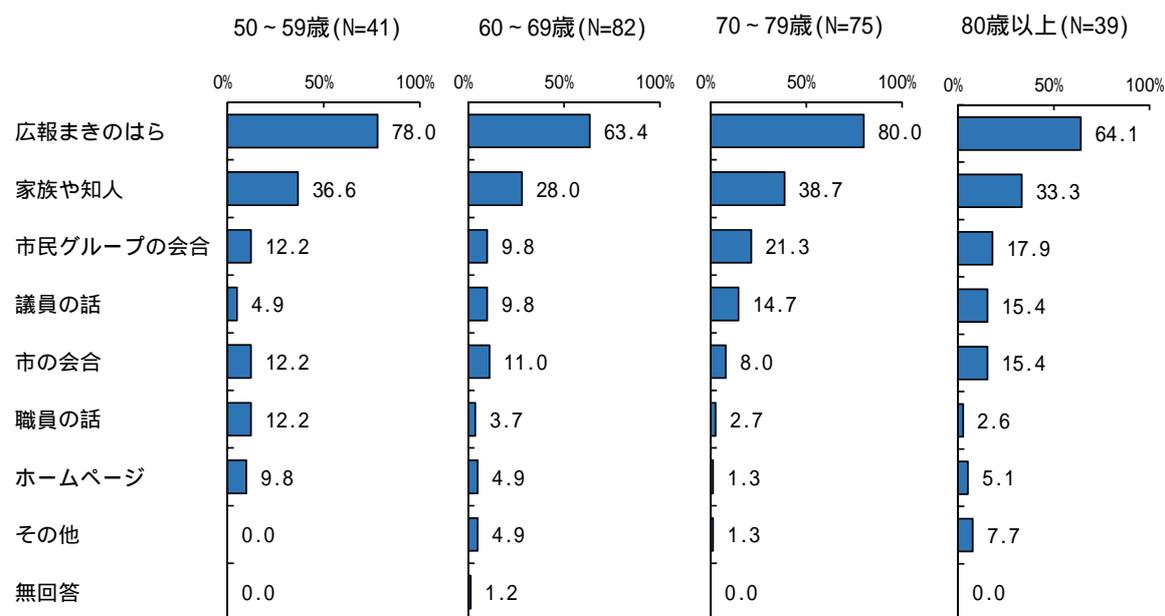
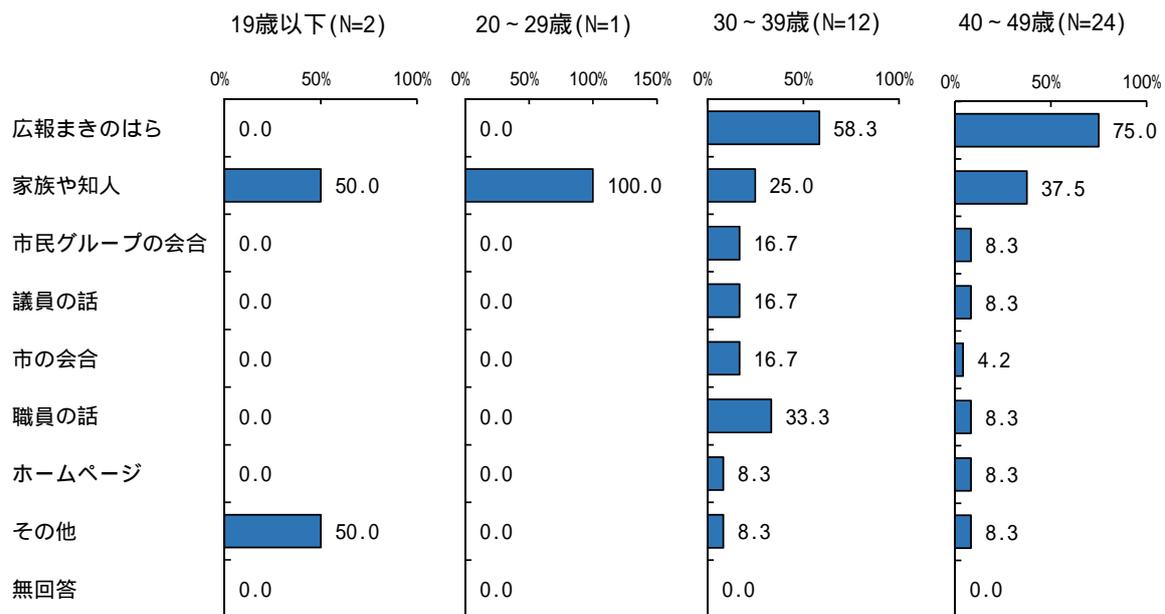
昨年度と比較すると、「市の会合」が5.3ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「議員の話」15.4%や、「市の会合」16.8%や、「ホームページ」7.7%などで、女性よりもポイントが高くなっている。

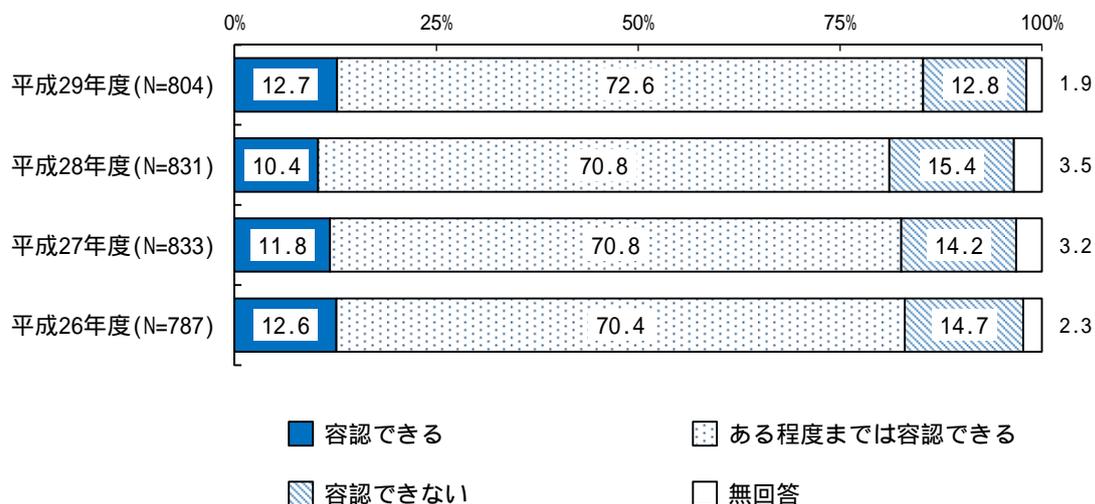
女性は、「家族や知人」43.6%が、男性の25.2%よりも18.4ポイント高くなっている。



【年齢別】：『30歳以上』は、「広報まきのほら」が最も多くなっている。

(11) 使用料の値上がりを受け入れられるか

問 11 「公共施設の更新問題(老朽化問題)」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対して、あなたはどのように思いますか?あてはまるものに1つ 印をつけてください。

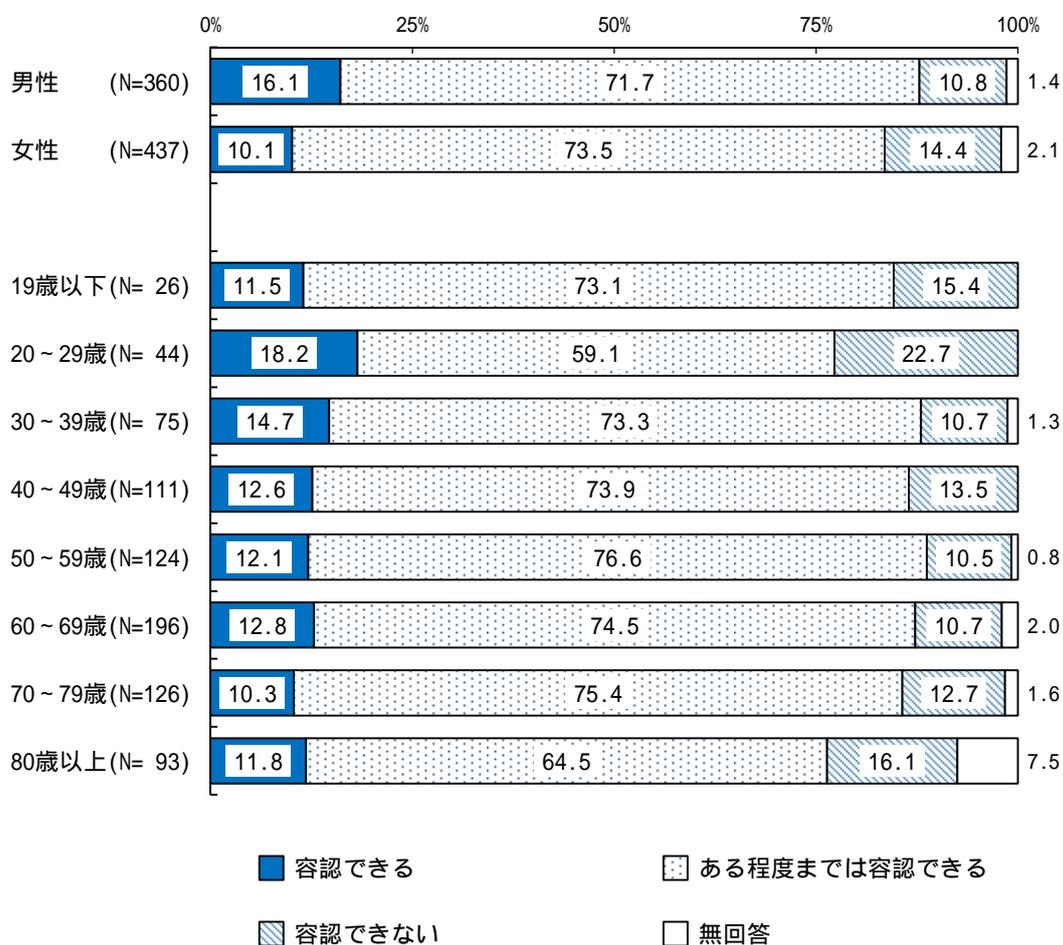


使用料の値上がりを受け入れられるかでは、「ある程度までは容認できる」72.6%が最も多く、以下「容認できない」12.8%、「容認できる」12.7%となっている。

「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”は85.3%となっている。

昨年度と比較すると、“容認できる”は4.1ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「容認できる」16.1%が、女性の10.1%よりも6.0ポイント高くなっている。

【年齢別】：20～29歳は、他の年齢と比べると「容認できない」22.7%が多くなっている。

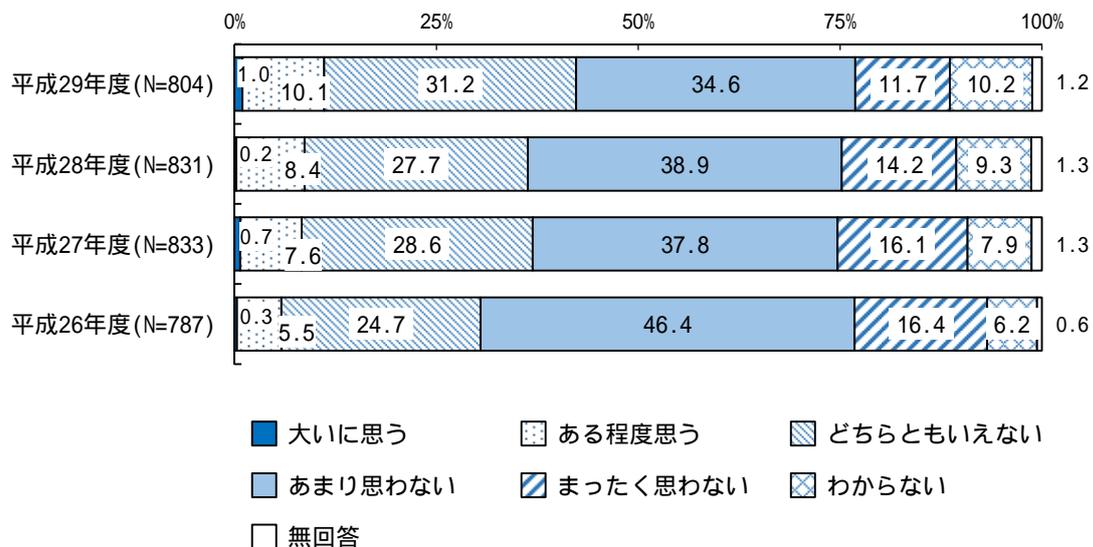
20～29歳と80歳以上は、他の年齢と比べると“容認できる”が7割と少なくなっている。

5 . 産業・雇用について

(12) 市の産業に活力があると思うか

問 12 あなたは、市の産業に、活力（元気）があると思いますか。

あてはまるものに1つ 印をつけてください。



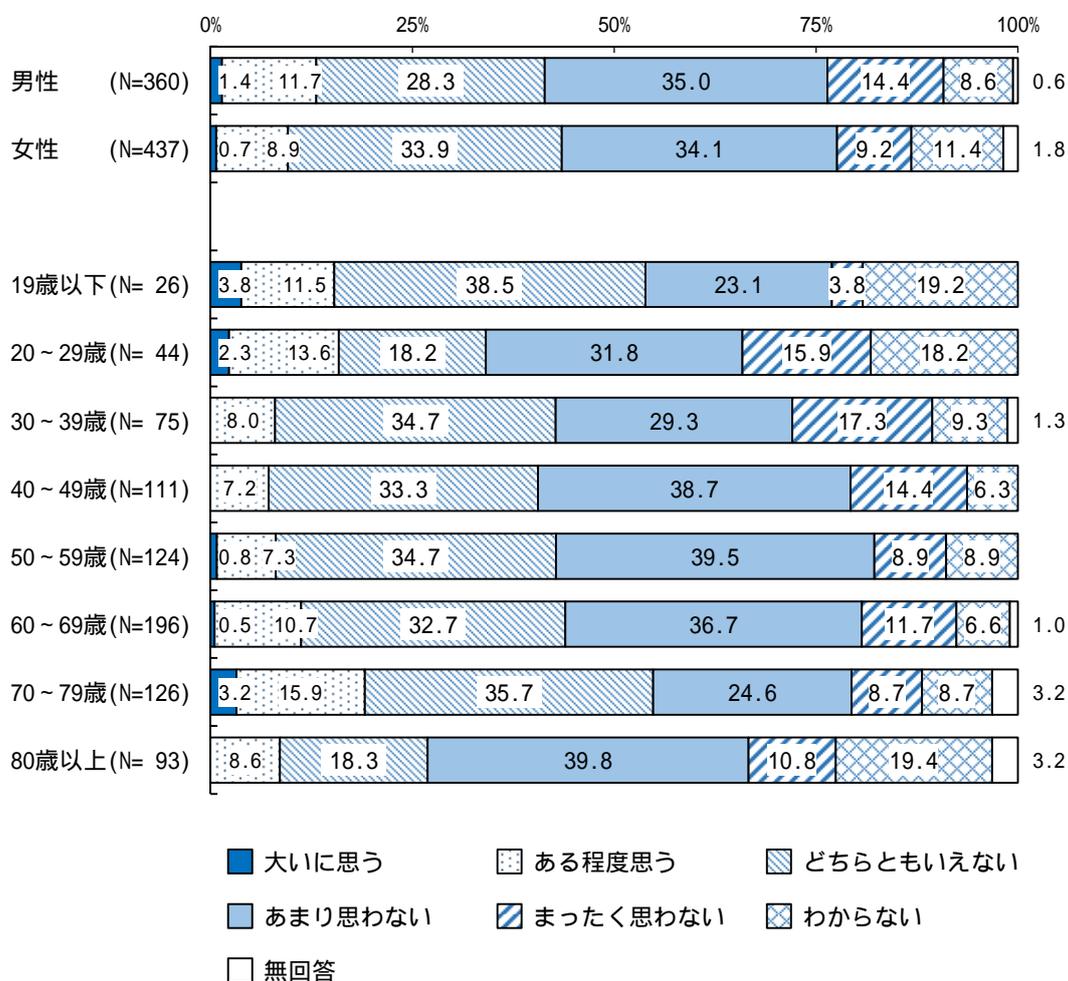
市の産業に活力があると思うかでは、「あまり思わない」34.6%が最も多く、以下「どちらともいえない」31.2%、「まったく思わない」11.7%、「わからない」10.2%、「ある程度思う」10.1%などとなっている。

「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は11.1%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“思わない”は46.3%となっている。

昨年度と比較すると、「あまり思わない」は4.3ポイント低くなっている。

また、“思わない”は6.8ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「まったく思わない」14.4%が、女性の9.2%よりも5.2ポイント高く、「思わない」は6.1ポイント高くなっている。

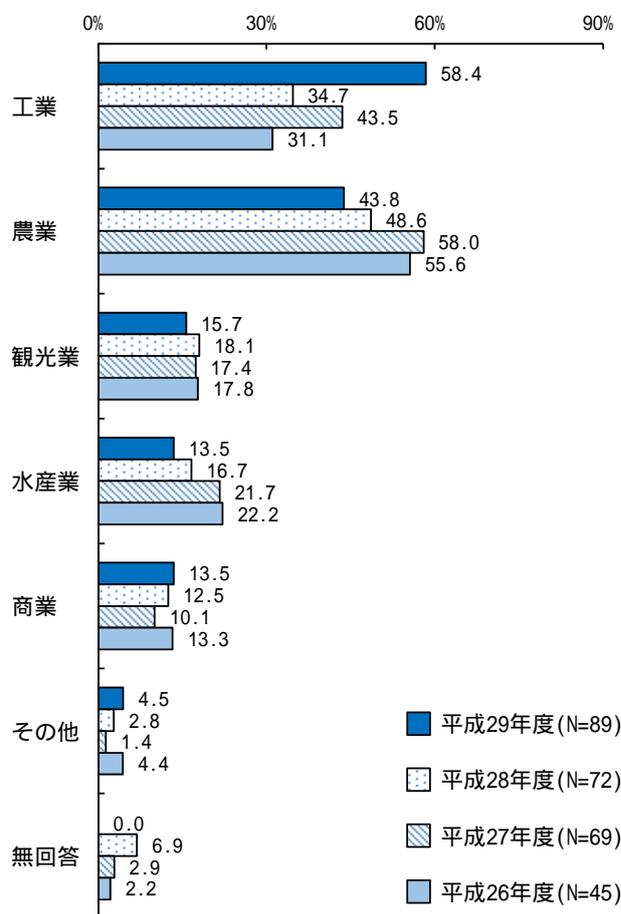
【年齢別】：40～49歳と80歳以上で、「思わない」が5割を超えている。

(13) どの産業に活力があると思うか

問13 あなたは、どの産業に活力(元気)があると思いますか。

あてはまるもの全てに 印をつけてください。

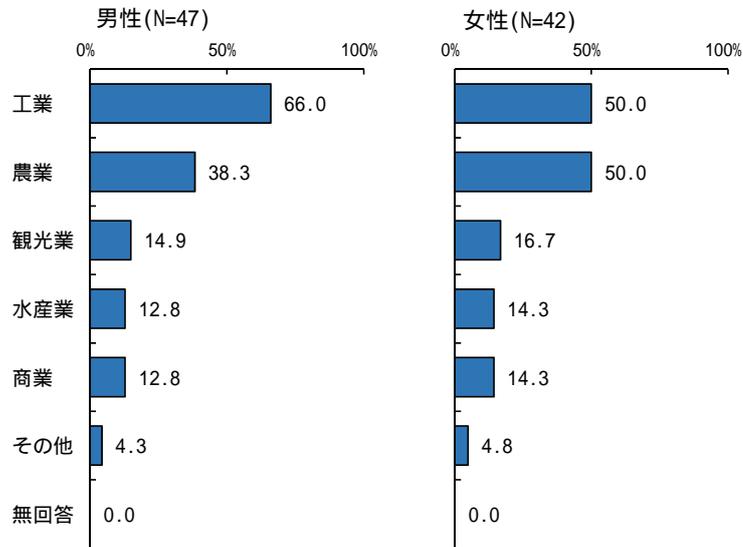
問12で「大いに思う」または「ある程度思う」と答えた89人のみ



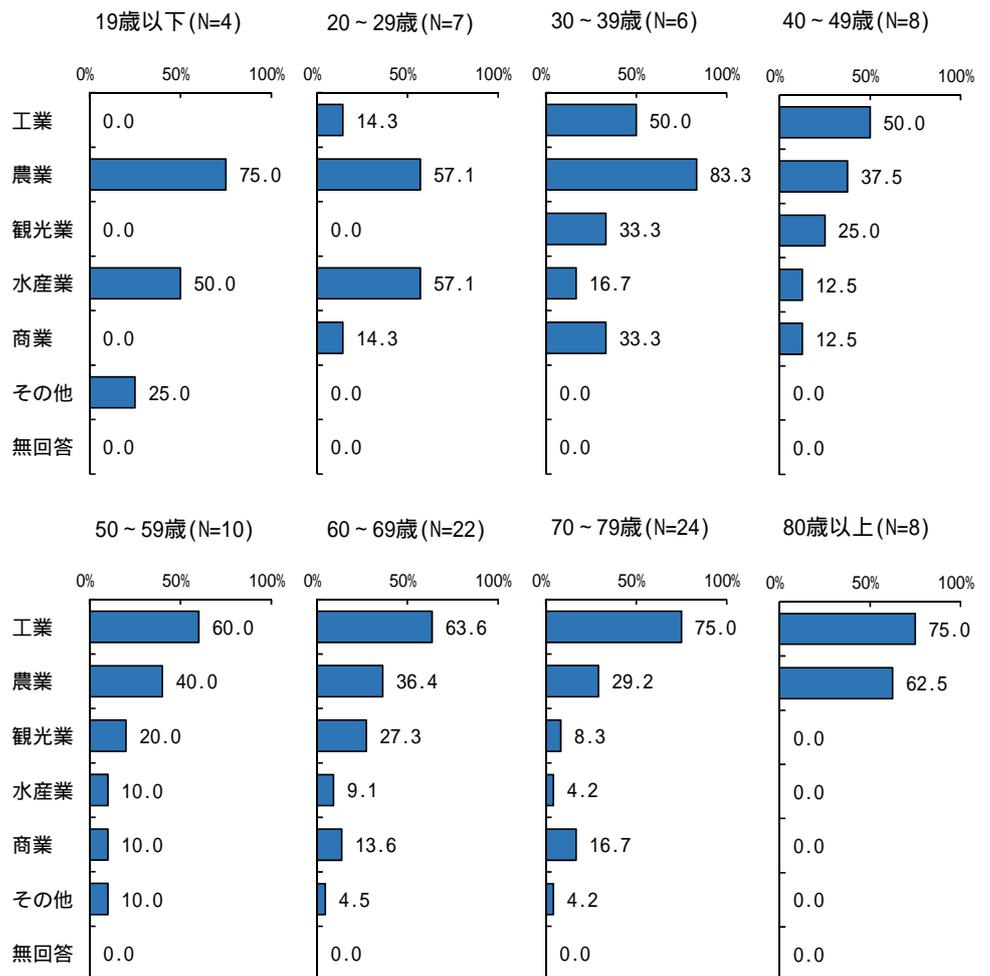
どの産業に活力があると思うかでは、「工業」58.4%が最も多く、以下「農業」43.8%、「観光業」15.7%、「水産業」13.5%、「商業」13.5%などとなっている。

昨年度と比較すると、「工業」は23.7ポイント高くなっている。

クロス集計



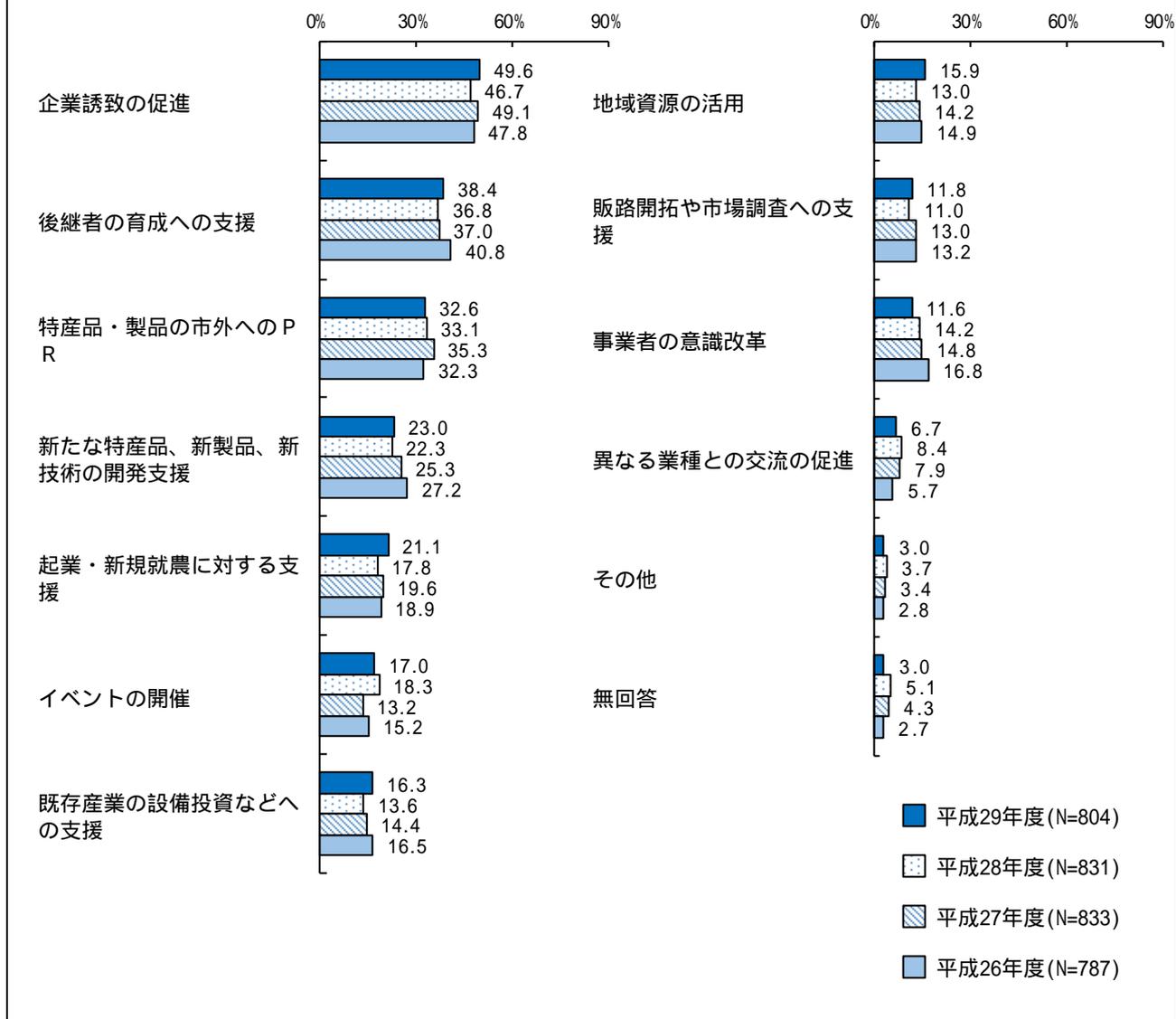
【性別】：男性は、「工業」66.0%が、女性の50.0%よりも16.0ポイント高くなっている。女性は、「農業」50.0%が、男性の38.3%よりも11.7ポイント高くなっている。



【年齢別】：サンプル数が少ないため、コメントは割愛する。

(14) 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組み

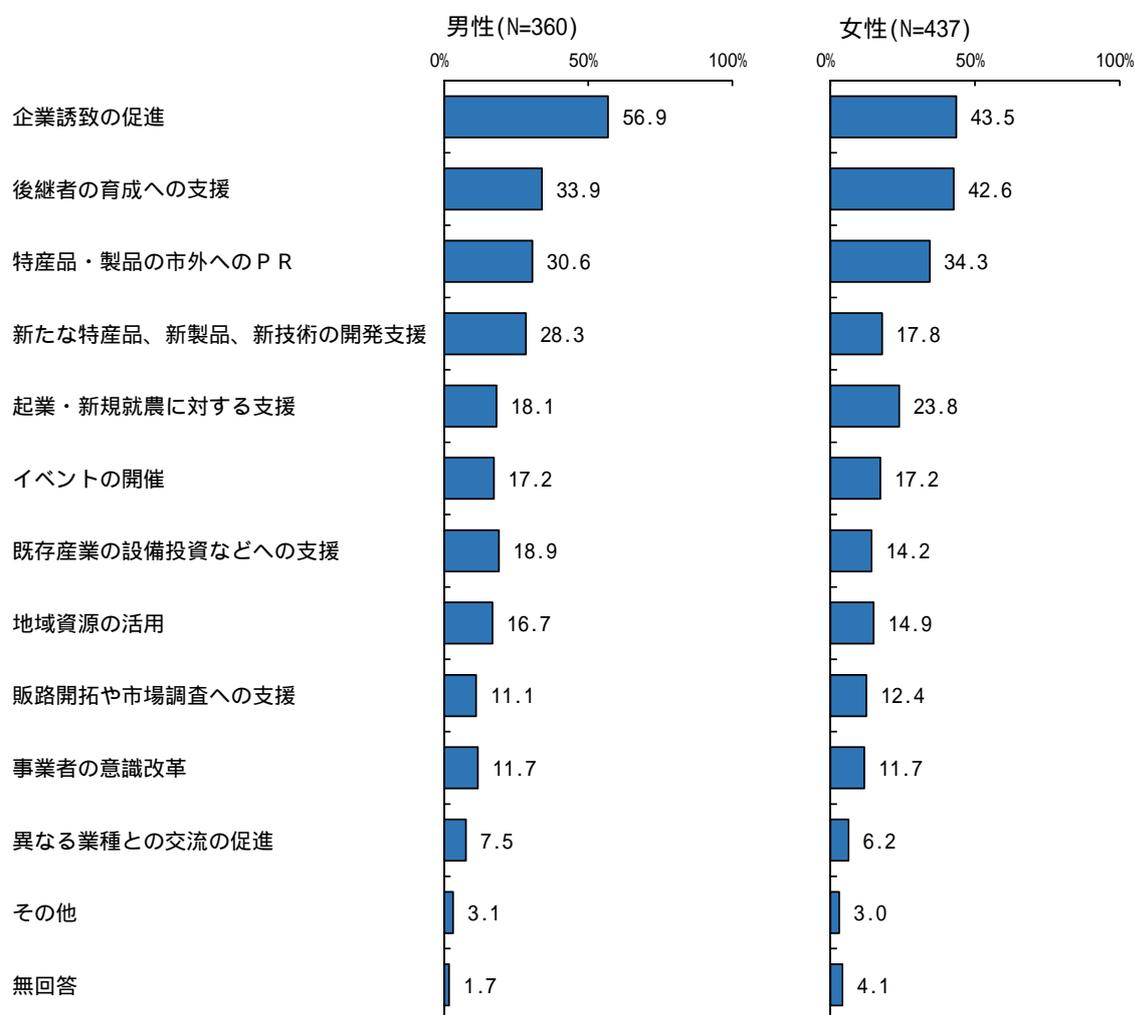
問 14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思えますか？
次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。



産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組みでは、「企業誘致の促進」49.6%が最も多く、以下「後継者の育成への支援」38.4%、「特産品・製品の市外へのPR」32.6%、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」23.0%、「起業・新規就農に対する支援」21.1%などとなっている。

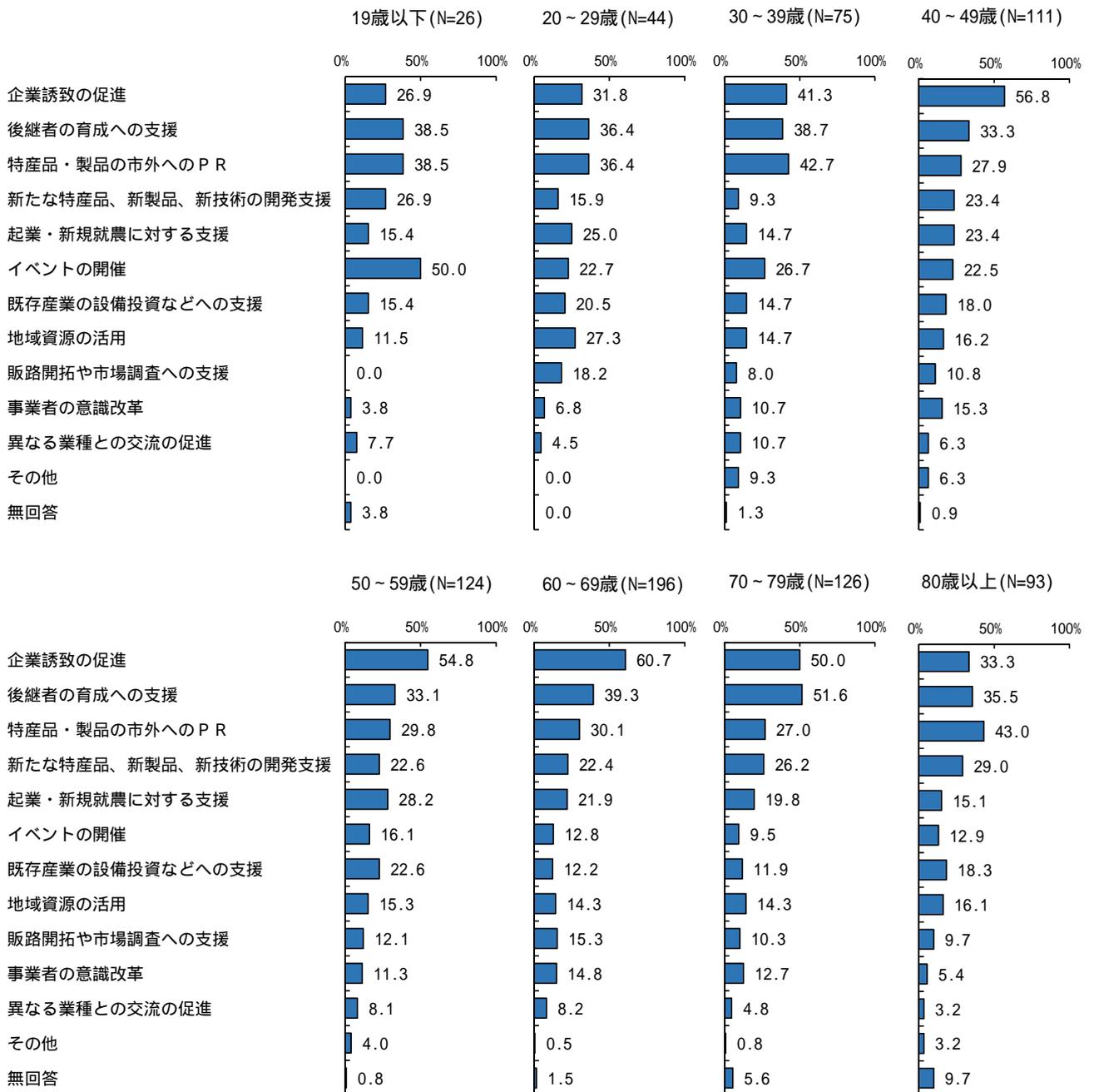
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】：男性は、「企業誘致の促進」56.9%や、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」28.3%や、「既存産業の設備投資などへの支援」18.9%などで、女性よりもポイントが高くなっている。

女性は、「後継者の育成への支援」42.6%や、「起業・新規就農に対する支援」23.8%などで、男性よりもポイントが高くなっている。



【年齢別】：19歳以下は、他の年齢と比べると「イベントの開催」50.0%が多くなっている。

20～29歳は、他の年齢と比べると「地域資源の活用」27.3%が多くなっている。

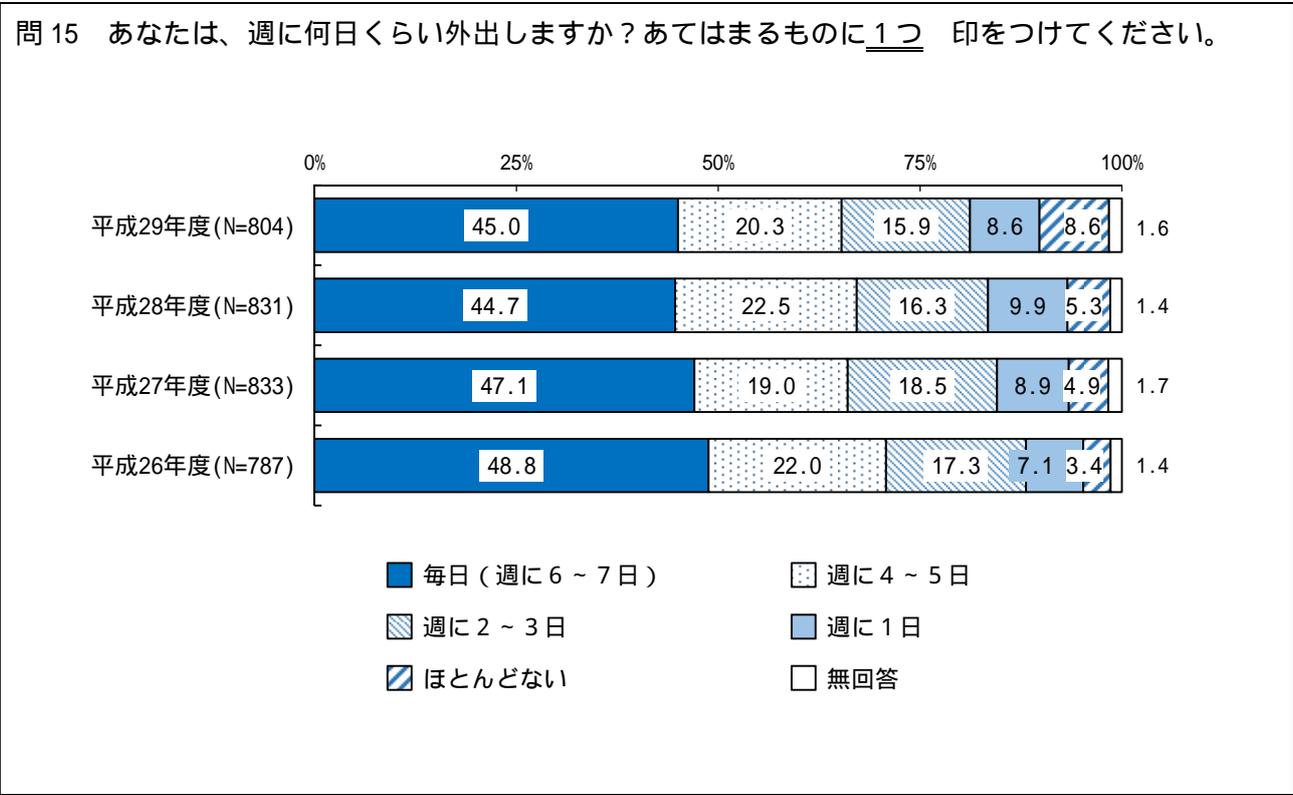
30～39歳は、「特産品・製品の市外へのPR」42.7%が最も多く、他の年齢と比べると「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」が少なくなっている。

40代から60代までは、「企業誘致の促進」が最も多く、いずれも5割を超えている。

70～79歳は、他の年齢と比べると「後継者の育成への支援」51.6%が多くなっている。

6 . 地域活動について

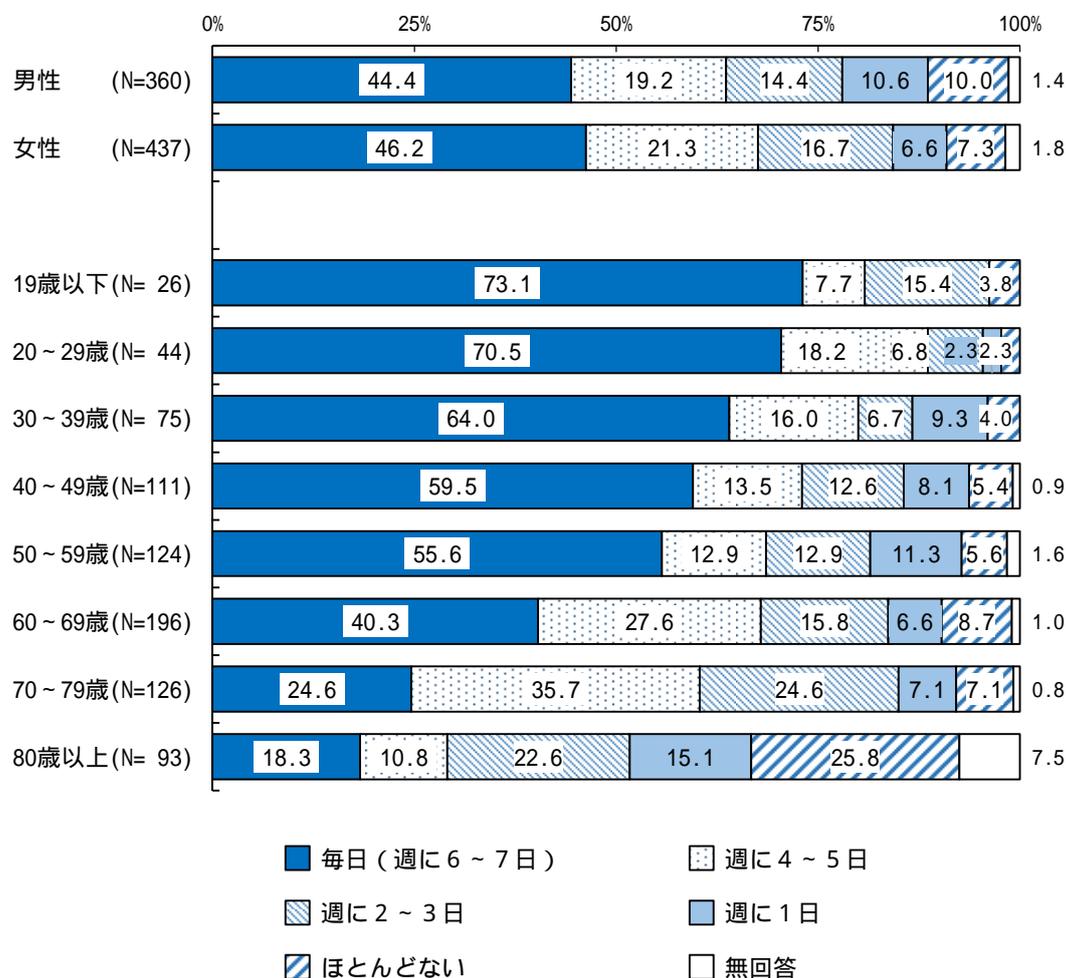
(15) 週に何日くらい外出するか



週に何日くらい外出するかでは、「毎日 (週に6~7日)」45.0%が最も多く、以下「週に4~5日」20.3%、「週に2~3日」15.9%、「週に1日」8.6%、「ほとんどない」8.6%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】：大きな差異はみられない。

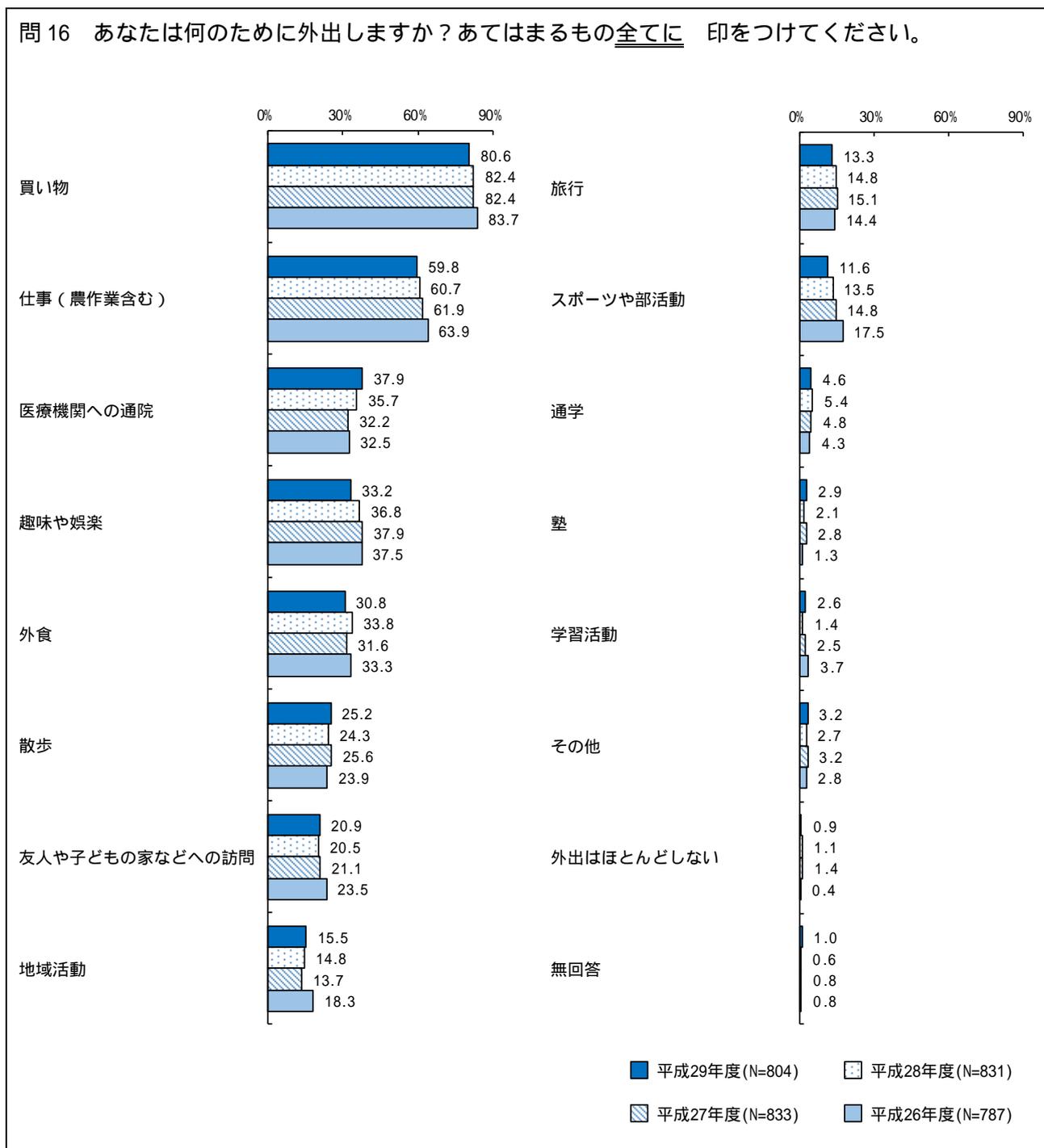
【年齢別】：『69歳以下』は、「毎日（週に6～7日）」が最も多くなっている。

70～79歳は、「週に4～5日」35.7%が最も多くなっている。

80歳以上は、「ほとんどない」25.8%が最も多くなっている。

年齢が下がるにつれて「毎日（週に6～7日）」は多くなる傾向がある。

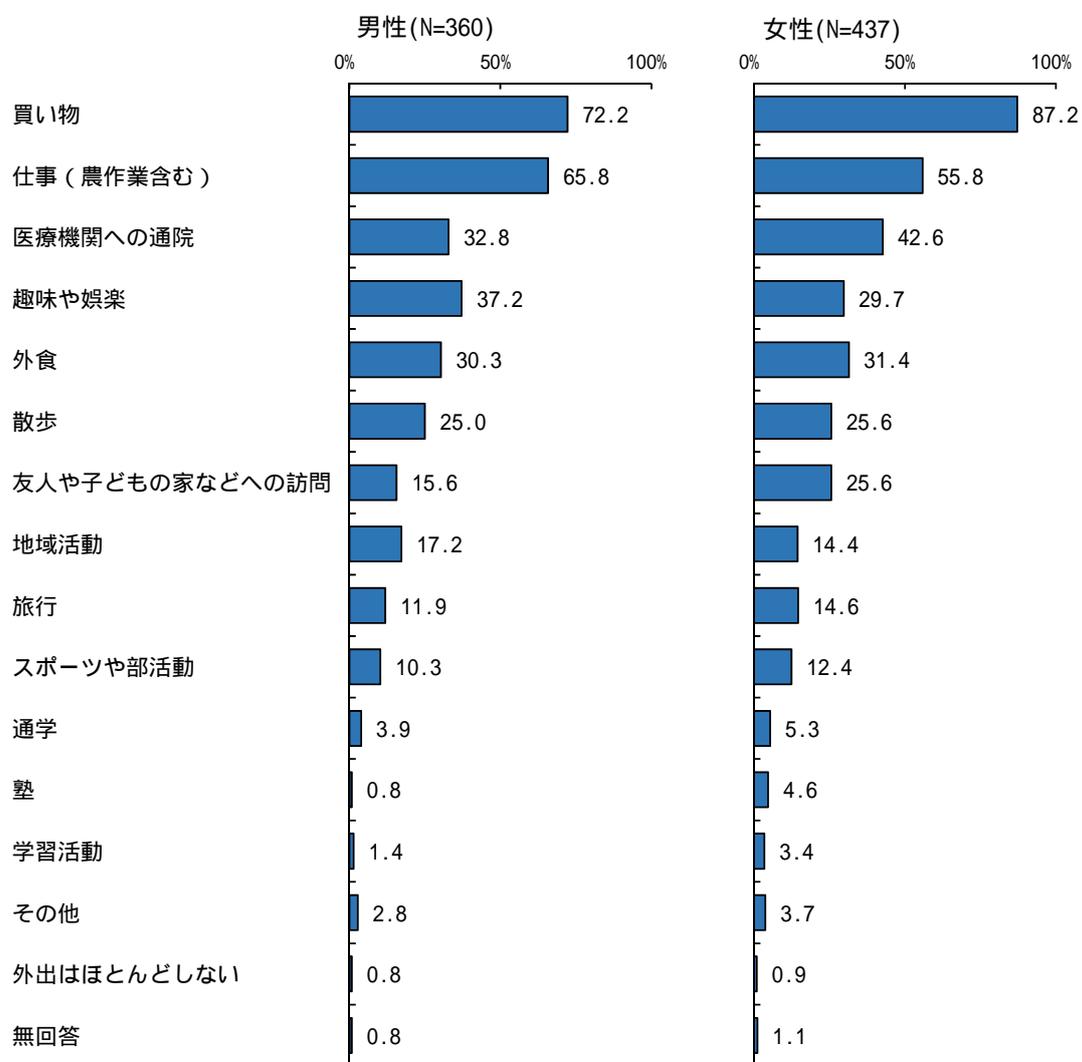
(16) 何のために外出するか



何のために外出するかでは、「買い物」80.6%が最も多く、以下「仕事（農作業含む）」59.8%、「医療機関への通院」37.9%、「趣味や娯楽」33.2%、「外食」30.8%などとなっている。

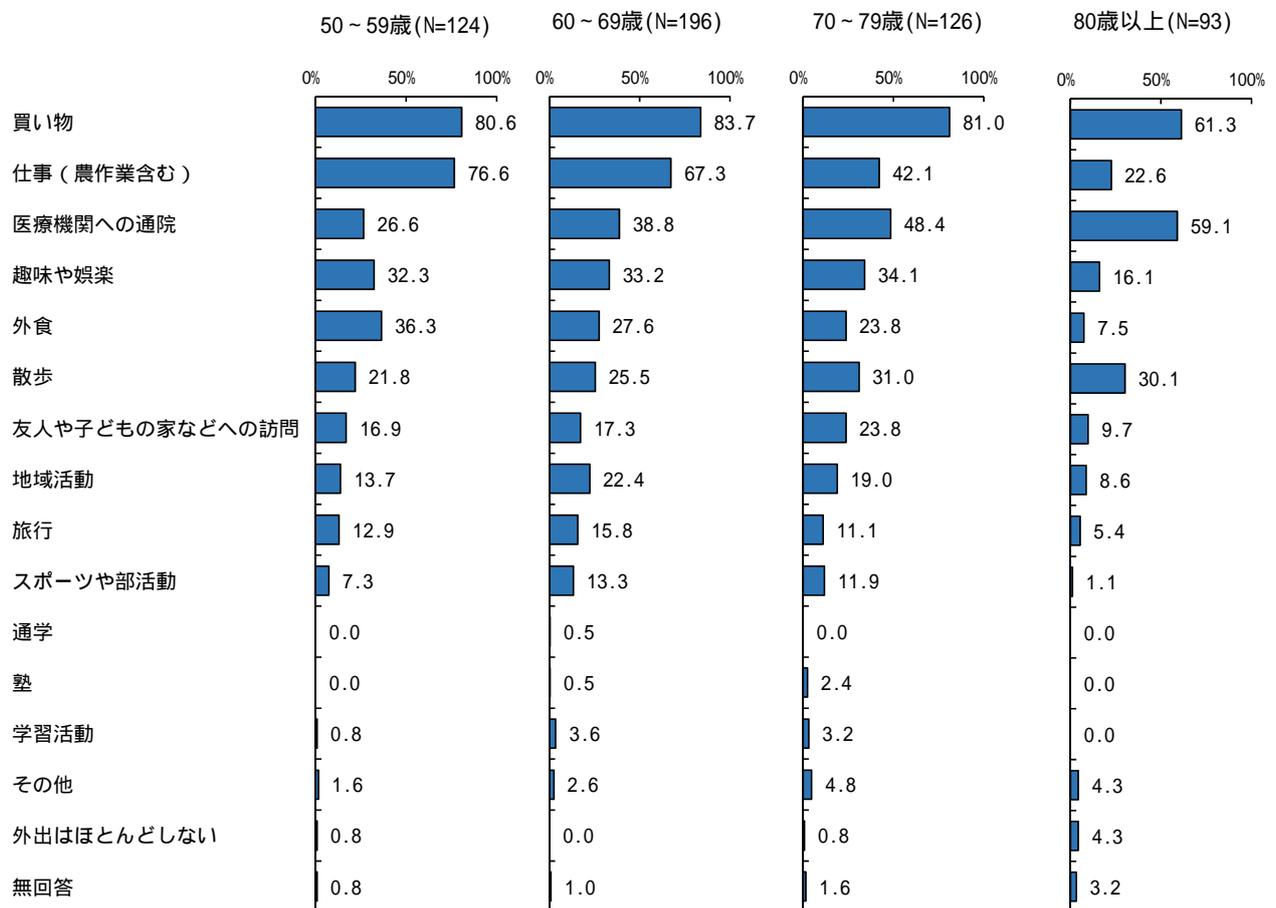
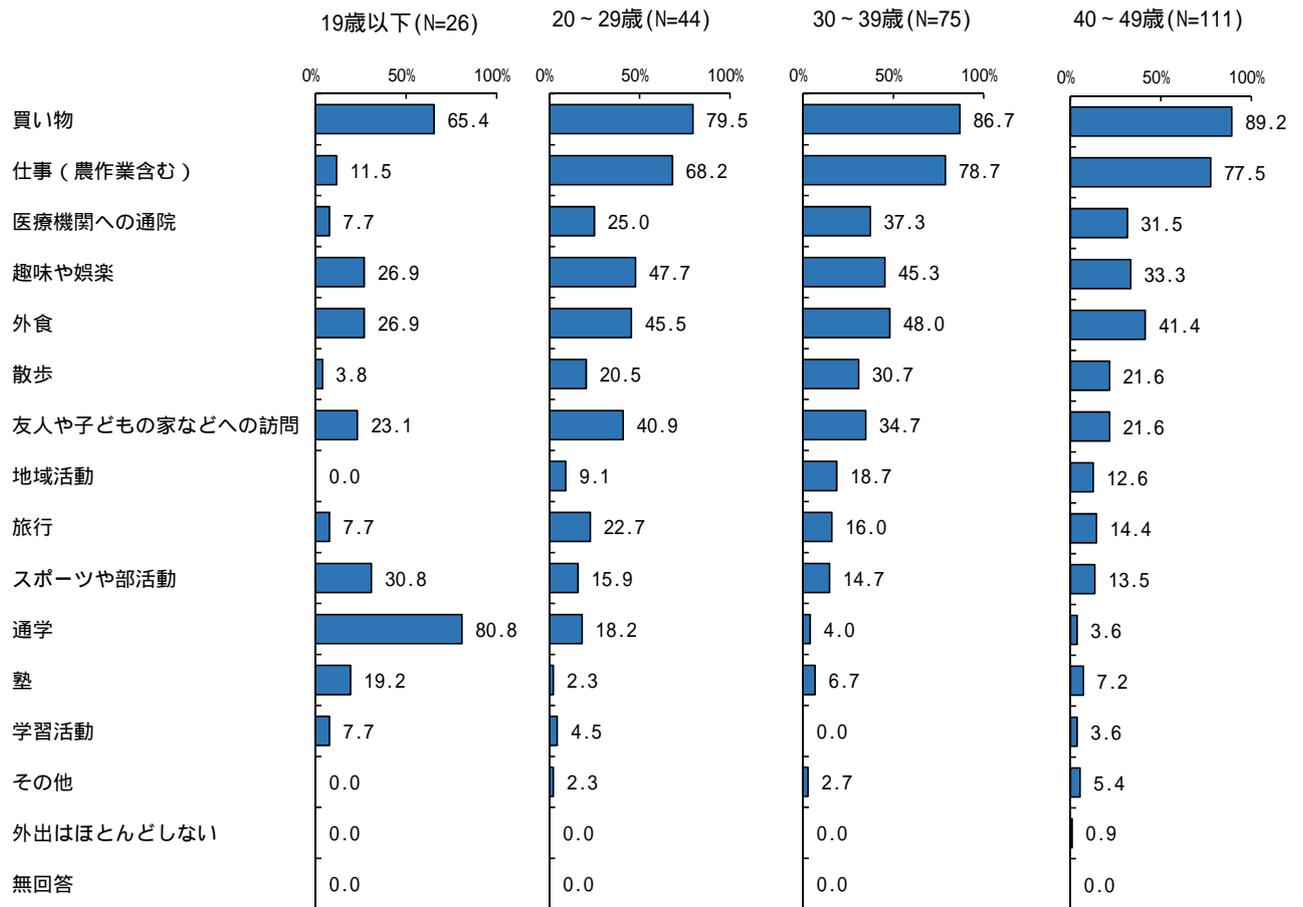
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】：男性は、「仕事（農作業含む）」65.8%や「趣味や娯楽」37.2%などで、女性よりもポイントが高くなっている。

女性は、「買い物」87.2%や「医療機関への通院」42.6%などで、男性よりもポイントが高くなっている。



【年齢別】：19歳以下は、「通学」80.8%が最も多く、他の年齢と比べて「スポーツや部活動」30.8%や「塾」19.2%が多くなっている。

『20歳以上』は、「買物」が最も多くなっている。

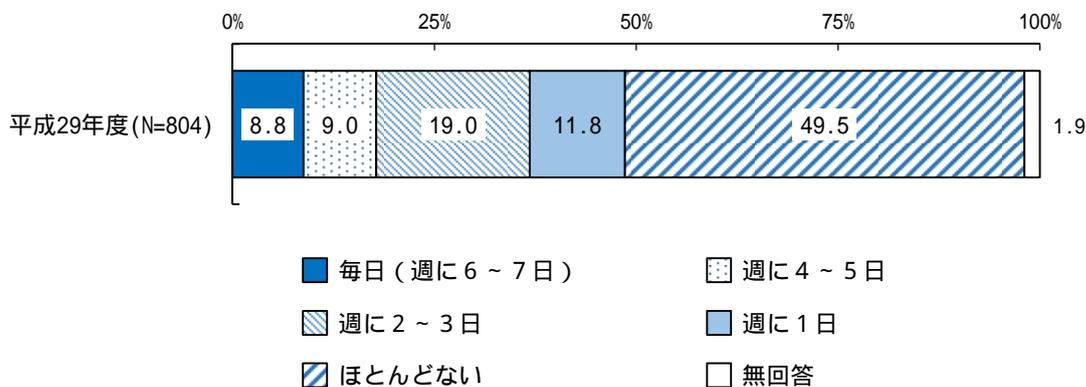
20代から30代は、他の年齢と比べて「趣味や娯楽」や「友人や子どもの家などへの訪問」が多くなっている。

30代から50代は、他の年齢と比べて「仕事（農作業含む）」が多く、7割を超えている。年齢が上がるにつれて「医療機関への通院」は多くなる傾向がある。

(17) 30分以上の運動を週何日くらいするか

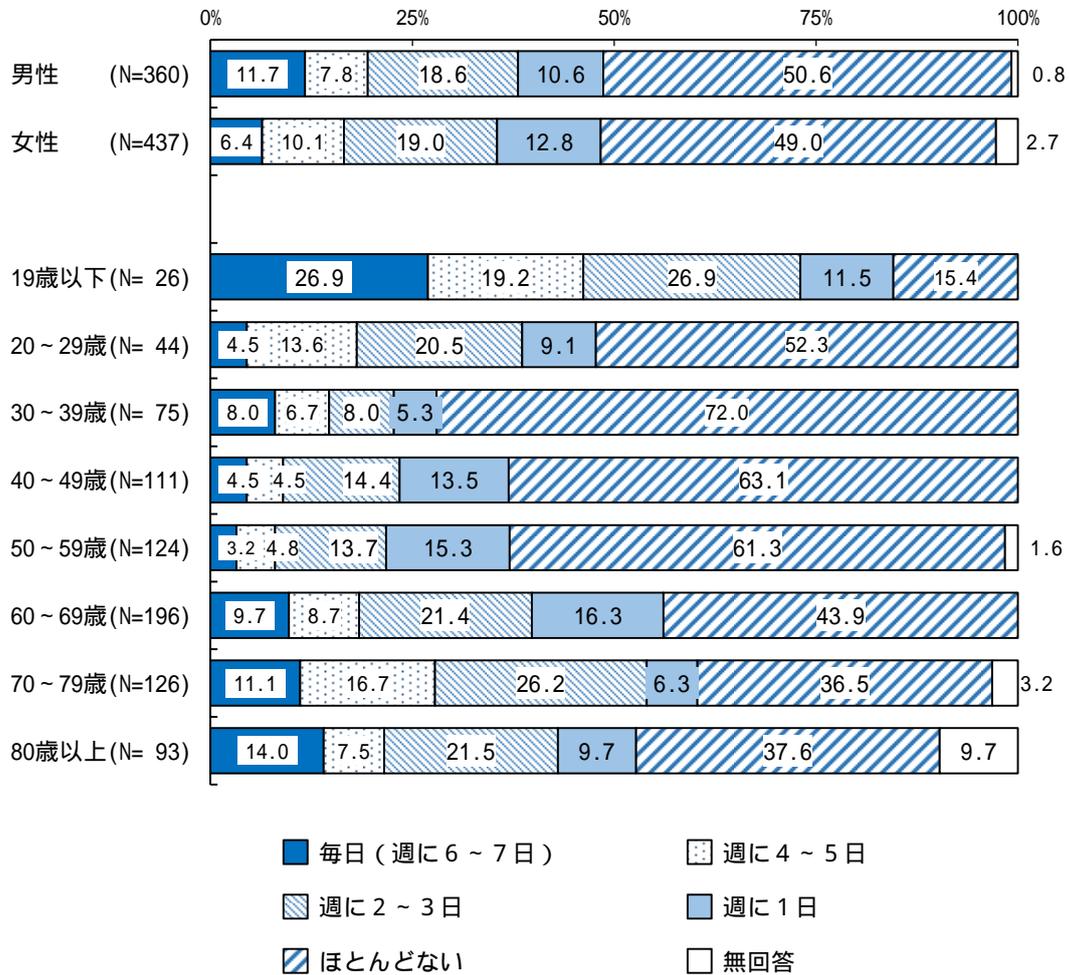
問17 あなたは、30分以上の運動を週に何日くらいしますか？

あてはまるものに1つ印をつけてください。



30分以上の運動を週何日くらいするかでは、「ほとんどない」49.5%が最も多く、以下「週に2~3日」19.0%、「週に1日」11.8%、「週に4~5日」9.0%、「毎日 (週に6~7日)」8.8%となっている。

クロス集計

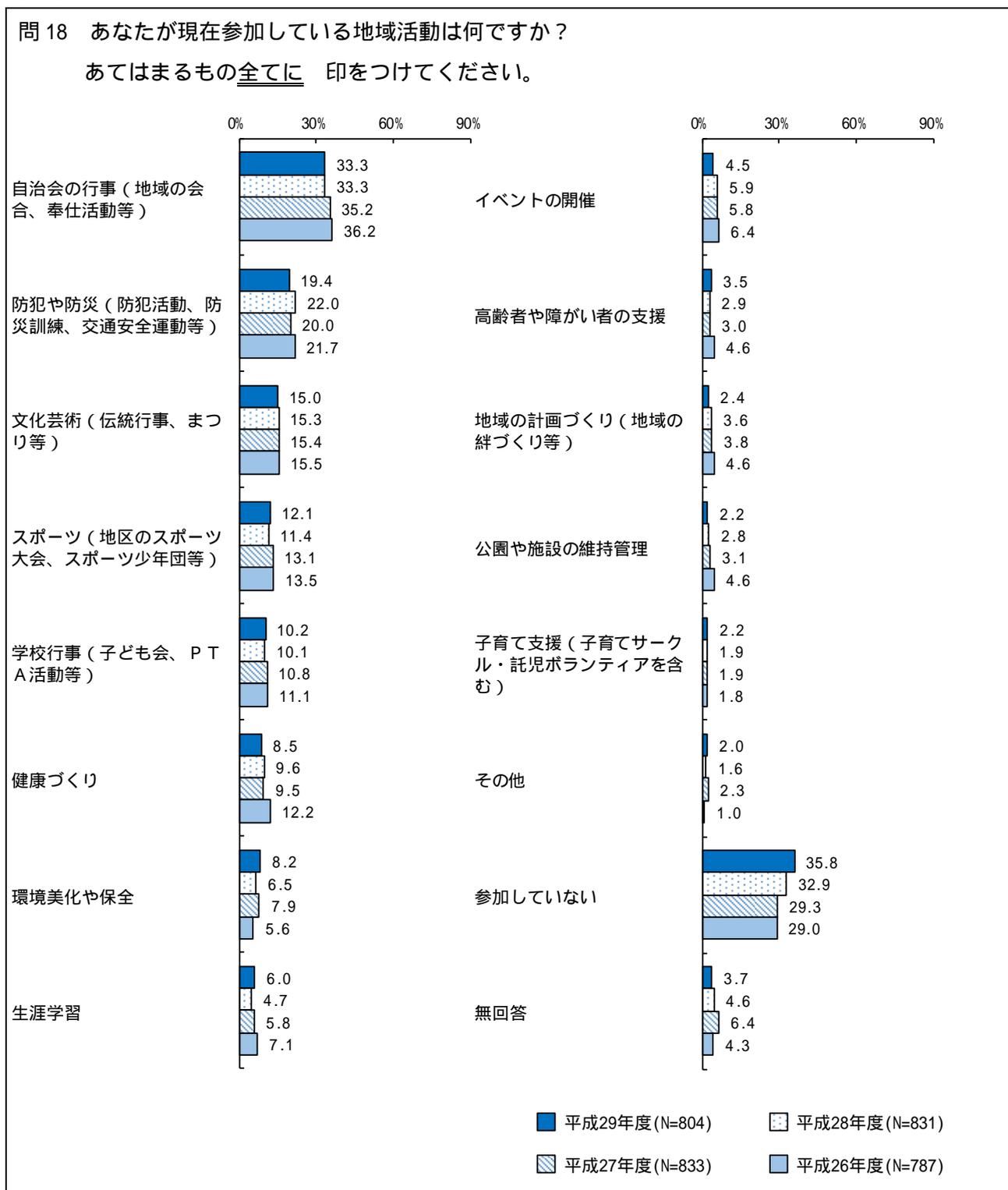


【性別】：男性は、「毎日（週に6～7日）」11.7%が、女性の6.4%よりも5.3ポイント高くなっている。

【年齢別】：『20歳以上』は、「ほとんどない」が最も多くなっている。「ほとんどない」は30～39歳をピークに、年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

『60歳以上』は、「週に2～3日」が2割を超えている。

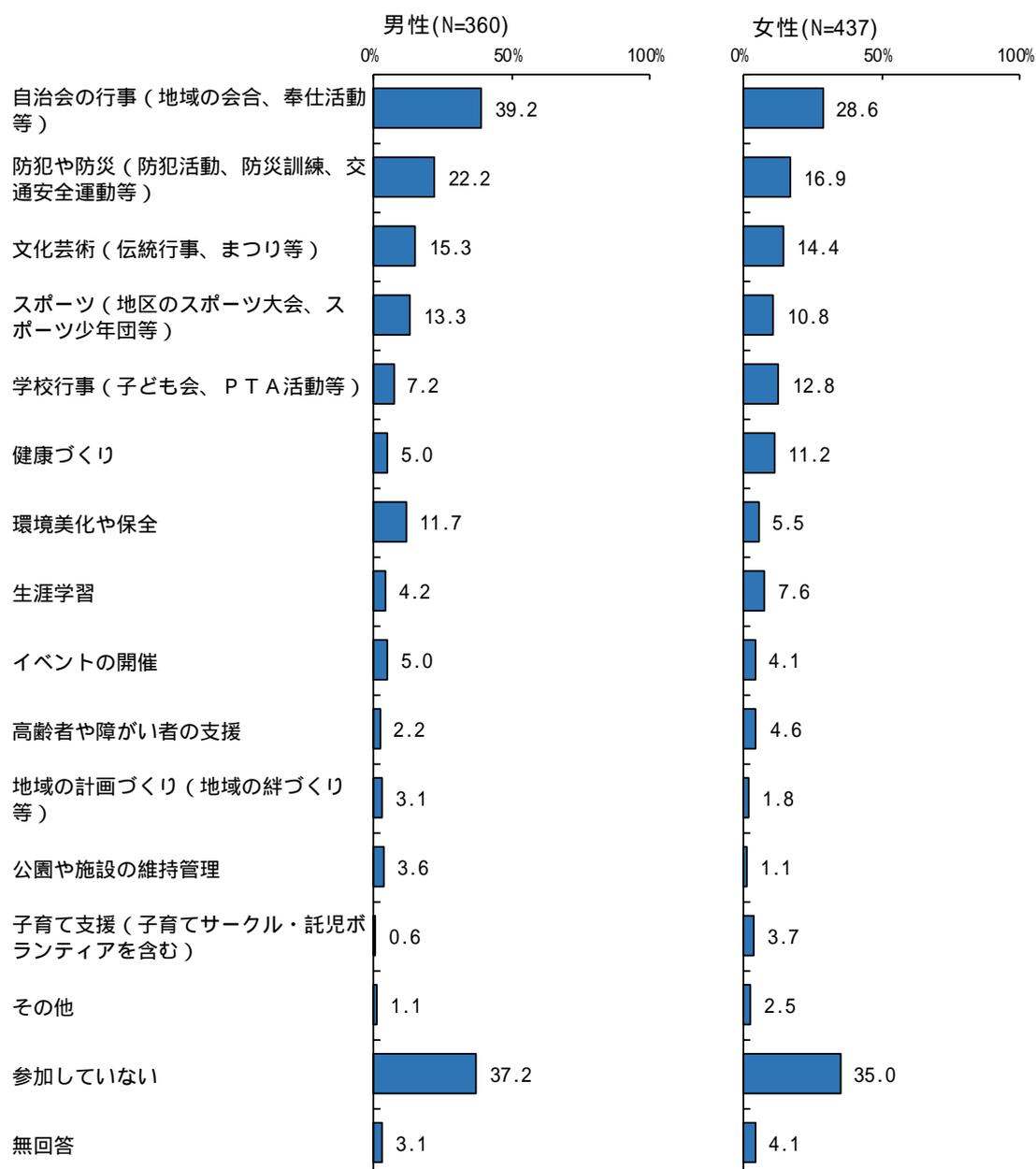
(18) 現在参加している地域活動は



現在参加している地域活動としては、「参加していない」35.8%が最も多く、以下「自治会の行事 (地域の会合、奉仕活動等)」33.3%、「防犯や防災 (防犯活動、防災訓練、交通安全運動等)」19.4%、「文化芸術 (伝統行事、まつり等)」15.0%、「スポーツ (地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等)」12.1%などとなっている。

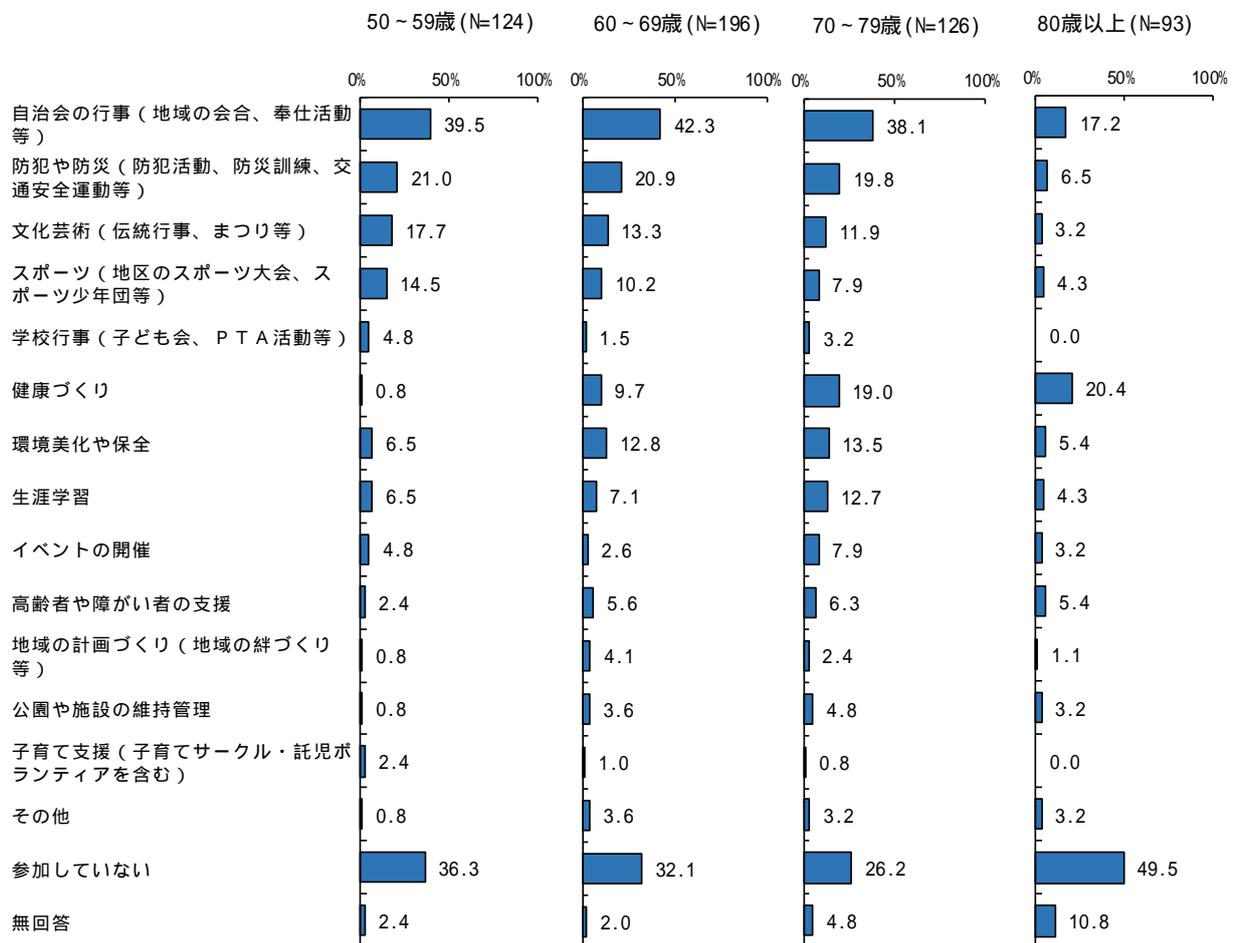
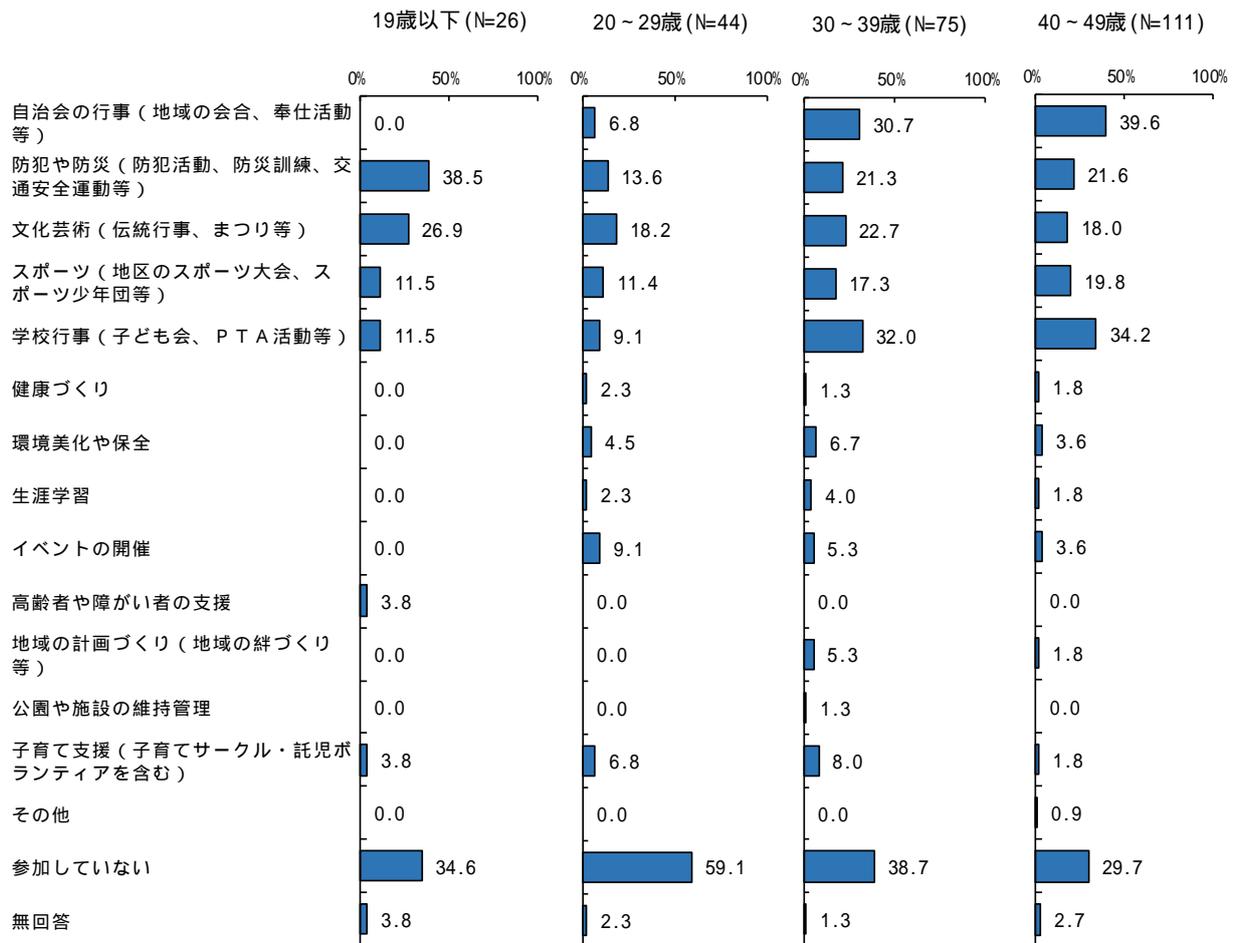
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】：男性は、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」39.2%や、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」22.2%や、「環境美化や保全」11.7%などが、女性よりもポイントが高くなっている。

女性は、「学校行事（子ども会、PTA活動等）」12.8%や、「健康づくり」11.2%などが、男性よりもポイント高くなっている。



【年齢別】: 19歳以下は、他の年齢と比べて「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」38.5%が多くなっている。

20～29歳は、他の年齢と比べて「参加していない」59.1%が多くなっている。

30代から40代は、他の年齢と比べて「学校行事（子ども会、PTA活動等）」が多くなっている。

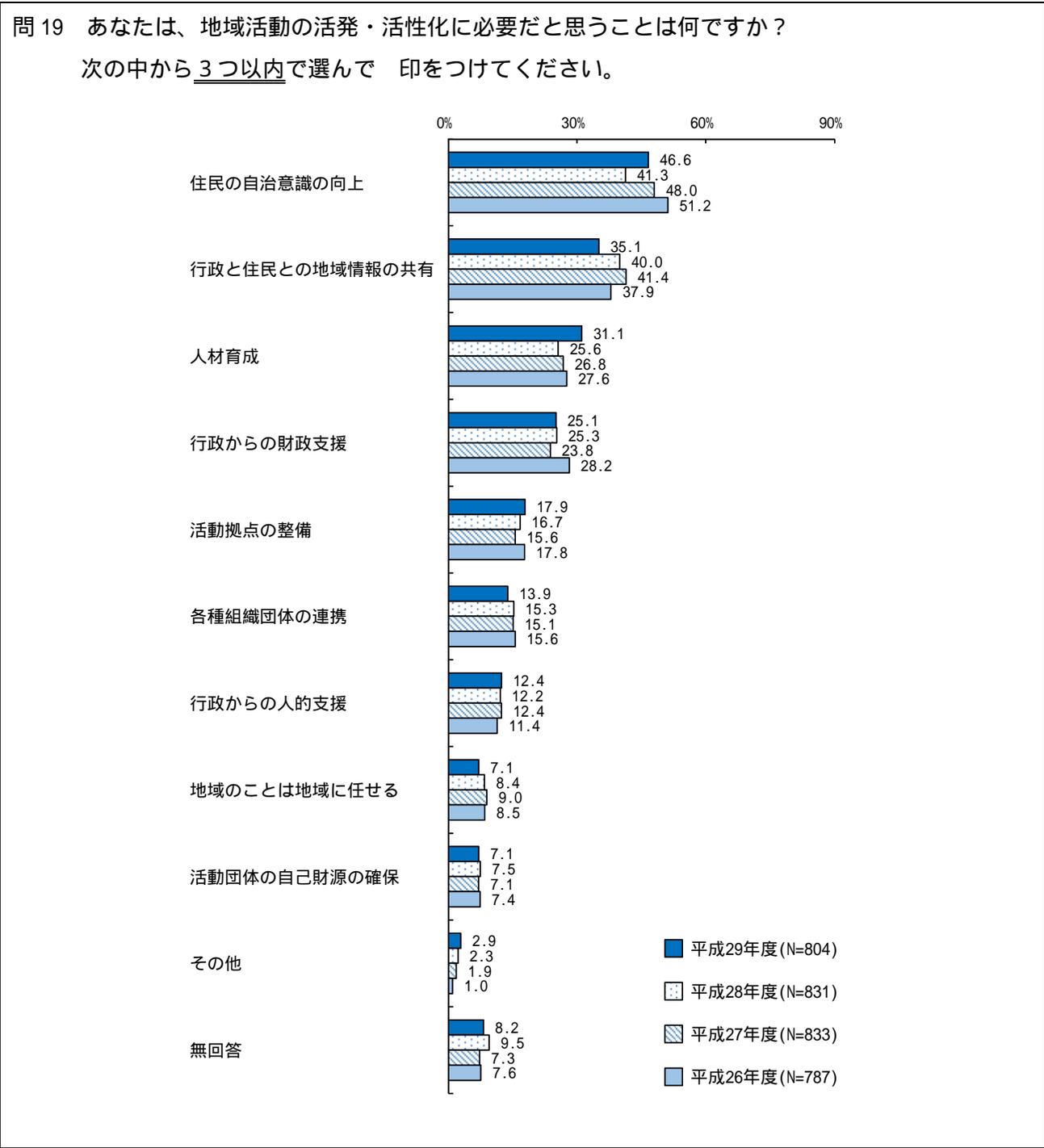
40代から70代までは、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が約4割と多くなっている。

60代から70代は、他の年齢と比べて「環境美化や保全」や「生涯学習」が多くなっている。

70代から80歳以上は、「健康づくり」が約2割と多くなっている。

7. 市からの情報発信について

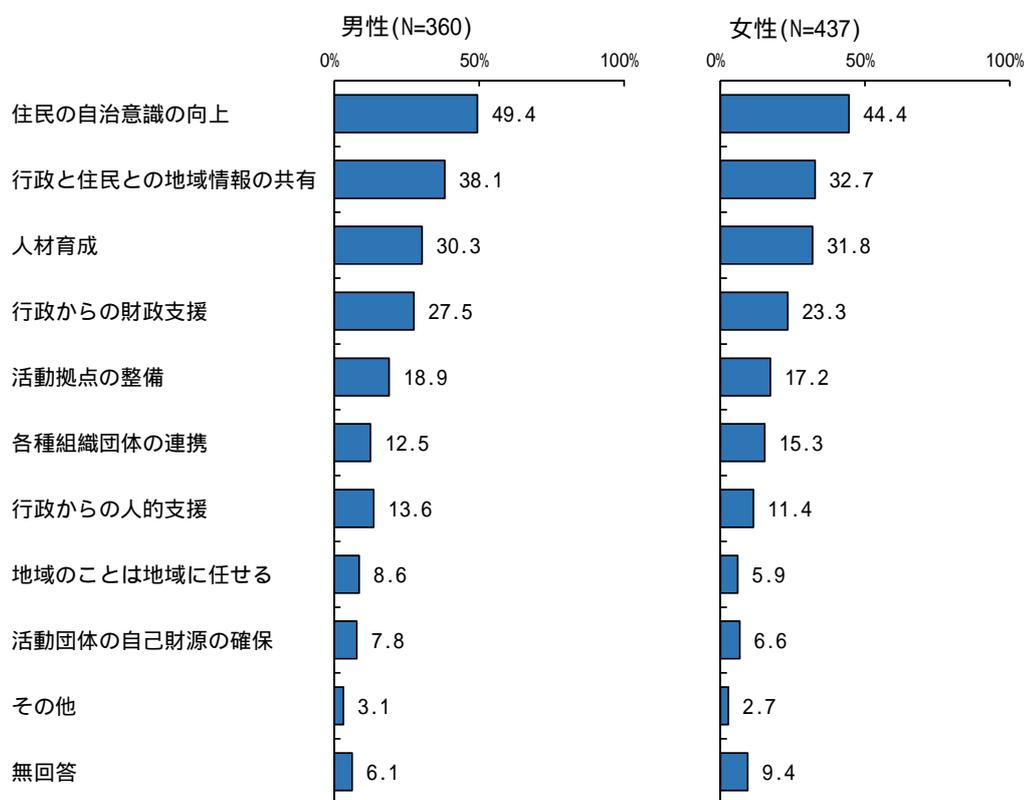
(19) 地域活動の活発・活性化に必要なことは何か



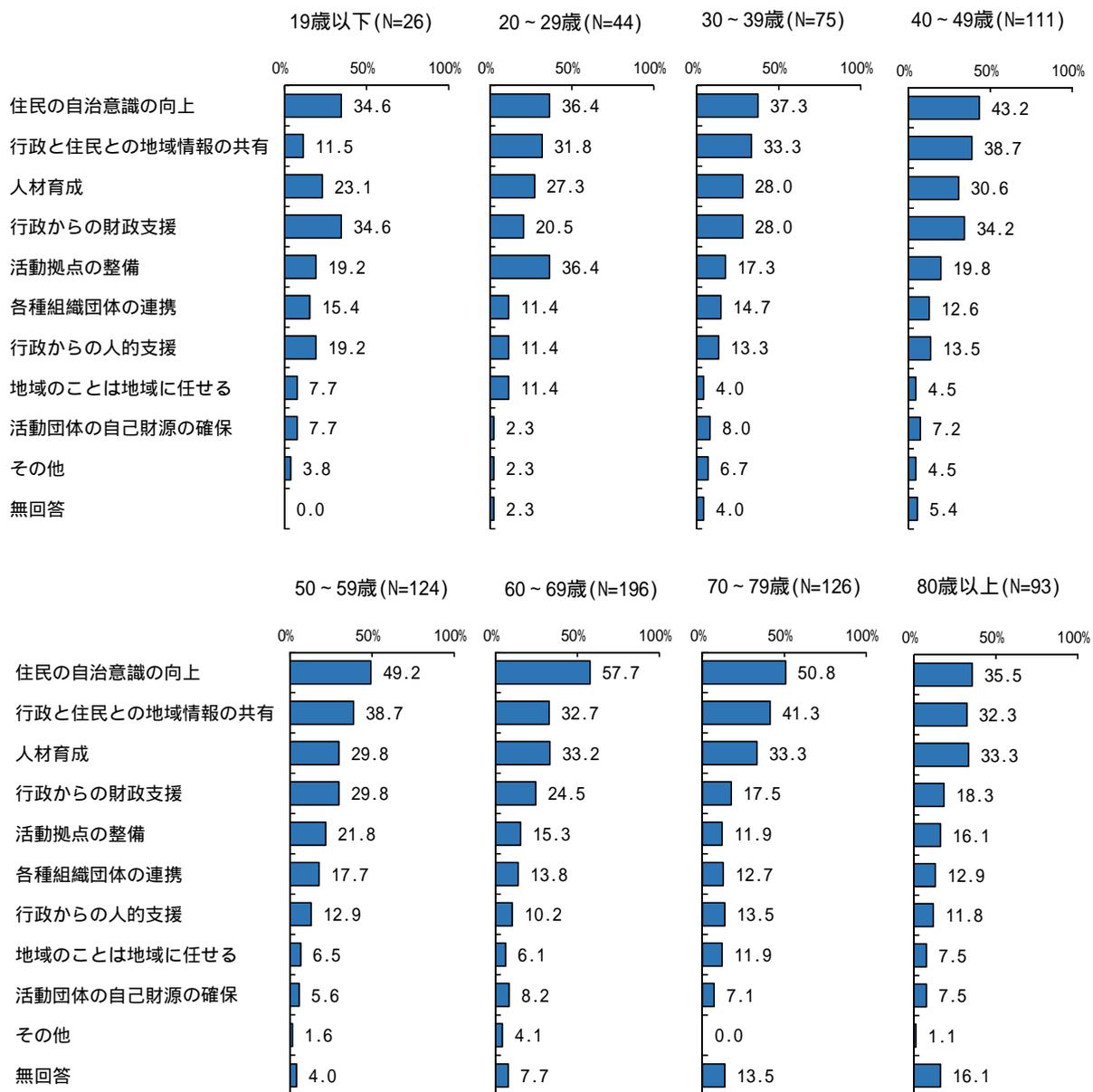
地域活動の活発・活性化に必要なことは何かでは、「住民の自治意識の向上」46.6%が最も多く、以下「行政と住民との地域情報の共有」35.1%、「人材育成」31.1%、「行政からの財政支援」25.1%、「活動拠点の整備」17.9%などとなっている。

昨年度と比較すると、「住民の自治意識の向上」46.6%、「人材育成」31.1%などが高くなっており、「行政と住民との地域情報の共有」35.1%などが低くなっている

クロス集計



【性別】：男性は、「住民の自治意識の向上」49.4%や、「行政と住民との地域情報の共有」38.1%が、女性よりも5.0ポイント以上高くなっている。



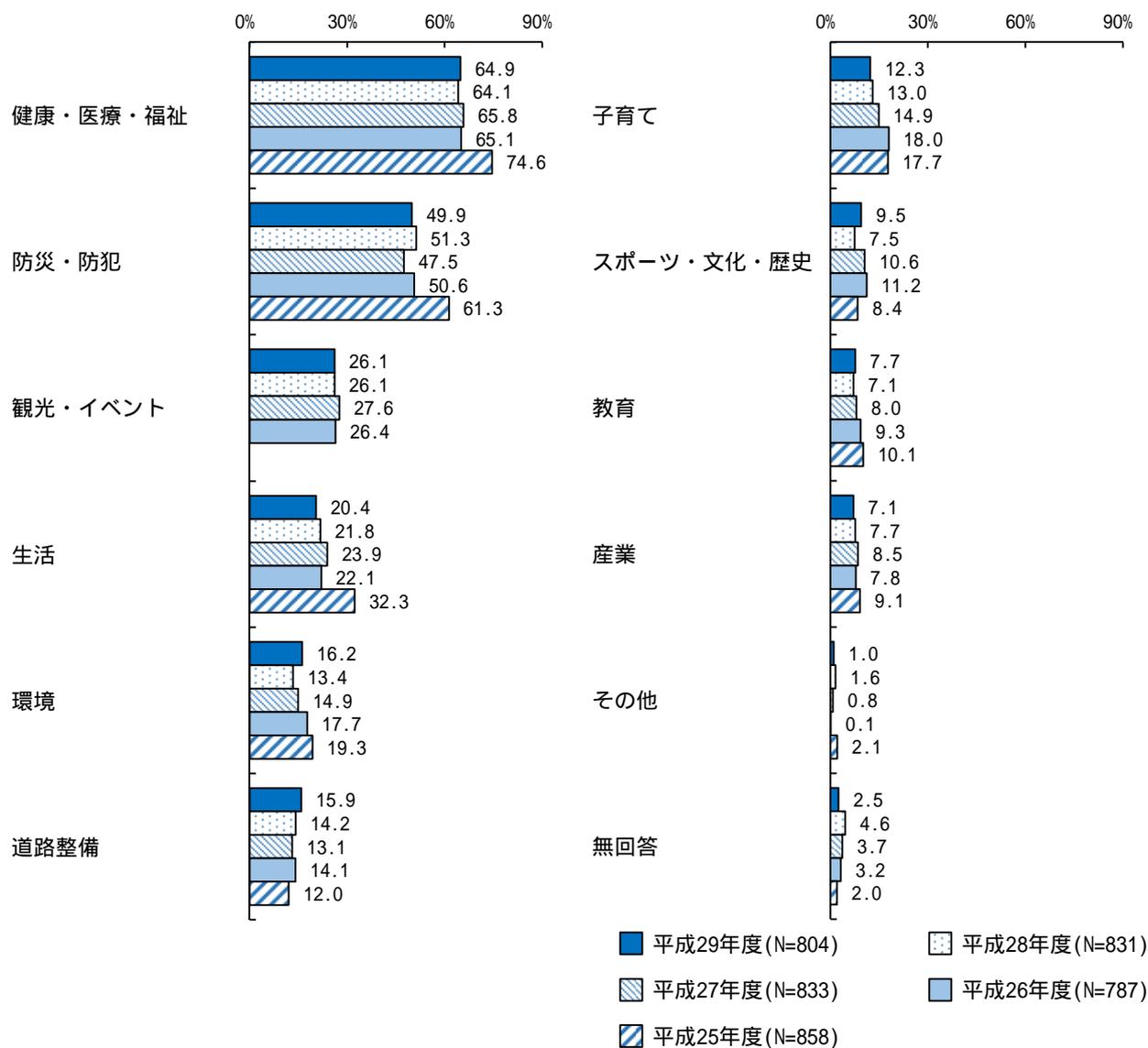
【年齢別】：すべての年齢で「住民の自治意識の向上」が多く、50代から70代までは約5割を占めている。

20～29歳は、他の年齢に比べて「活動拠点の整備」36.4%が多くなっている。

(20) 市からのどんな情報を得たいと思うか

問 20 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？

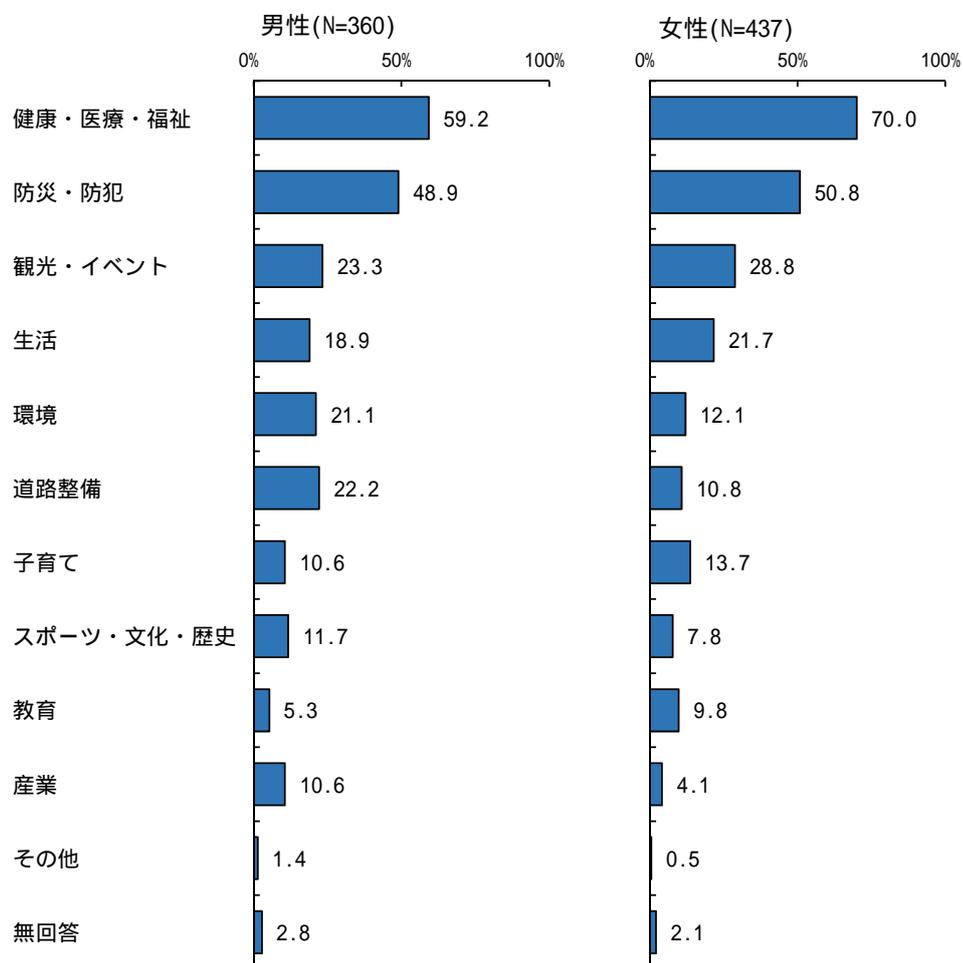
次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。



市からのどんな情報を得たいと思うかでは、「健康・医療・福祉」64.9%が最も多く、以下「防災・防犯」49.9%、「観光・イベント」26.1%、「生活」20.4%、「環境」16.2%などとなっている。

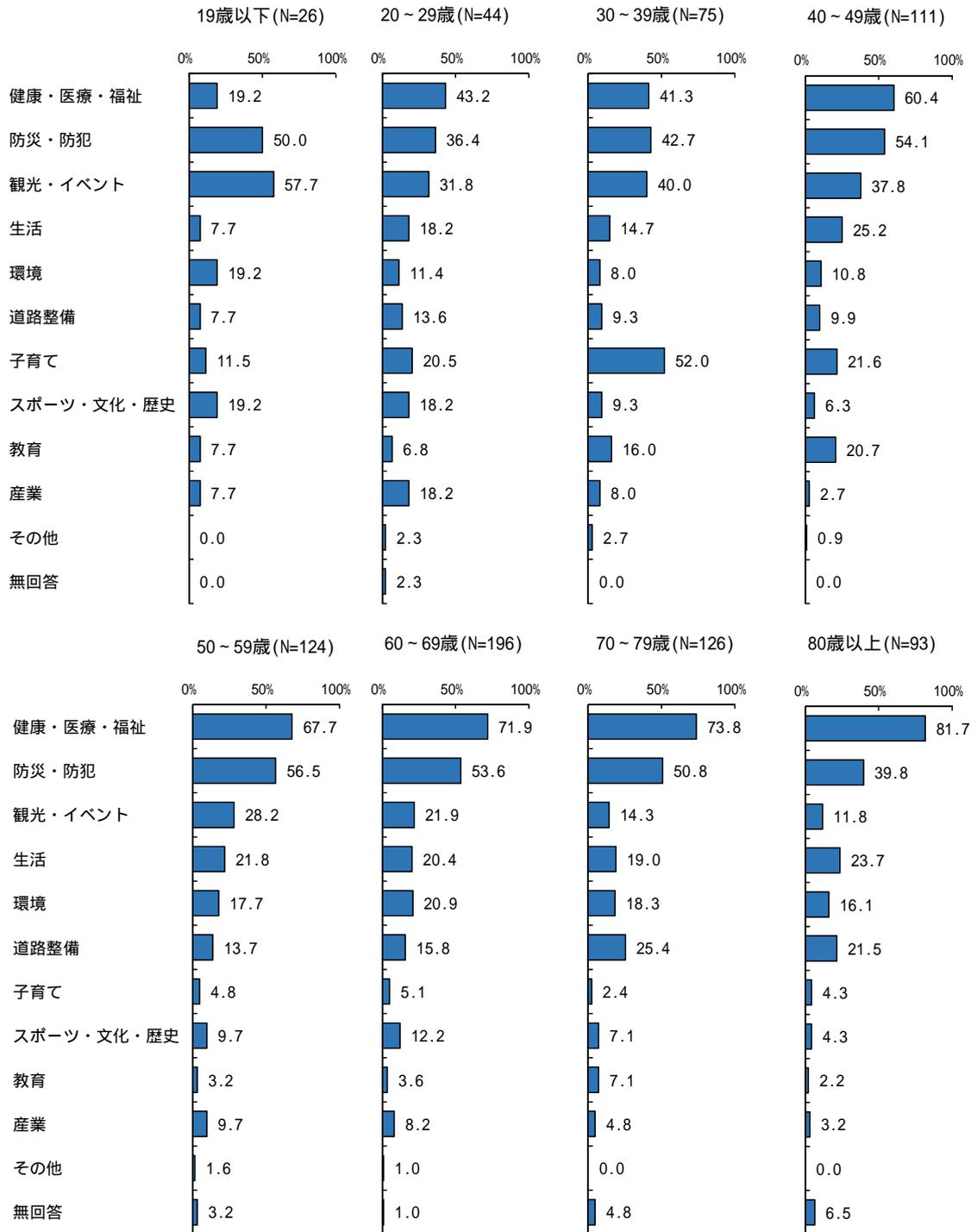
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】：男性は、「道路整備」22.2%が、女性の10.8%よりも11.4ポイント高くなっている。

女性は、「健康・医療・福祉」70.0%が、男性の59.2%よりも10.8ポイント高くなっている。



【年齢別】：19歳以下は、「観光・イベント」57.7%が最も多くなっている。

20～29歳は、他の年齢と比べると、「産業」18.2%が多くなっている。

30～39歳は、「子育て」52.0%が最も多くなっている。

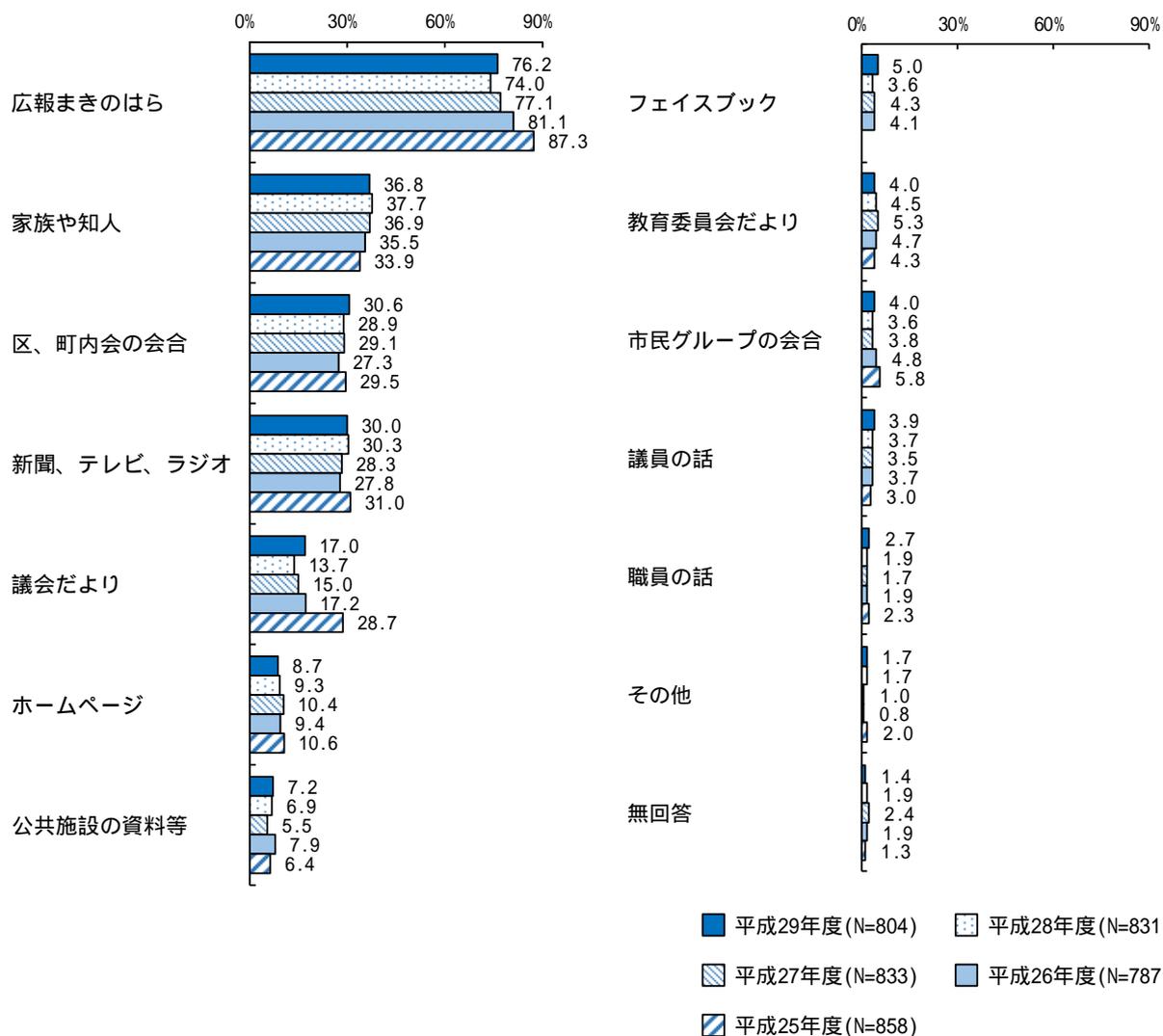
40～49歳は、他の年齢と比べると、「教育」20.7%が多くなっている。

年齢が上がるにつれて「健康・医療・福祉」は多くなる傾向がある。

(21) 市からの情報を何から知っているか

問 21 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？

あてはまるもの全てに 印をつけてください。

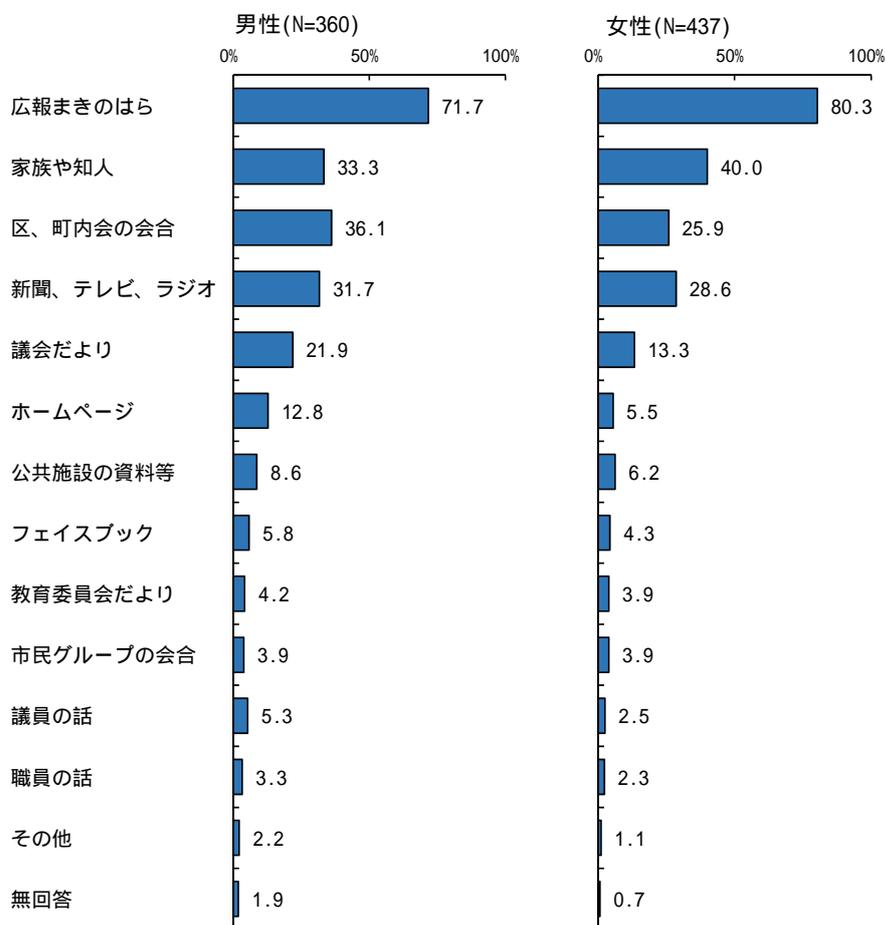


「フェイスブック」は、平成 26 年度より追加された項目

市からの情報を何から知っているかでは、「広報まきのはら」76.2%が最も多く、以下「家族や知人」36.8%、「区、町内会の会合」30.6%、「新聞、テレビ、ラジオ」30.0%、「議会だより」17.0%などとなっている。

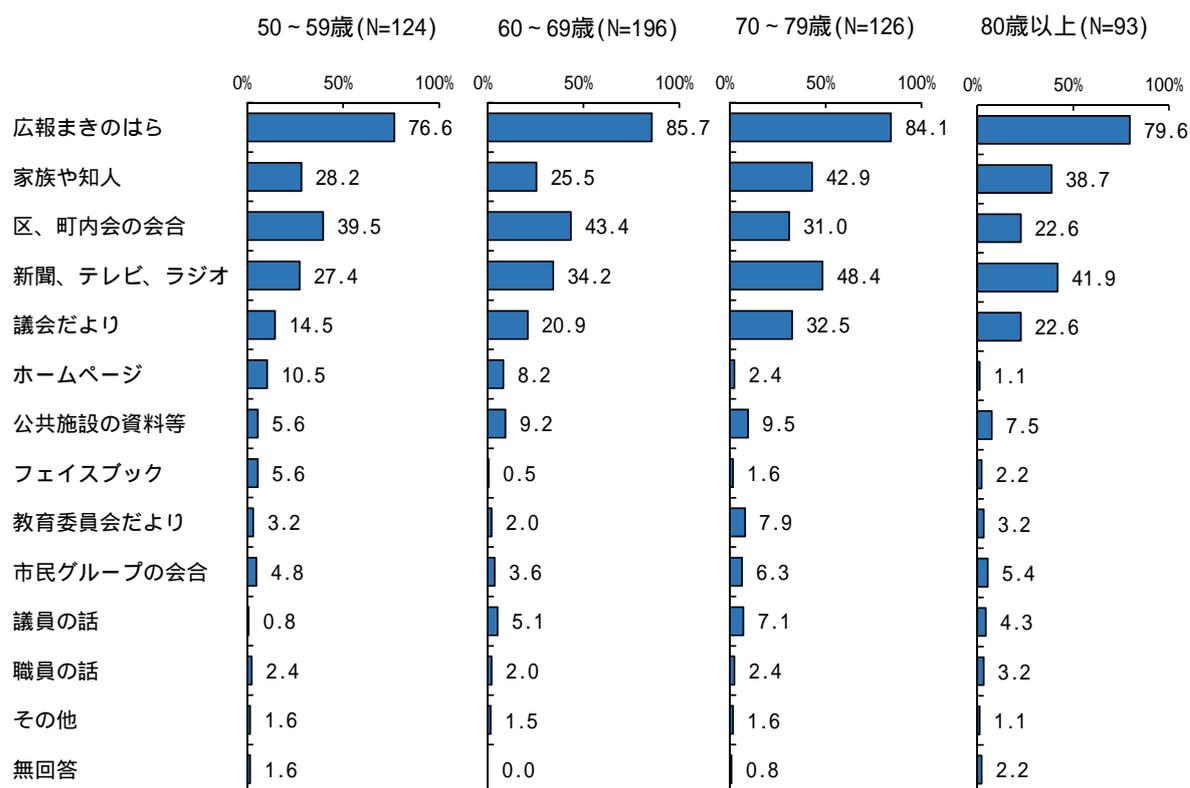
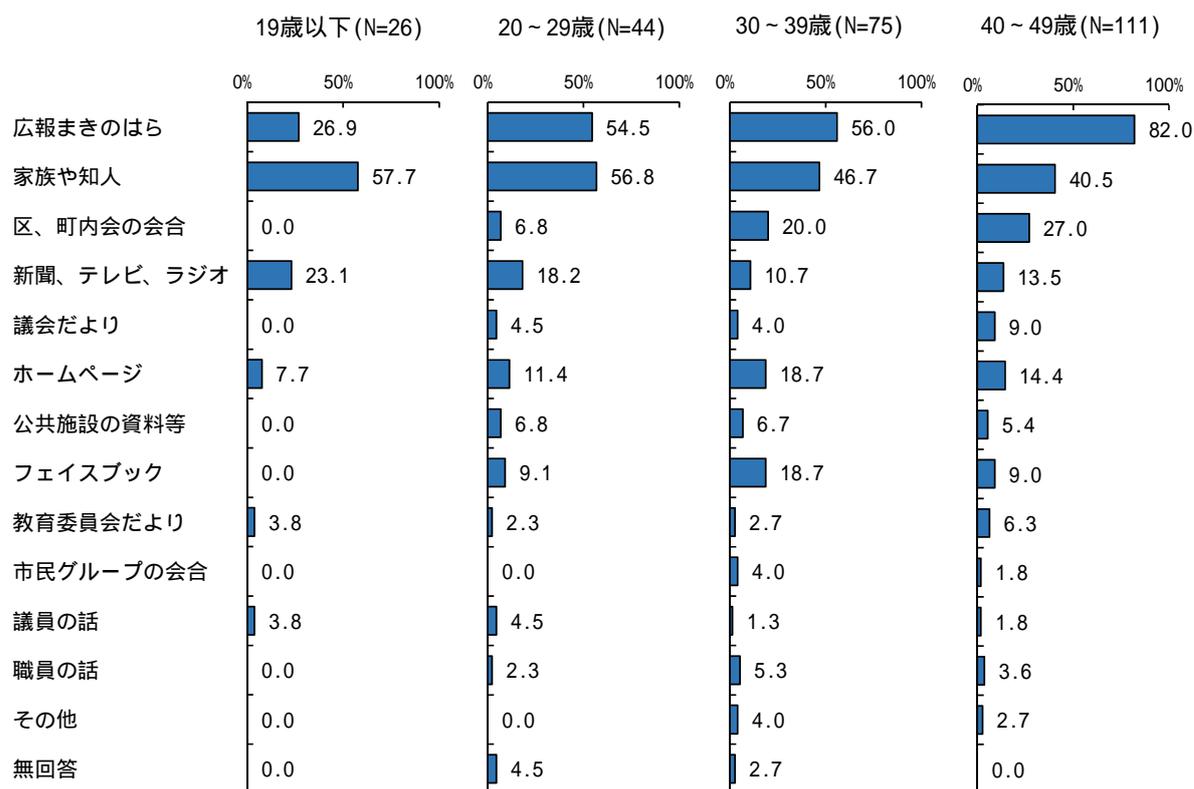
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】：男性は、「区、町内会の会合」36.1%が、女性の25.9%よりも10.2ポイント高くなっている。

女性は、「広報まきのはら」80.3%が、男性の71.7%よりも8.6ポイント高くなっている。

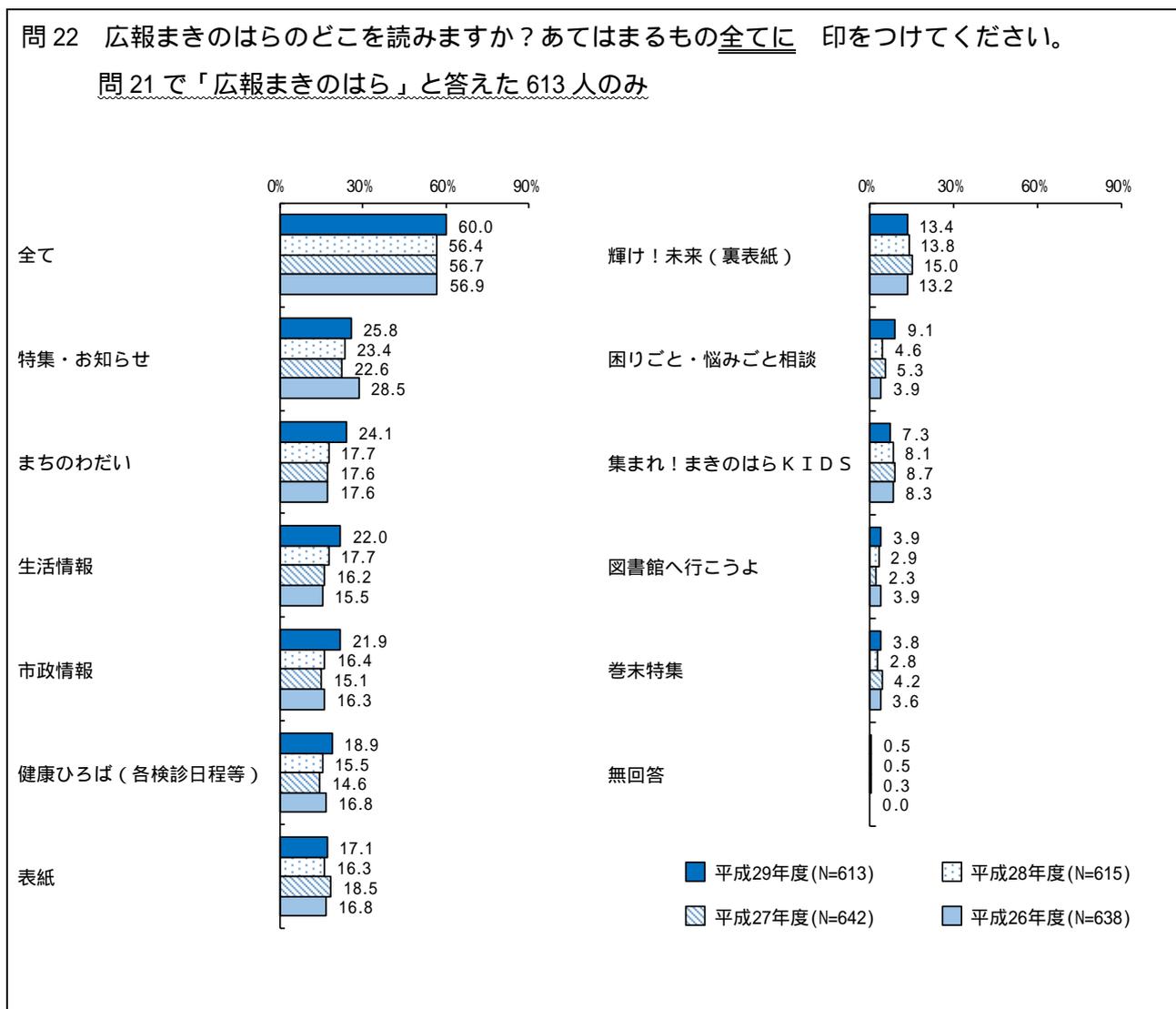


【年齢別】：『29歳以下』は、他の年齢と比べると、「家族や知人」が多くなっている。

30~39歳は、他の年齢と比べると、「フェイスブック」18.7%が多くなっている。

年齢が上がるにつれて「議会だより」は多くなる傾向がある。

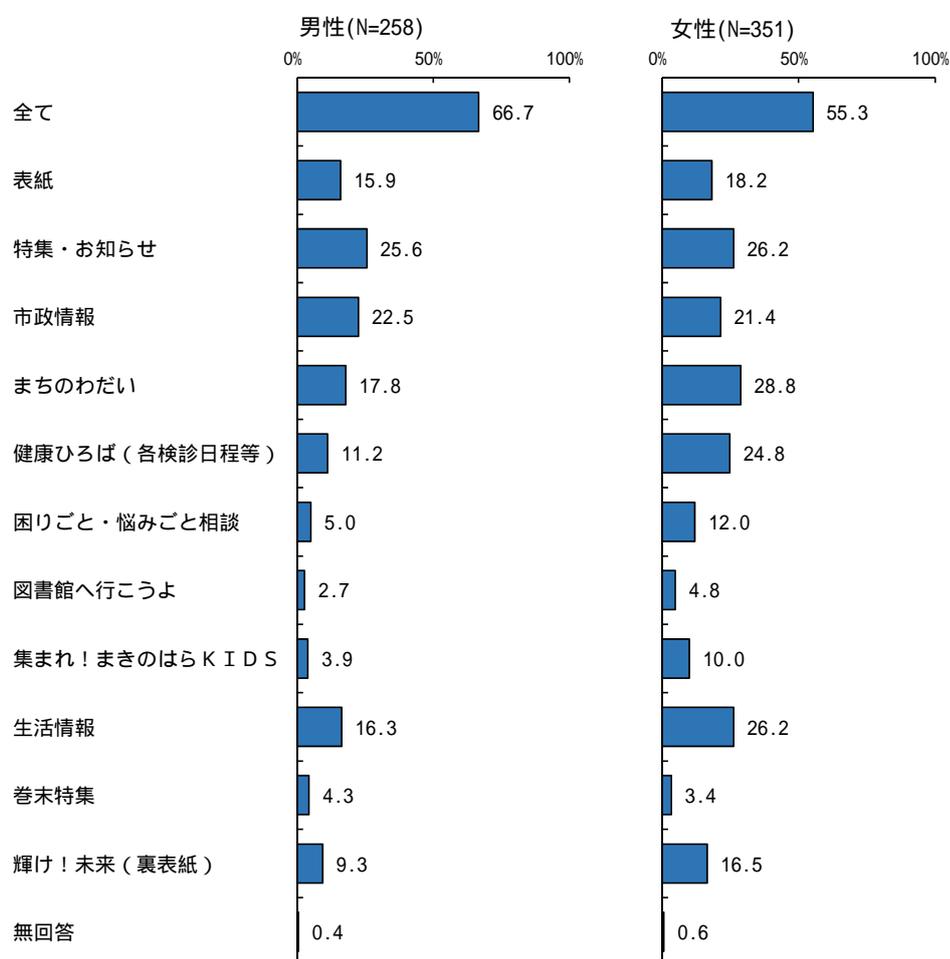
(22) 広報まきのはらのどこを読むか



広報まきのはらのどこを読むかでは、「全て」60.0%が最も多く、以下「特集・お知らせ」25.8%、「まちのわだい」24.1%、「生活情報」22.0%、「市政情報」21.9%などとなっている。

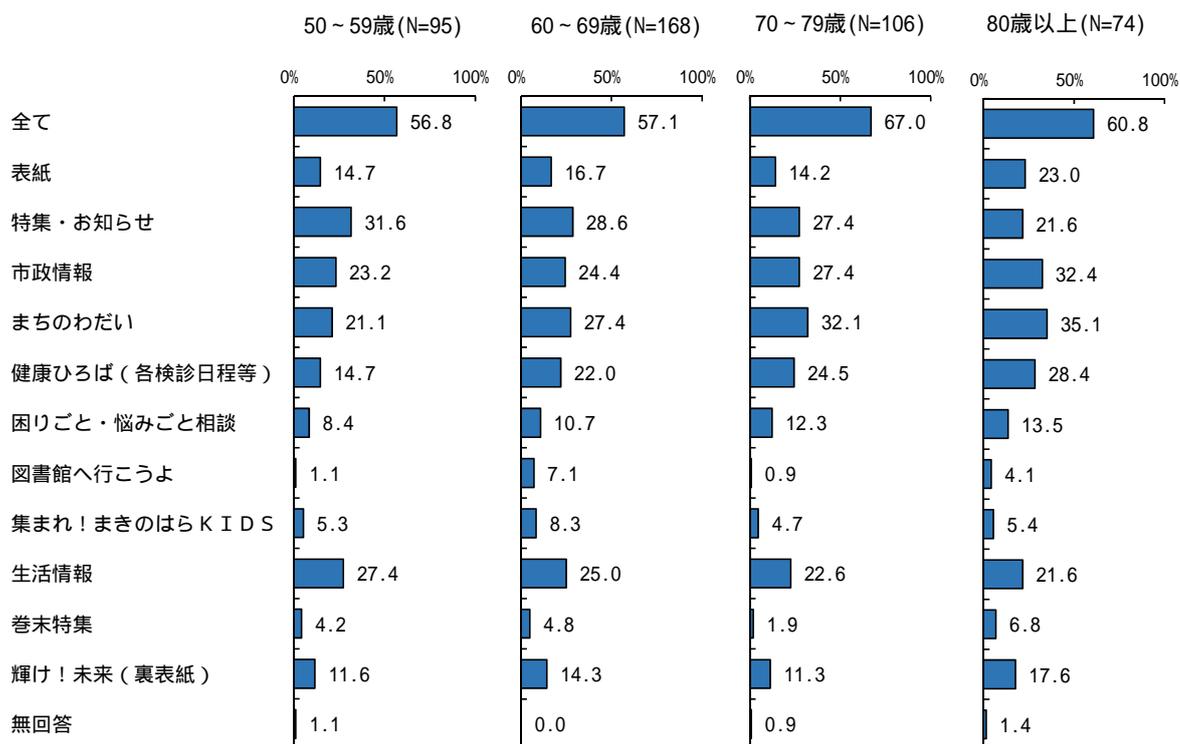
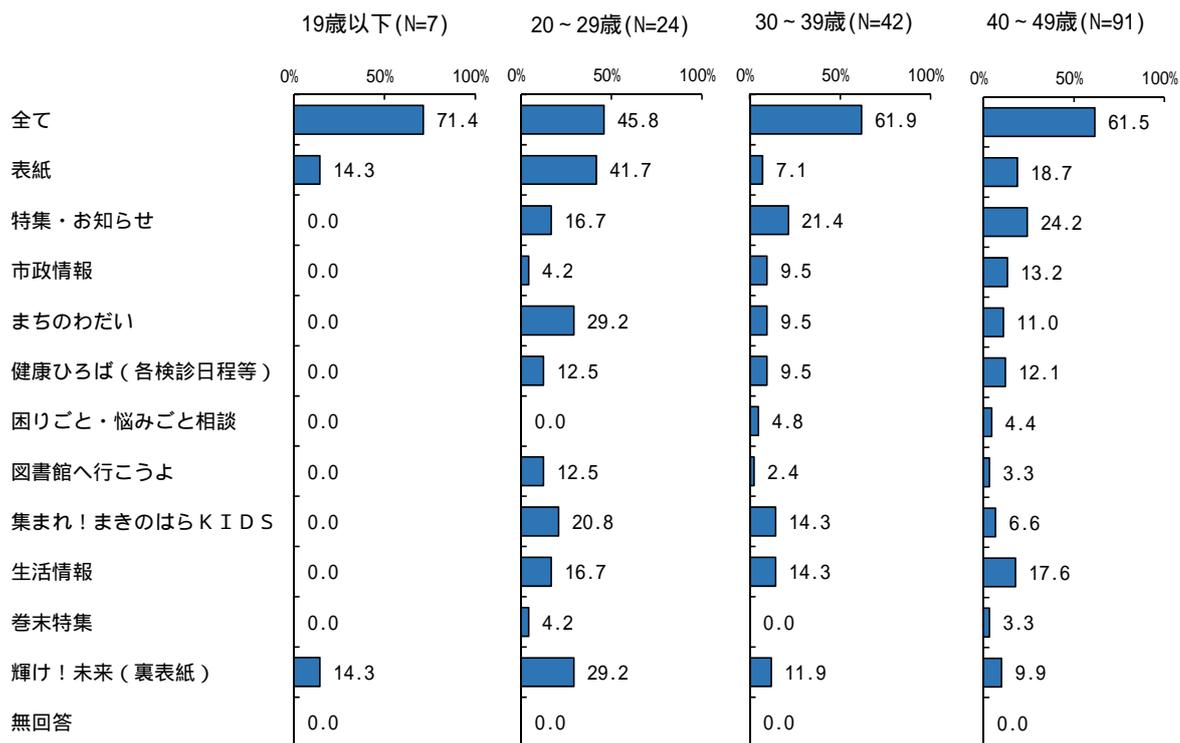
昨年度と比較すると、「市政情報」、「まちのわだい」、「困りごと・悩みごと相談」などが高くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「全て」66.7%が、女性の55.3%よりも11.4ポイント高くなっている。

女性は、「健康ひろば(各検診日程等)」24.8%が、男性の11.2%よりも13.6ポイント高くなっている。



【年齢別】：20～29歳は、他の年齢と比べると、「表紙」、「集まれ！まきのはらKIDS」、「輝け！未来（裏表紙）」が多くなっている。

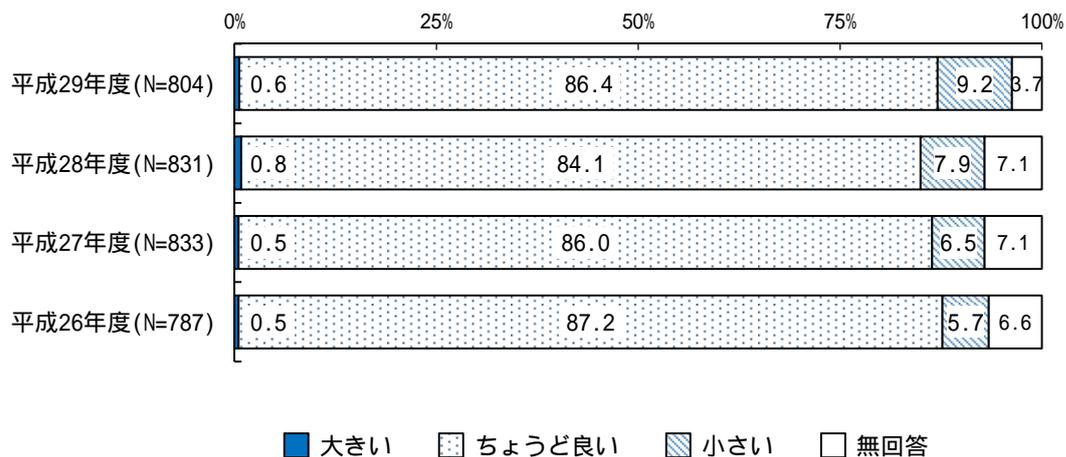
50～59歳は、他の年齢と比べると、「特集・お知らせ」31.6%が最も多くなっている。

年齢が上がるにつれて「市政情報」や「困りごと・悩みごと相談」は多くなる傾向がある。

(23) 広報まきのはらの構成や内容について 文字の大きさ

問 23 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？
それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ 印をつけてください。

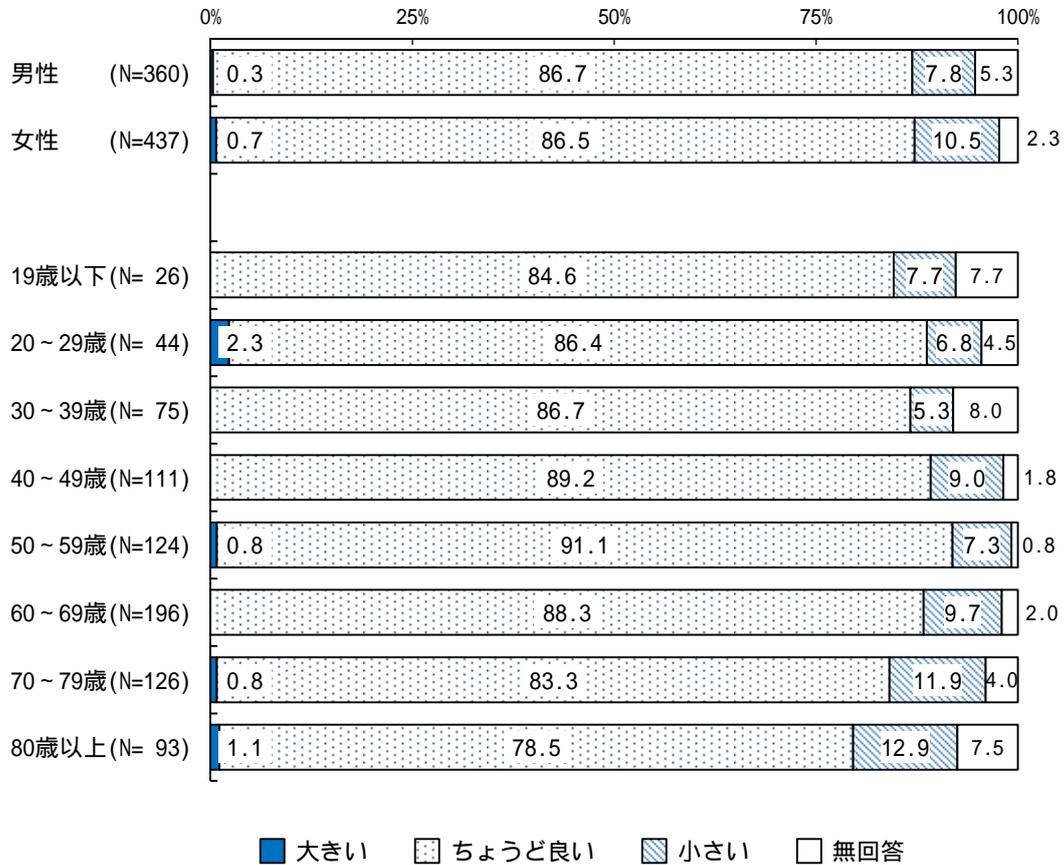
文字の大きさ



文字の大きさでは、「ちょうど良い」86.4%が最も多く、以下「小さい」9.2%、「大きい」0.6%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

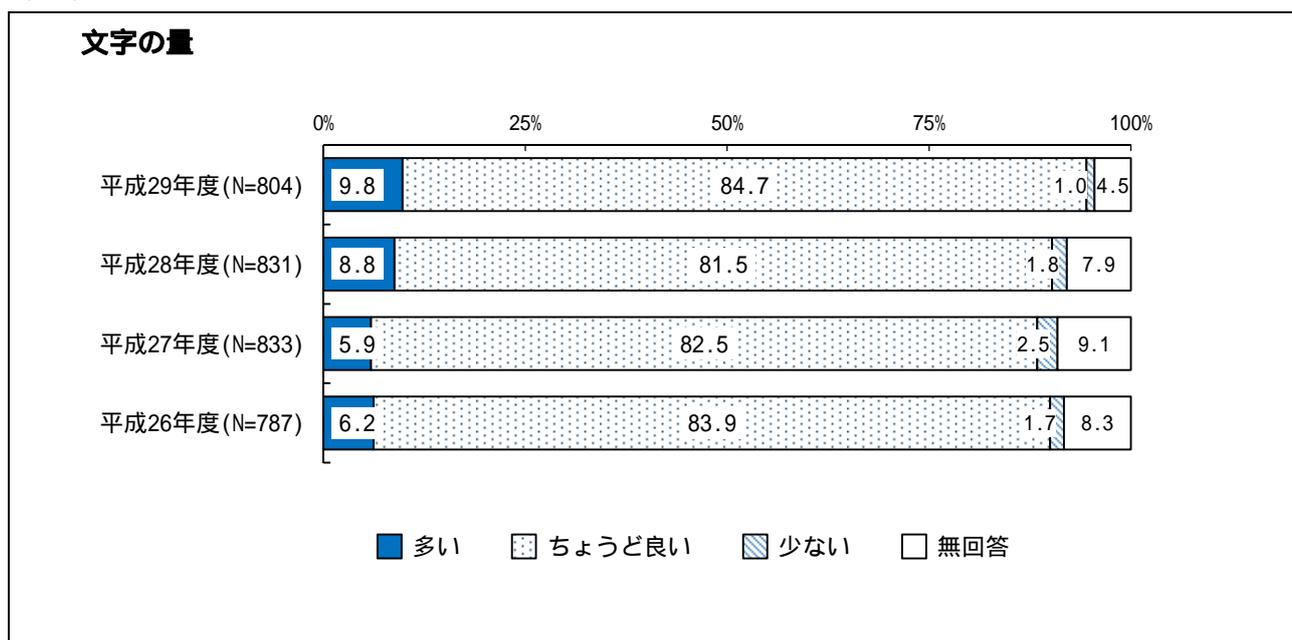
クロス集計



【性別】：大きな差異はみられない。

【年齢別】：80歳以上は、「ちょうど良い」78.5%が少なく、「小さい」が12.9%と多くなっている。

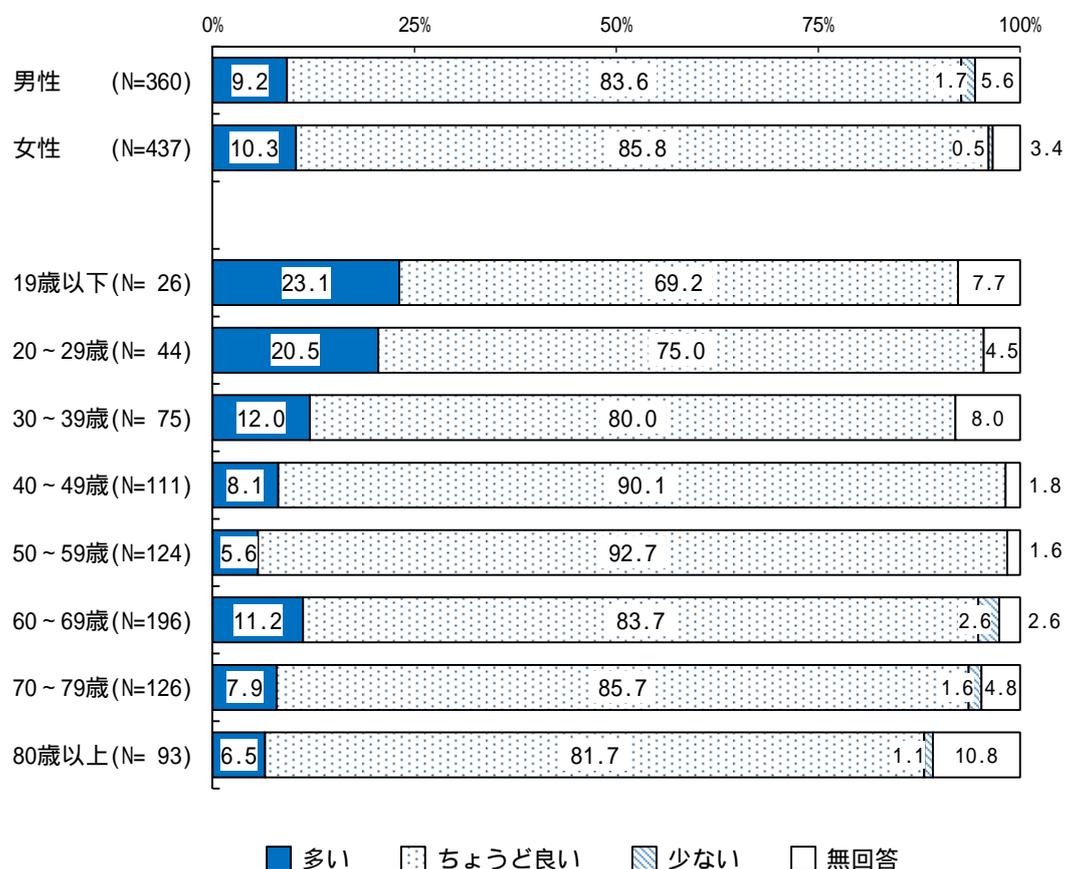
(24) 広報まきのはらの構成や内容について 文字の量



文字の量では、「ちょうど良い」84.7%が最も多く、以下「多い」9.8%、「少ない」1.0%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

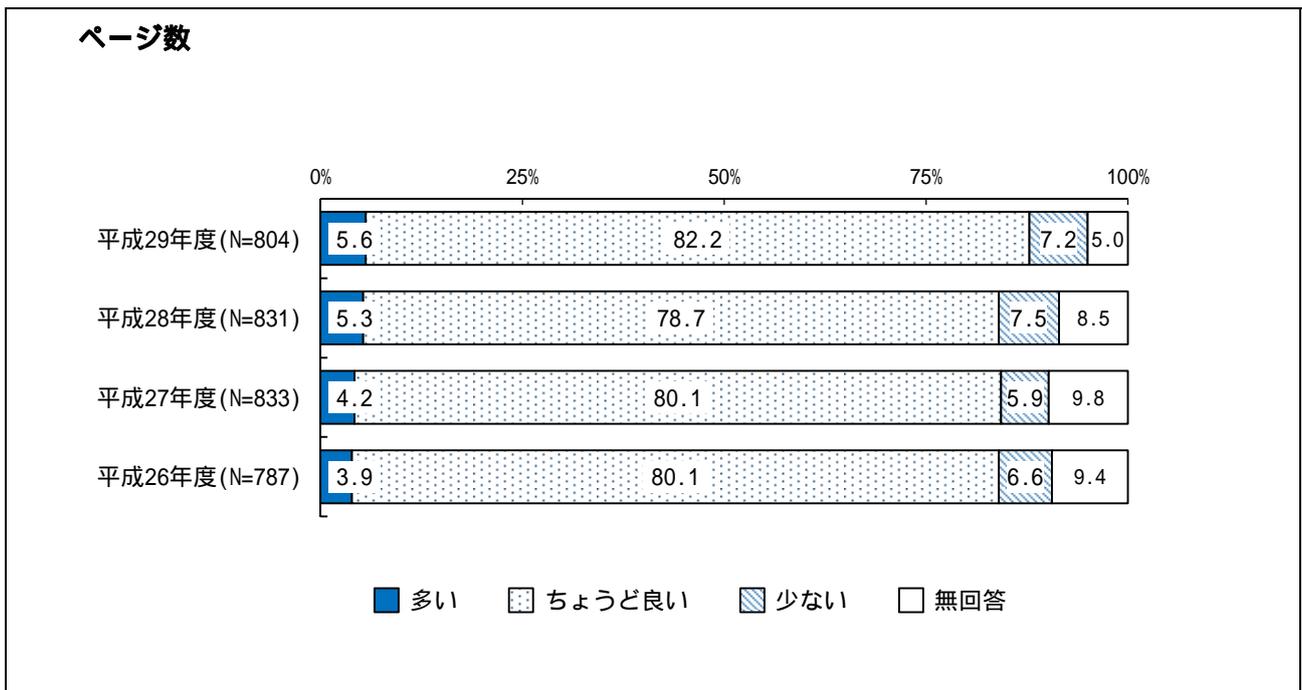


【性別】：大きな差異はみられない。

【年齢別】：『29歳以下』は、「多い」が2割を超えている。

40代から50代は、「ちょうど良い」が9割を超えている。

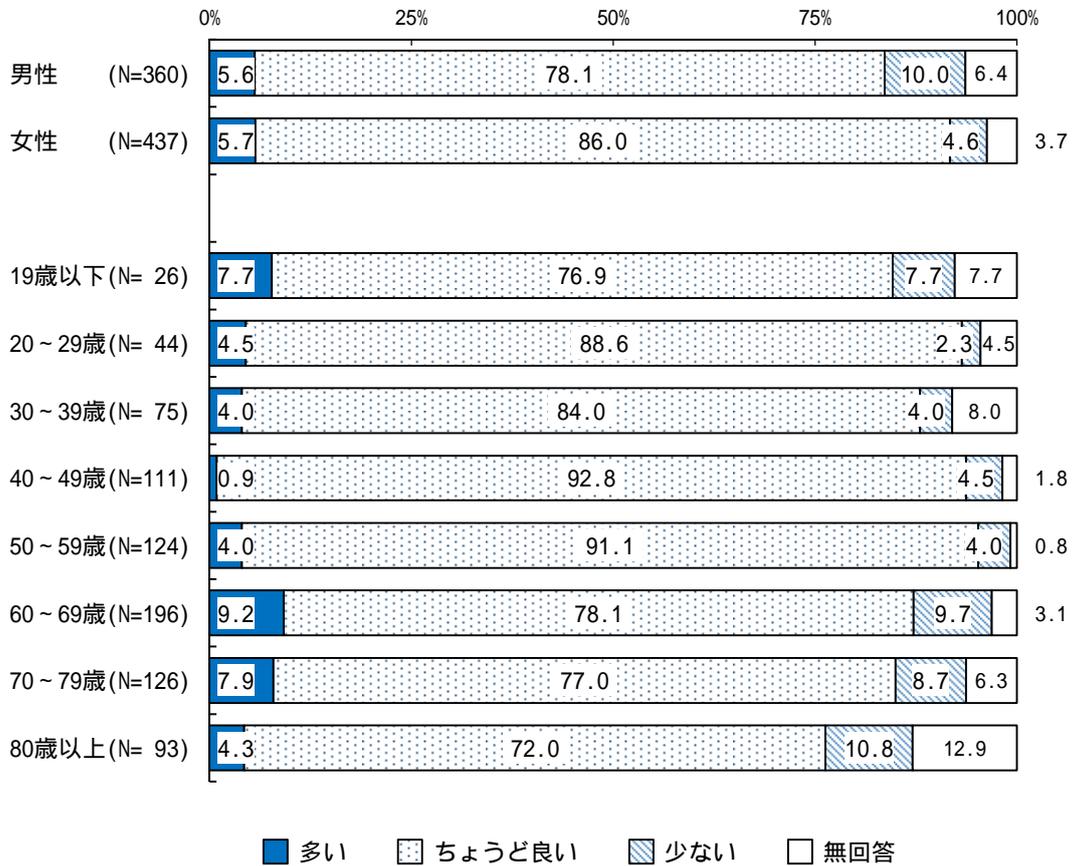
(25) 広報まきのはらの構成や内容について ページ数



ページ数では、「ちょうど良い」82.2%が最も多く、以下「少ない」7.2%、「多い」5.6%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

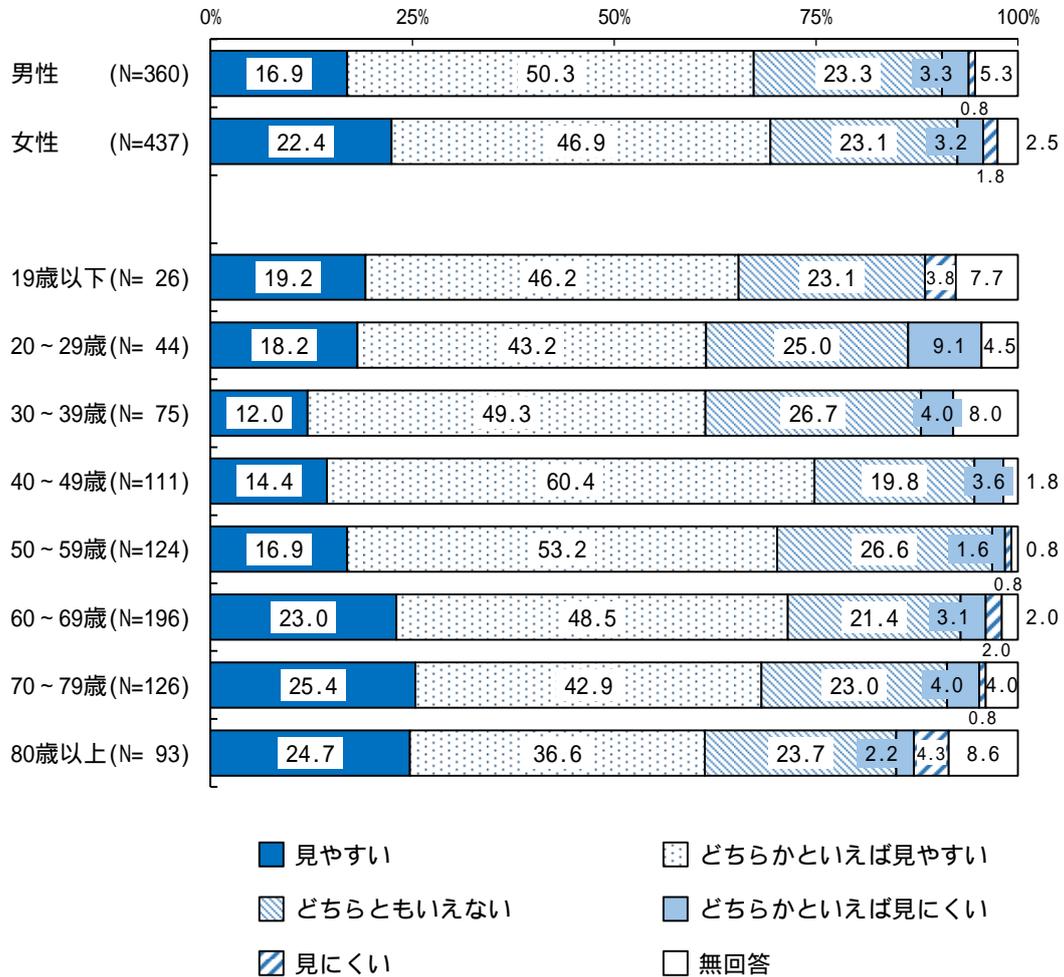


【性別】：女性は、「ちょうど良い」86.0%が、男性の78.1%よりも7.9ポイント高くなっている。

【年齢別】：40代から50代は、「ちょうど良い」が9割を超えている。

『60歳以上』は、「少ない」が他の年齢と比べて多くなっている。

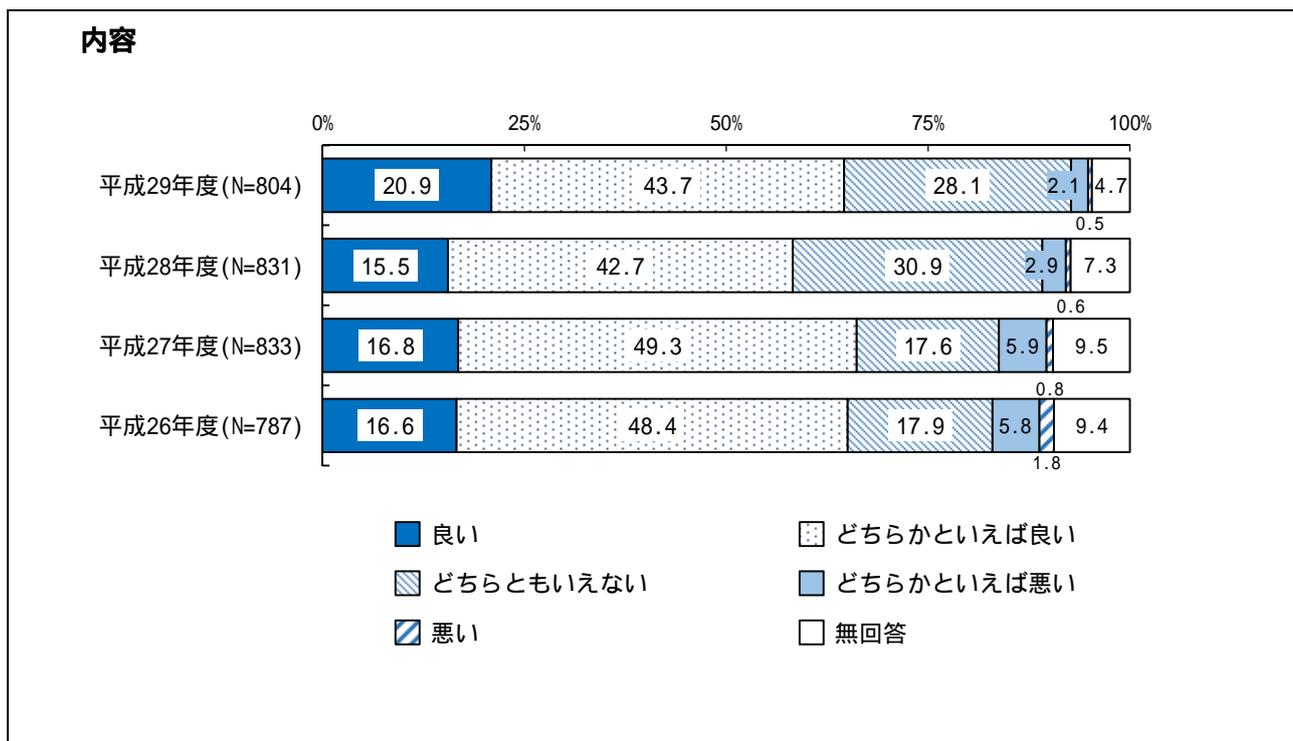
クロス集計



【性別】：女性は、「見やすい」22.4%が、男性の16.9%よりも5.5ポイント高くなっている。

【年齢別】：40代から60代は、「見やすい」が7割を超えている。

(27) 広報まきのはらの構成や内容について 内容



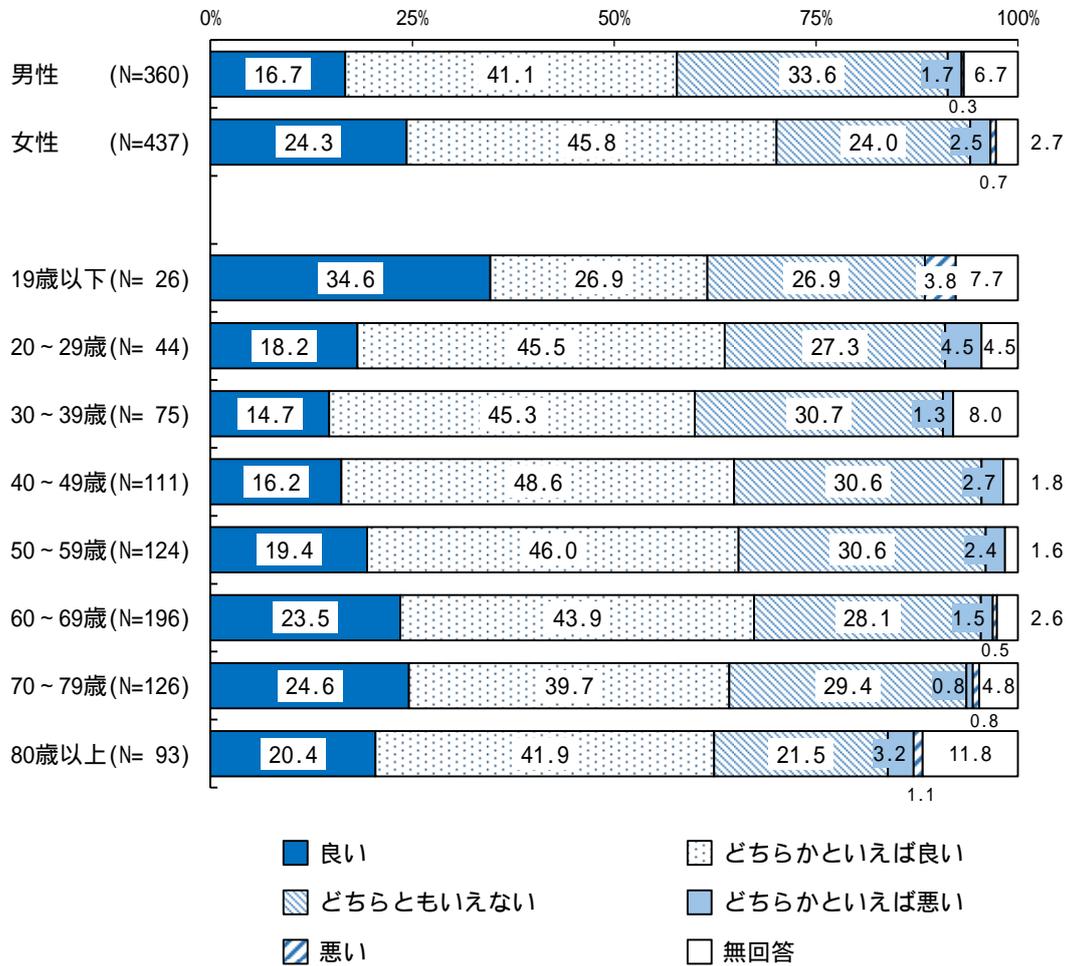
内容では、「どちらかといえば良い」43.7%が最も多く、以下「どちらともいえない」28.1%、「良い」20.9%、「どちらかといえば悪い」2.1%などとなっている。

「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は64.6%、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた“悪い”は2.6%となっている。

昨年度と比較すると、「良い」は5.4ポイント高くなっている。

また、“良い”は6.4ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】：男性は、「どちらともいえない」33.6%が、女性の24.0%よりも9.6ポイント高くなっている。

女性は、「良い」24.3%が、男性の16.7%よりも7.6ポイント高くなっている。

【年齢別】：19歳以下は、他の年齢と比べると、「良い」34.6%が多くなっている。

8．牧之原市の行政サービスについて

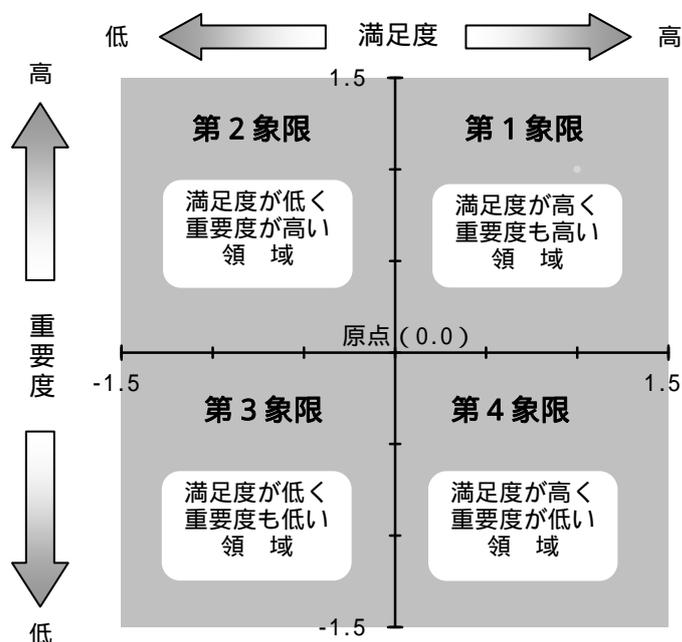
(28) 満足度・重要度について

問 24 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？また、その取り組みが重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに 印をつけてください。

取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に 印をつけてください。

< 評価点の算出方法 >

「満足」「重要度高い」と回答した人を + 2 点、「やや満足」「重要度やや高い」は + 1 点、「やや不満」「重要度やや低い」は - 1 点、「不満」「重要度低い」を - 2 点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者数を掛け、それらを合計した数字を回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割り、算出している。評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。

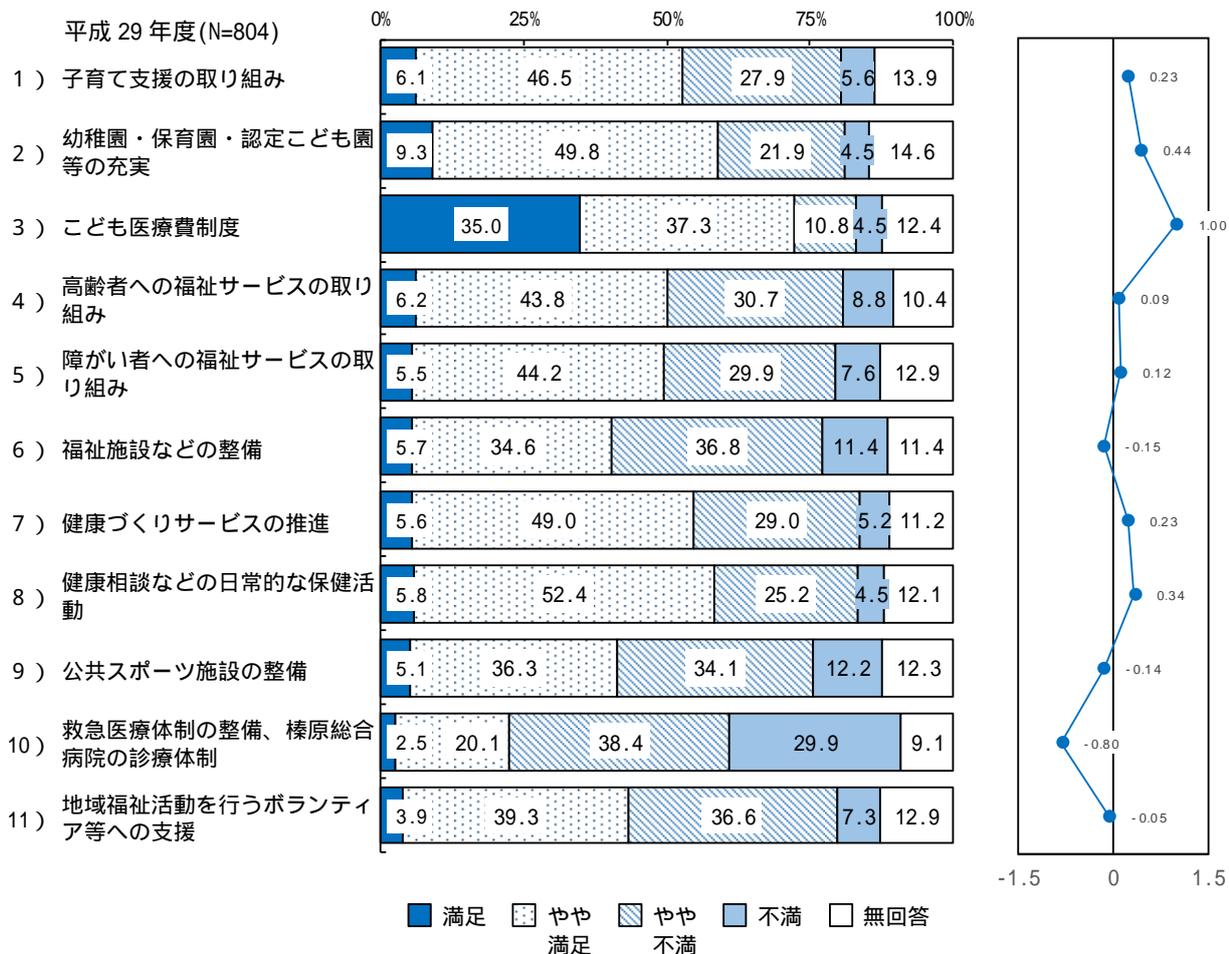


各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図にした場合、左のグラフのように、4つの象限に評価をみることができる

(29) 満足度・重要度 【健康福祉】

【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

< 満足度 >

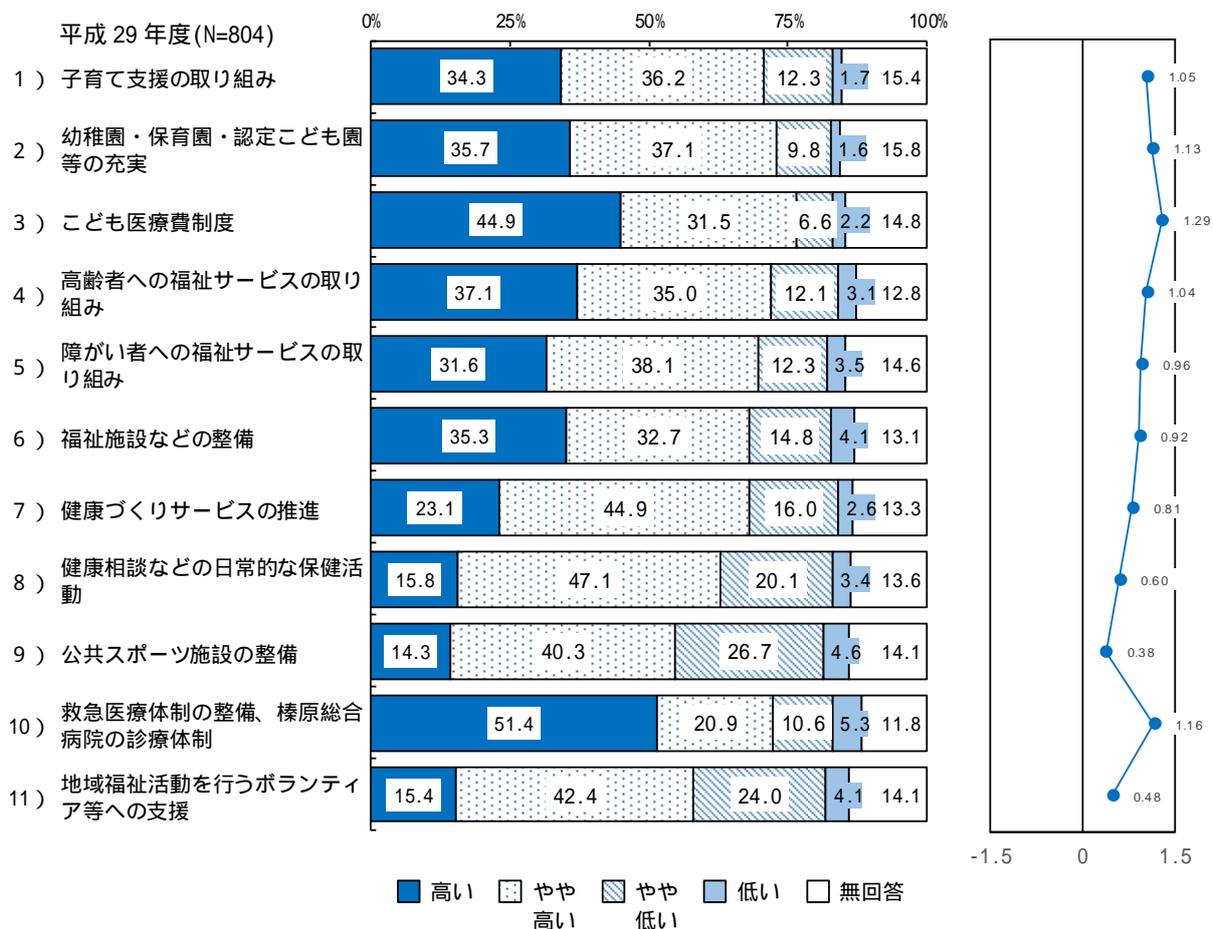


満足度が高いのは、『3 こども医療費制度』で、「満足」が 35.0%と唯一 3割を超えている。また、評価点は 1.00 点となっており、唯一 1.00 点台となっている。次いで満足度が高いのは、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』(0.44 点)、『8 健康相談などの日常的な保健活動』(0.34 点) などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』で、「不満」が 29.9%と唯一 2割を超えている。また、評価点は -0.80 点と、著しく低くなっている。次いで満足度が低いのは、『6 福祉施設などの整備』(-0.15 点)、『9 公共スポーツ施設の整備』(-0.14 点) などとなっている。

【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり

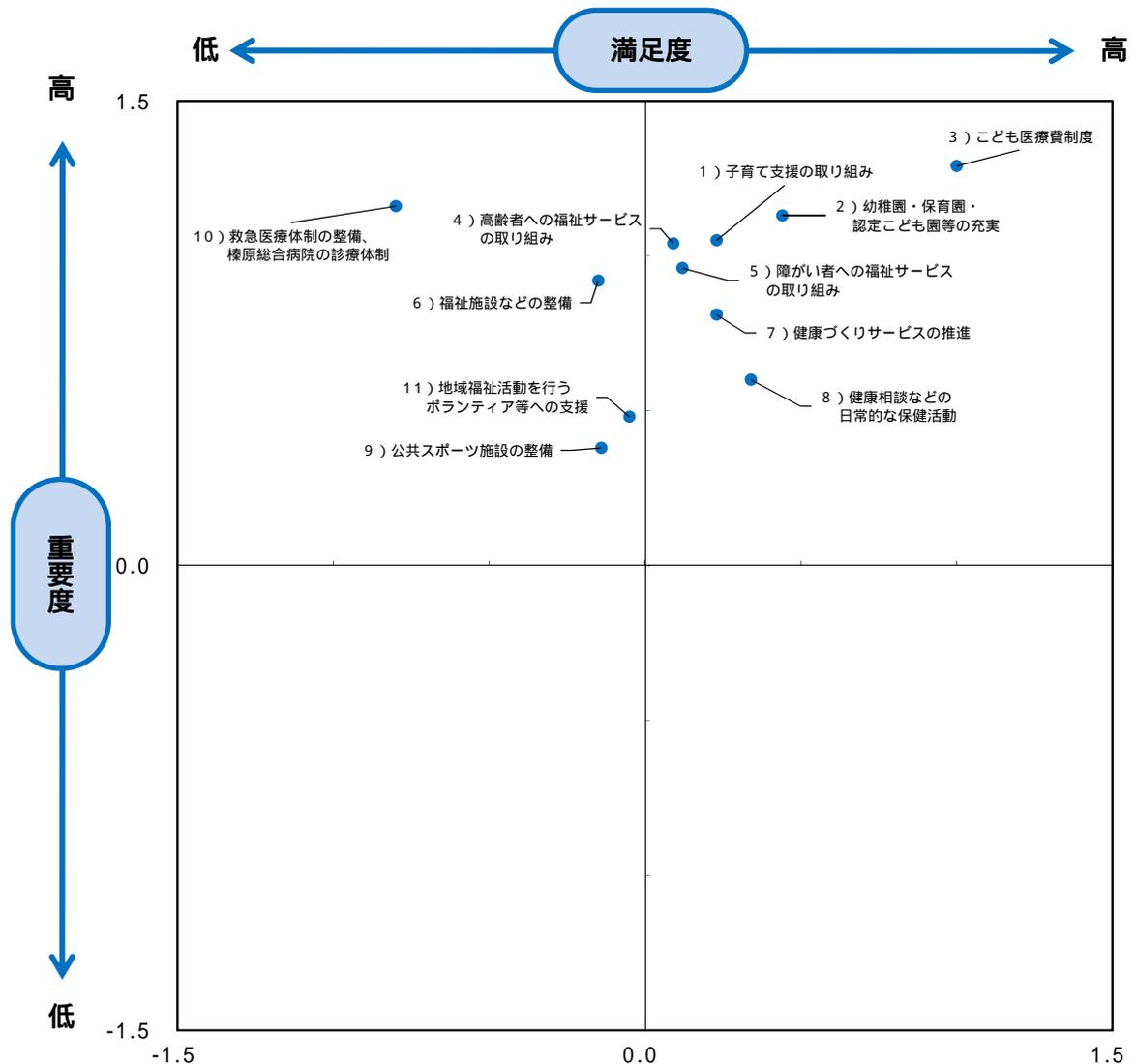
< 重要度 >



重要度が高いのは、『3 こども医療費制度』で、評価点は 1.29 点となっている。次いで重要度が高いのは、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』(1.16 点)、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』(1.13 点) などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『9 公共スポーツ施設の整備』で、評価点は 0.38 点となっている。次いで重要度が低いのは、『11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援』(0.48 点)、『8 健康相談などの日常的な保健活動』(0.60 点) などとなっている。

【健康福祉】支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり	満足度	重要度
1) 子育て支援の取り組み	0.23	1.05
2) 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.44	1.13
3) こども医療費制度	1.00	1.29
4) 高齢者への福祉サービスの取り組み	0.09	1.04
5) 障がい者への福祉サービスの取り組み	0.12	0.96
6) 福祉施設などの整備	-0.15	0.92
7) 健康づくりサービスの推進	0.23	0.81
8) 健康相談などの日常的な保健活動	0.34	0.60
9) 公共スポーツ施設の整備	-0.14	0.38
10) 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.80	1.16
11) 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	-0.05	0.48



散布図でみると、『1 子育て支援の取り組み』、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』、『3 こども医療費制度』、『4 高齢者への福祉サービスの取り組み』、『5 障がい者への福祉サービスの取り組み』、『7 健康づくりサービスの推進』、『8 健康相談などの日常的な保健活動』が満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

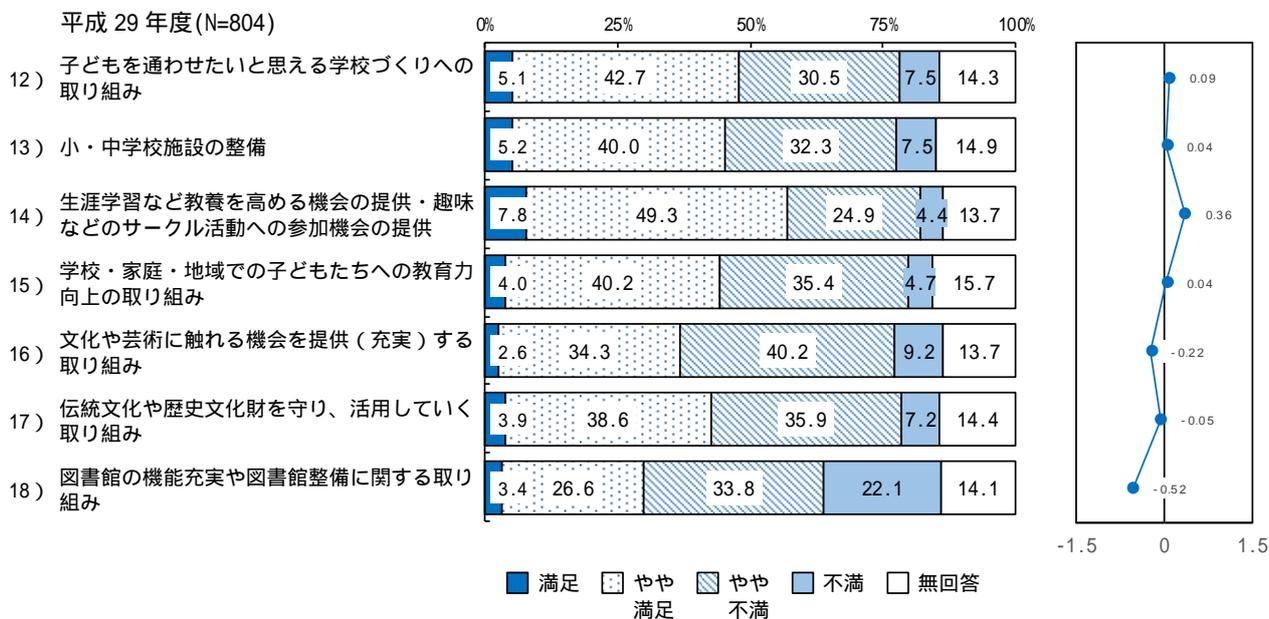
一方、『6 福祉施設などの整備』、『9 公共スポーツ施設の整備』、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』、『11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援』は第2象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

(30) 満足度・重要度 【教育文化】

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

< 満足度 >

平成 29 年度 (N=804)

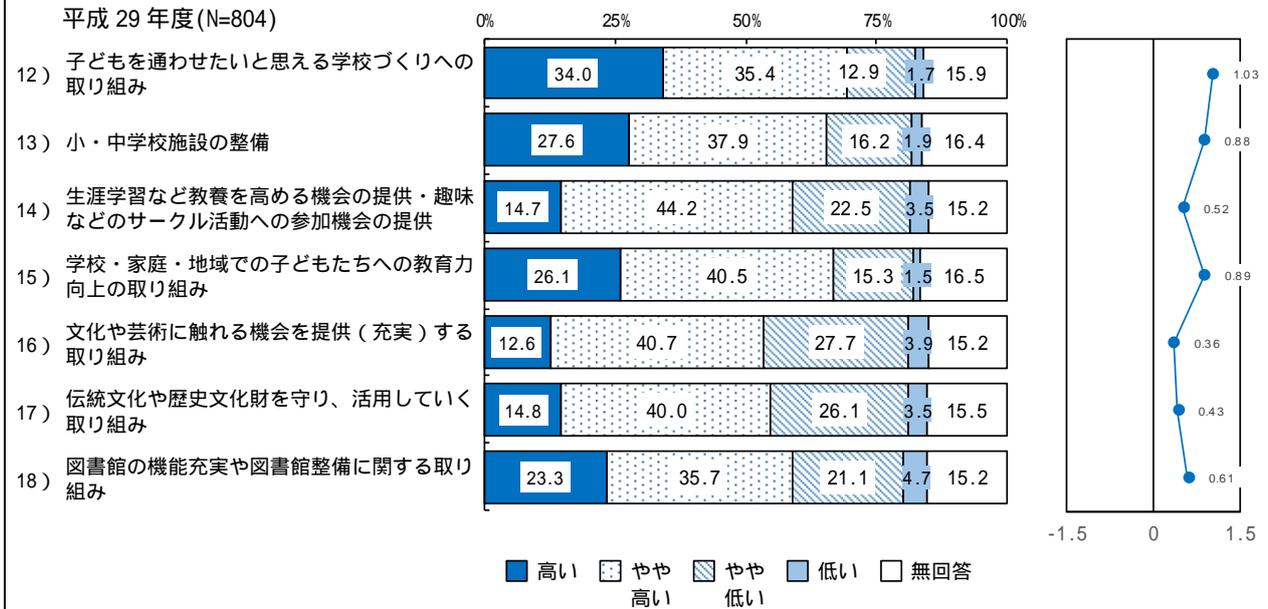


満足度が高いのは、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』で、評価点は 0.36 点となっている。次いで満足度が高いのは、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』(0.09 点)、『13 小・中学校施設の整備』・『15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み』(0.04 点) などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』で、「不満」が 22.1% と唯一 2 割を超えている。また、評価点は -0.52 点と、著しく低くなっている。次いで満足度が低いのは、『16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み』(-0.22 点)、『17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み』(-0.05 点) などとなっている。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

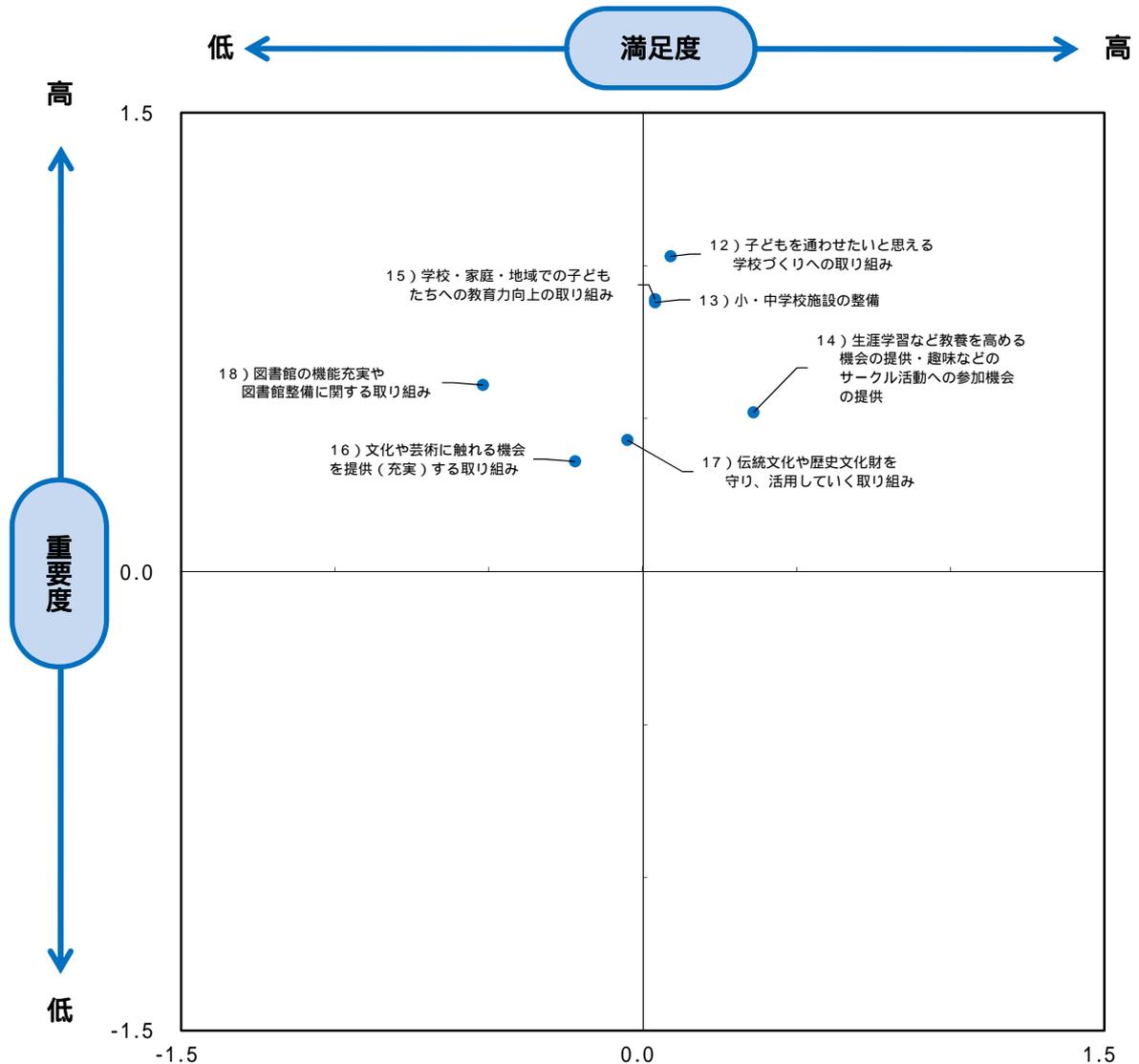
< 重要度 >



重要度が高いのは、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組み』で、「高い」が 34.0% と唯一 3 割を超えている。また、評価点は 1.03 点となっており、唯一 1.00 点台となっている。次いで重要度が高いのは、『15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組み』（0.89 点）、『13 小・中学校施設の整備』（0.88 点）などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組み』で、評価点は 0.36 点となっている。次いで重要度が低いのは、『17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組み』（0.43 点）、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』（0.52 点）などとなっている。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり	満足度	重要度
12) 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	0.09	1.03
13) 小・中学校施設の整備	0.04	0.88
14) 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供	0.36	0.52
15) 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み	0.04	0.89
16) 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み	-0.22	0.36
17) 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	-0.05	0.43
18) 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.52	0.61

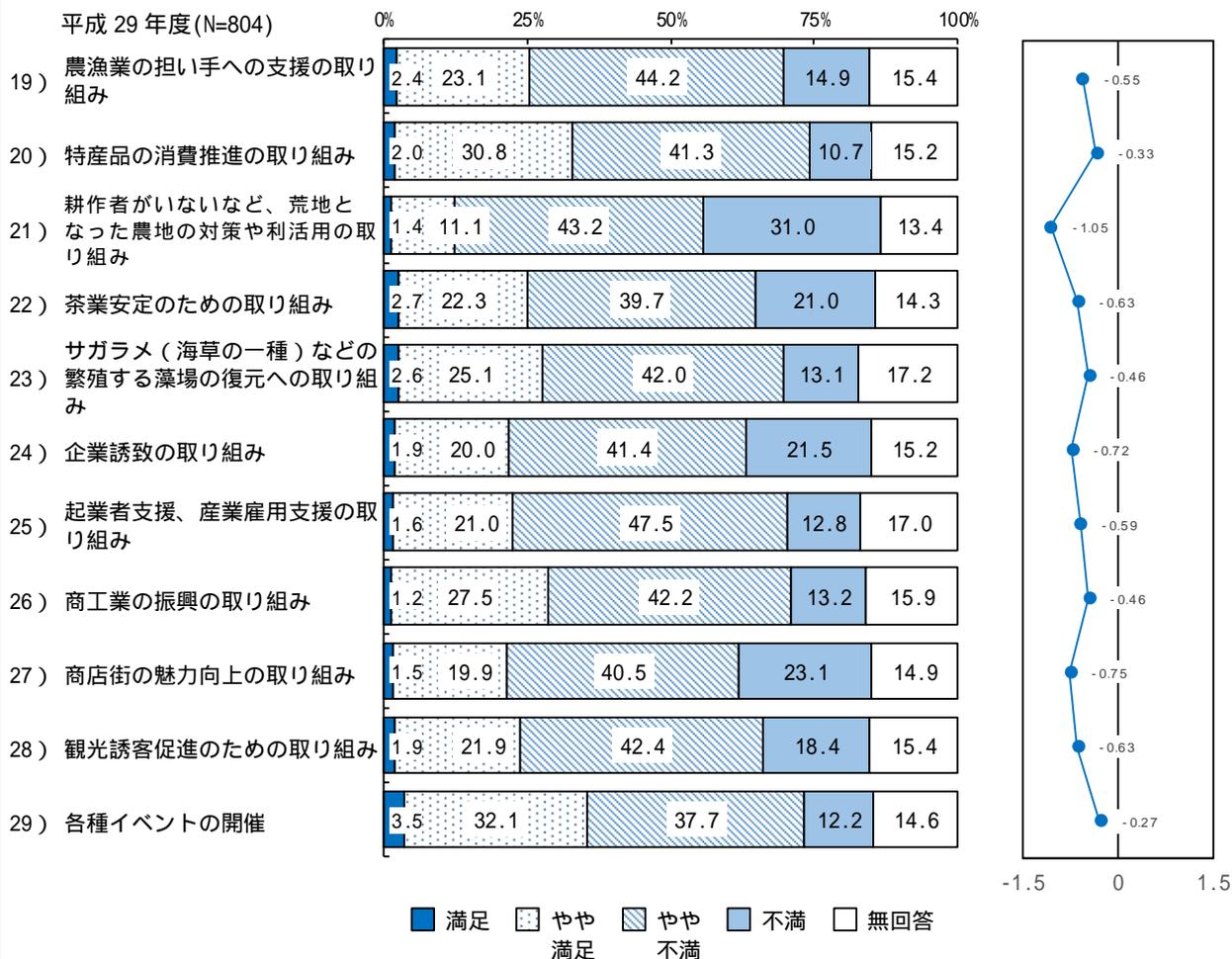


散布図でみると、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』、『13 小・中学校施設の整備』、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』、『15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み』、が満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み』、『17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み』、『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』は第2象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

< 満足度 >



満足度が高いのは、『29 各種イベントの開催』で、評価点は-0.27点となっている。次いで満足度が高いのは、『20 特産品の消費推進の取り組み』（-0.33点）、『23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み』、『26 商工業の振興の取り組み』（-0.46点）などとなっている。

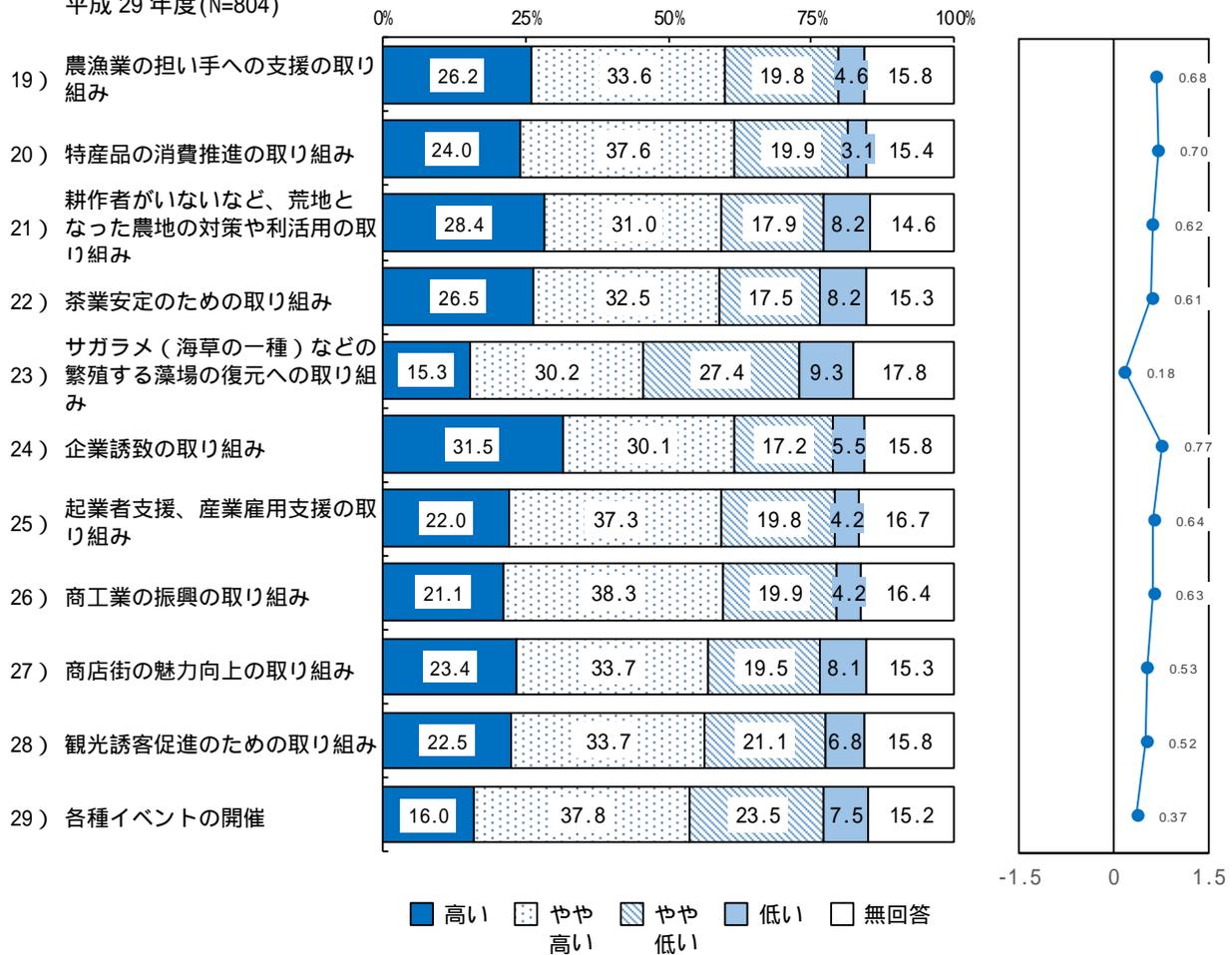
一方、満足度が低いのは、『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』で、評価点は-1.05点と、唯一-1.00点を下回っている。次いで満足度が低いのは、『27 商店街の魅力向上の取り組み』（-0.75点）、『24 企業誘致の取り組み』（-0.72点）などとなっている。

【産業経済】については、全ての項目においてマイナス評価となっている。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

< 重要度 >

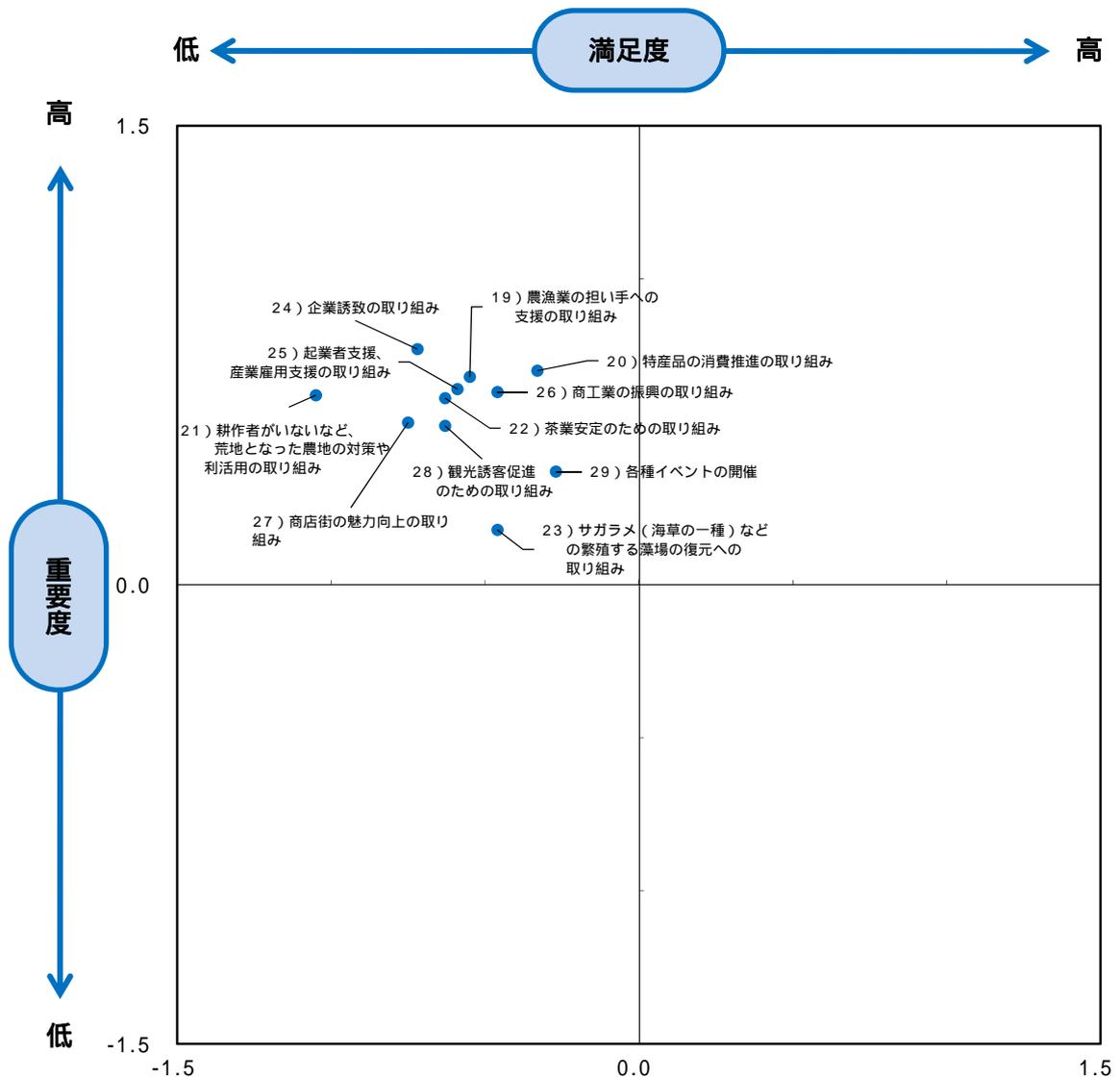
平成 29 年度 (N=804)



重要度が高いのは、『24 企業誘致の取り組み』で、「高い」が 31.5%と唯一 3 割を超えている。また、評価点は 0.77 点となっている。次いで重要度が高いのは、『20 特産品の消費推進の取り組み』（0.70 点）、『19 農漁業の担い手への支援の取り組み』（0.68 点）などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み』で、評価点は 0.18 点となっている。次いで重要度が低いのは、『29 各種イベントの開催』（0.37 点）、『28 観光誘客促進のための取り組み』（0.52 点）などとなっている。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり	満足度	重要度
19) 農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.55	0.68
20) 特産品の消費推進の取り組み	-0.33	0.70
21) 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-1.05	0.62
22) 茶業安定のための取り組み	-0.63	0.61
23) サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.46	0.18
24) 企業誘致の取り組み	-0.72	0.77
25) 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	-0.59	0.64
26) 商工業の振興の取り組み	-0.46	0.63
27) 商店街の魅力向上の取り組み	-0.75	0.53
28) 観光誘客促進のための取り組み	-0.63	0.52
29) 各種イベントの開催	-0.27	0.37



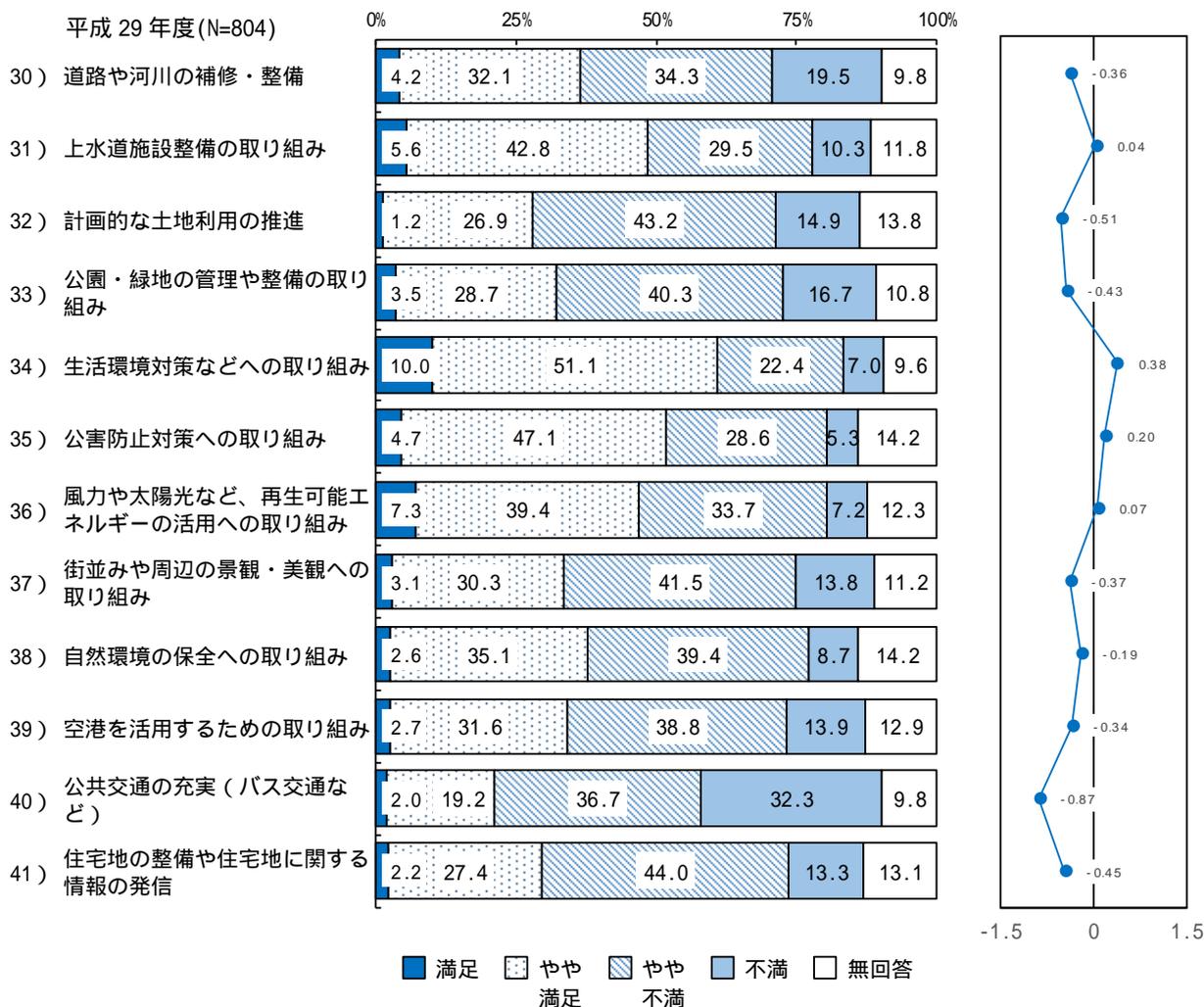
散布図でみると、すべての項目で第2象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

(32) 満足度・重要度 【生活基盤】

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

< 満足度 >

平成 29 年度 (N=804)



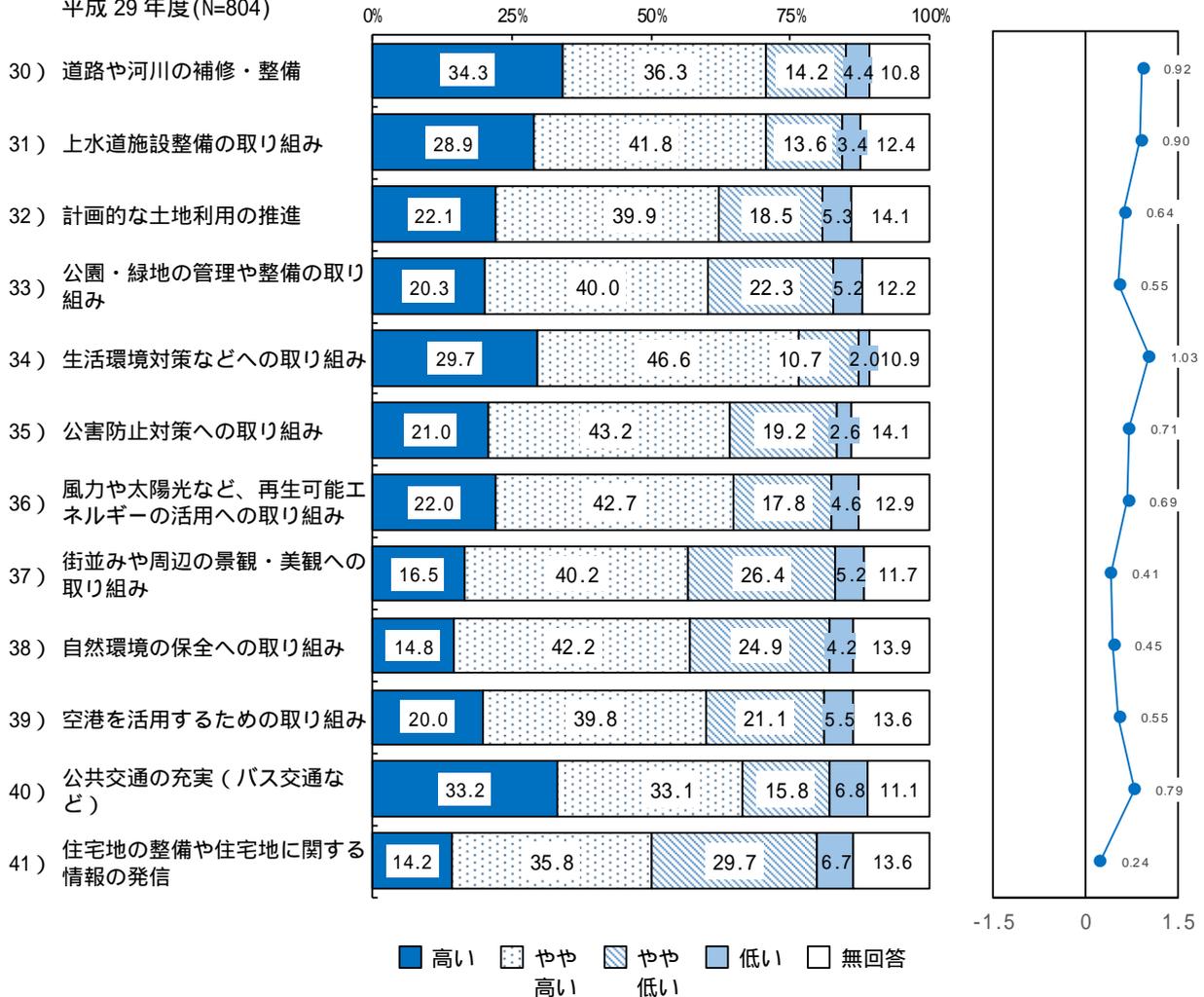
満足度が高いのは、『34 生活環境対策などへの取り組み』で、評価点は 0.38 点となっている。次いで満足度が高いのは、『35 公害防止対策への取り組み』(0.20 点)、『36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み』(0.07 点) などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『40 公共交通の充実（バス交通など）』で、「不満」が 32.3%と唯一 3 割を超えている。また、評価点は-0.87 点と、著しく低くなっている。次いで満足度が低いのは、『32 計画的な土地利用の推進』(-0.51 点)、『41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信』(-0.45 点) などとなっている。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

< 重要度 >

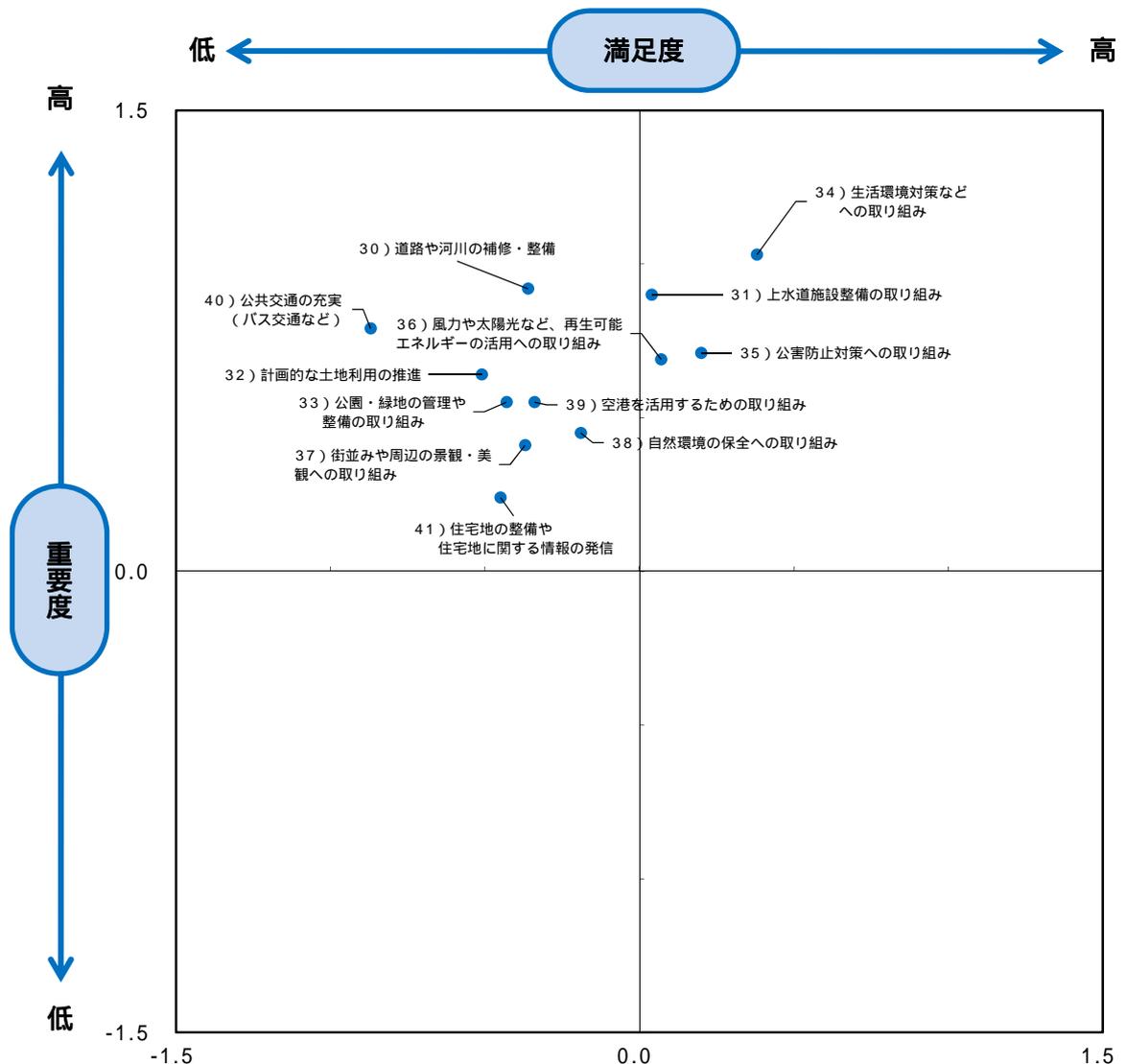
平成 29 年度 (N=804)



重要度が高いのは、『34 生活環境対策などへの取り組み』で、評価点は1.03点となっており、唯一1.00点を超えている。次いで重要度が高いのは、『30 道路や河川の補修・整備』(0.92点)、『31 上水道施設整備の取り組み』(0.90点)などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信』で、評価点は0.24点となっている。次いで重要度が低いのは、『37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み』(0.41点)、『38 自然環境の保全への取り組み』(0.45点)などとなっている。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり	満足度	重要度
30) 道路や河川の補修・整備	-0.36	0.92
31) 上水道施設整備の取り組み	0.04	0.90
32) 計画的な土地利用の推進	-0.51	0.64
33) 公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.43	0.55
34) 生活環境対策などへの取り組み	0.38	1.03
35) 公害防止対策への取り組み	0.20	0.71
36) 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	0.07	0.69
37) 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.37	0.41
38) 自然環境の保全への取り組み	-0.19	0.45
39) 空港を活用するための取り組み	-0.34	0.55
40) 公共交通の充実（バス交通など）	-0.87	0.79
41) 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.45	0.24



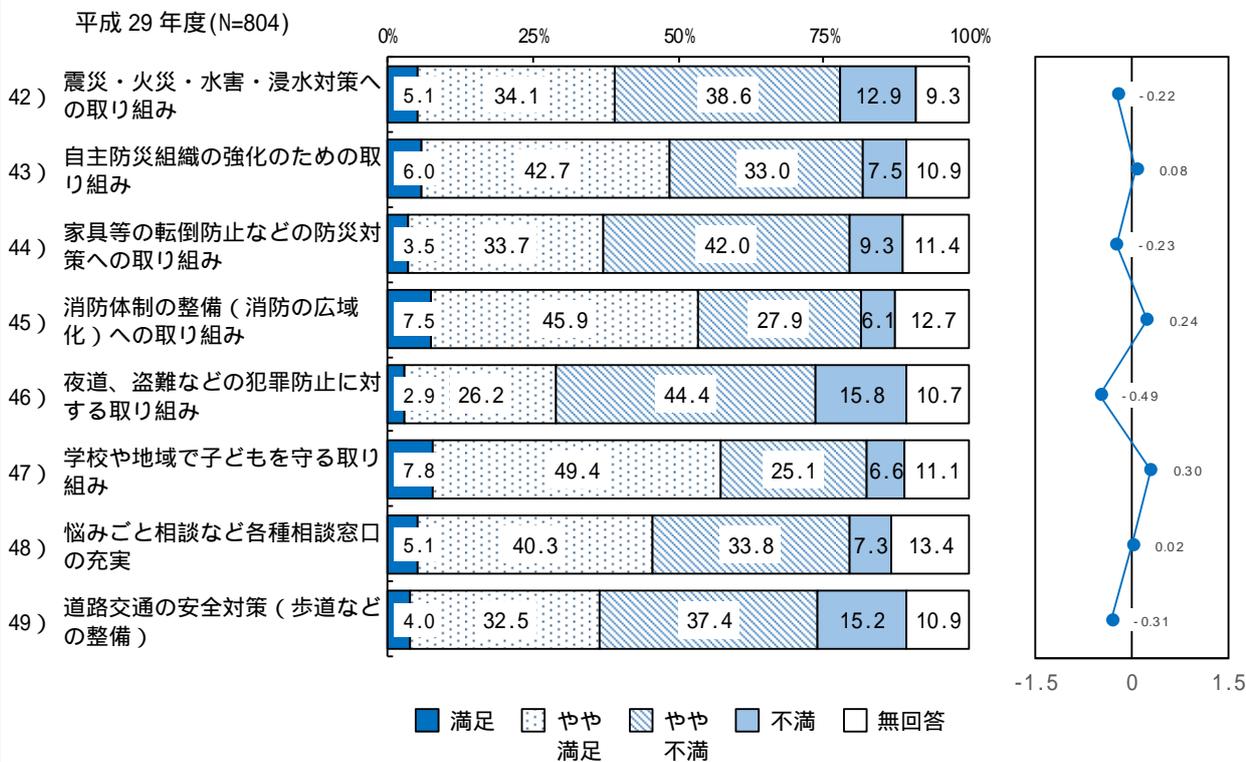
散布図でみると、『31 上水道施設整備の取り組み』、『34 生活環境対策などへの取り組み』、『35 公害防止対策への取り組み』、『36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み』が満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『30 道路や河川の補修・整備』、『32 計画的な土地利用の推進』、『33 公園・緑地の管理や整備の取り組み』、『37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み』、『38 自然環境の保全への取り組み』、『39 空港を活用するための取り組み』、『40 公共交通の充実（バス交通など）』、『41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信』は第2象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

(33) 満足度・重要度 【防災】

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

< 満足度 >



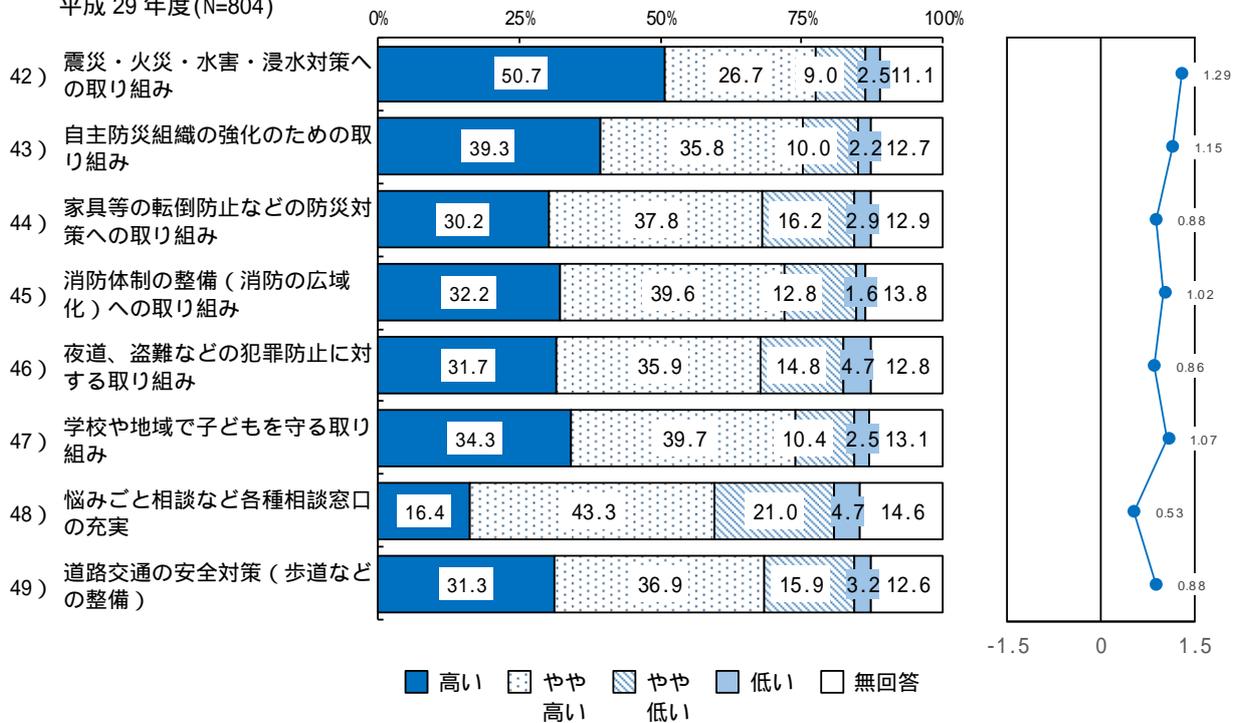
満足度が高いのは、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』で、評価点は 0.30 点となっている。次いで満足度が高いのは、『45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』（0.24 点）、『43 自主防災組織の強化のための取り組み』（0.08 点）などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』で、評価点は-0.49 点となっている。次いで満足度が低いのは、『49 道路交通の安全対策（歩道などの整備）』（-0.31 点）、『44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み』（-0.23 点）などとなっている。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

< 重要度 >

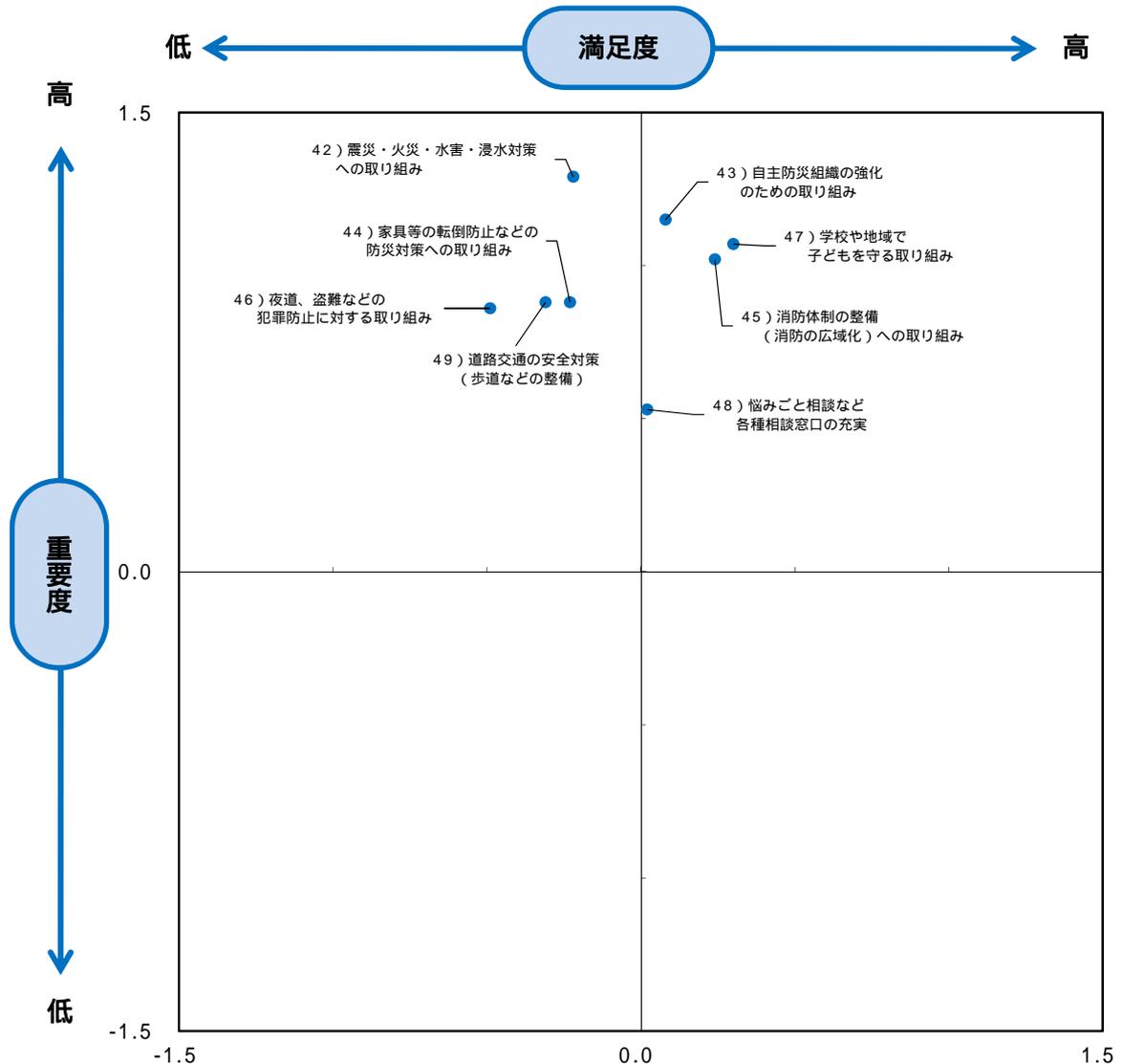
平成 29 年度 (N=804)



重要度が高いのは、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」が50.7%と唯一5割を超えている。また、評価点は1.29点となっている。次いで重要度が高いのは、『43 自主防災組織の強化のための取り組み』（1.15点）、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』（1.07点）などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』で、評価点は0.53点となっている。次いで重要度が低いのは、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』（0.86点）、『44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み』・『49 道路交通の安全対策（歩道などの整備）』（0.88点）などとなっている。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり	満足度	重要度
42) 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.22	1.29
43) 自主防災組織の強化のための取り組み	0.08	1.15
44) 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.23	0.88
45) 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	0.24	1.02
46) 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.49	0.86
47) 学校や地域で子どもを守る取り組み	0.30	1.07
48) 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.02	0.53
49) 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	-0.31	0.88

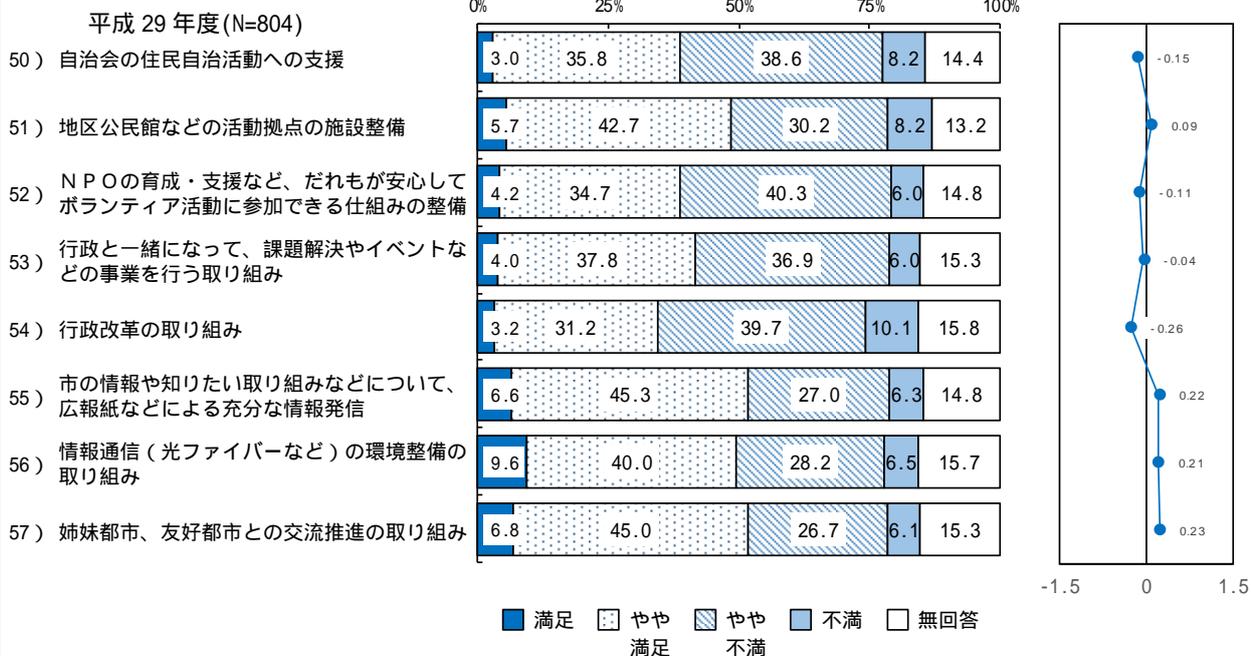


散布図でみると、『43 自主防災組織の強化のための取り組み』、『45 消防体制の整備（消防の広域化 への取り組み』、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』が満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』、『44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み』、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』、『49 道路交通の安全対策（歩道などの整備 』は第2象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり

< 満足度 >



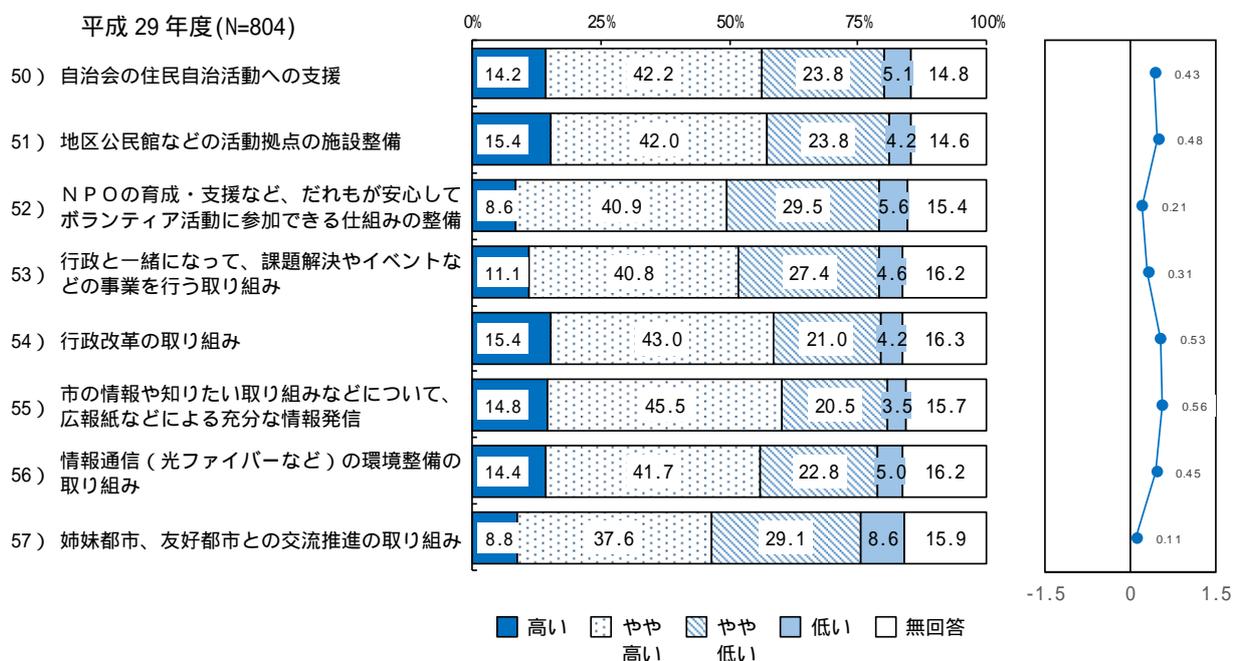
満足度が高いのは、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』で、評価点は0.23点となっている。次いで満足度が高いのは、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』(0.22点)、『56 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取り組み』(0.21点)などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『54 行政改革の取り組み』で、「不満」が10.1%と唯一1割を超えている。また、評価点は-0.26点となっている。次いで満足度が低いのは、『50 自治会の住民自治活動への支援』(-0.15点)、『52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備』(-0.11点)などとなっている。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり

< 重要度 >

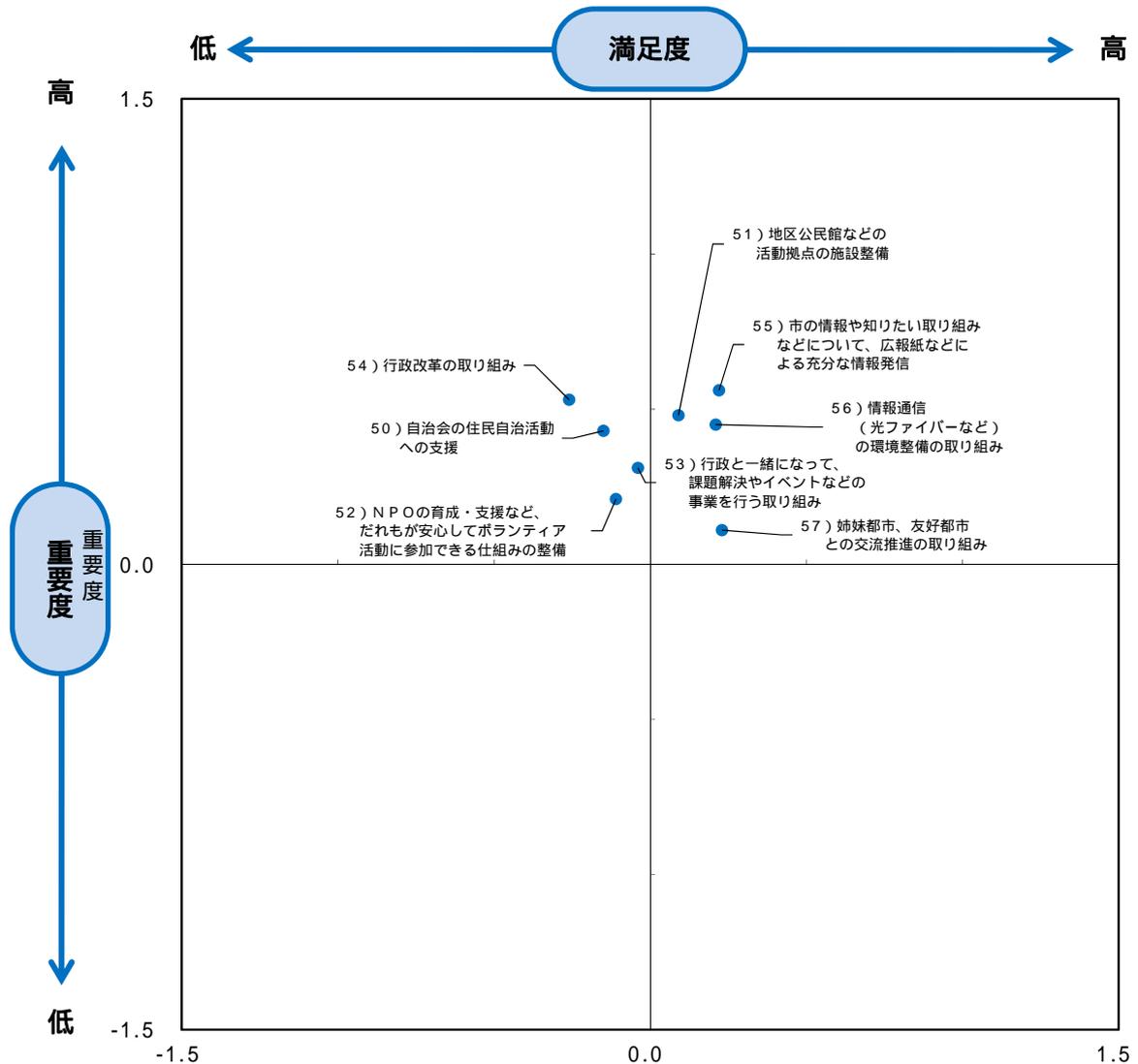
平成 29 年度 (N=804)



重要度が高いのは、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』で、評価点は 0.56 点となっている。次いで重要度が高いのは、『54 行政改革の取り組み』（0.53 点）、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』（0.48 点）などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』で、評価点は 0.11 点となっている。次いで重要度が低いのは、『52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備』（0.21 点）、『53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み』（0.31 点）などとなっている。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり	満足度	重要度
50) 自治会の住民自治活動への支援	-0.15	0.43
51) 地区公民館などの活動拠点の施設整備	0.09	0.48
52) NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	-0.11	0.21
53) 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み	-0.04	0.31
54) 行政改革の取り組み	-0.26	0.53
55) 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.22	0.56
56) 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取り組み	0.21	0.45
57) 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	0.23	0.11

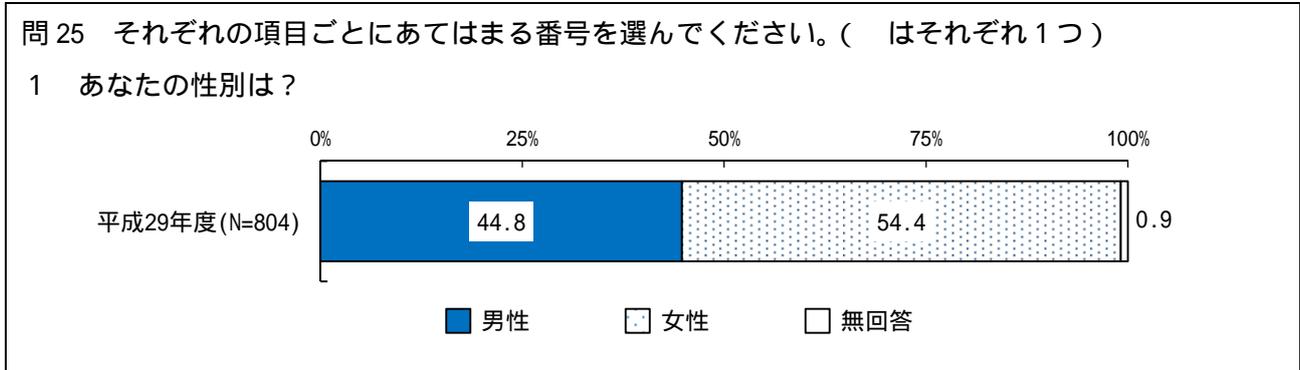


散布図でみると、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』、『56 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取り組み』、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』が満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『50 自治会の住民自治活動への支援』、『52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備』、『53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み』、『54 行政改革の取り組み』は第2象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

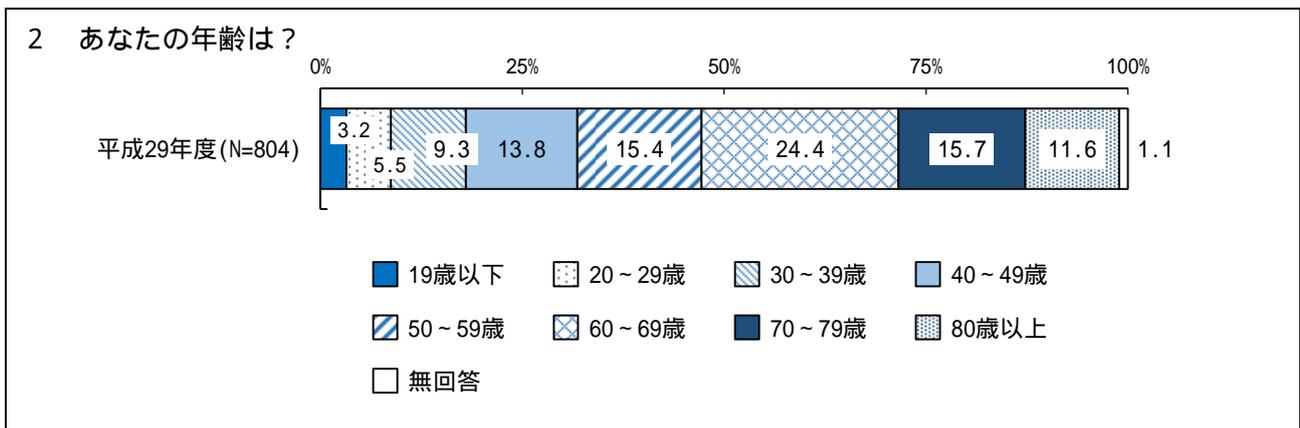
9. 回答者の属性

(35) 回答者の属性 性別



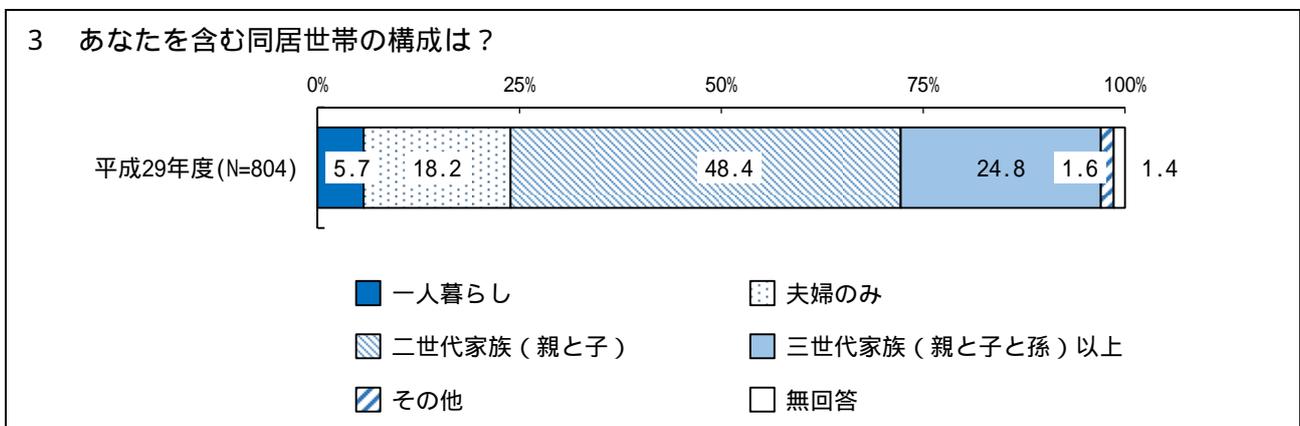
性別では、「女性」が54.4%、「男性」が44.8%となっている。

(36) 回答者の属性 年齢



年齢では、「60～69歳」24.4%が最も多く、以下「70～79歳」15.7%、「50～59歳」15.4%、「40～49歳」13.8%、「80歳以上」11.6%などとなっている。

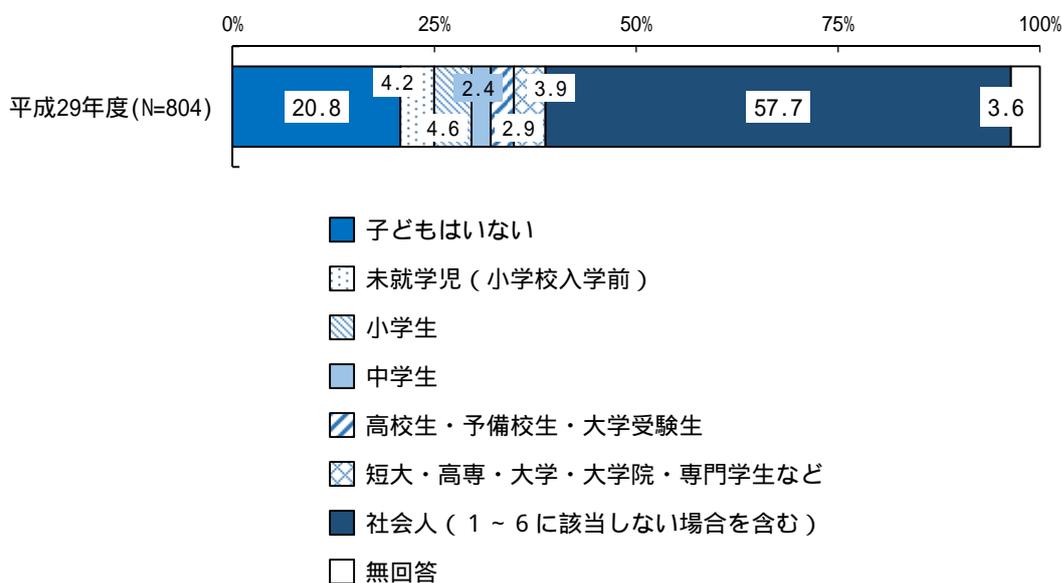
(37) 回答者の属性 世帯構成



同居世帯の構成では、「二世世代家族（親と子）」48.4%が最も多く、以下「三世世代家族（親と子と孫）以上」24.8%、「夫婦のみ」18.2%、「一人暮らし」5.7%、「その他」1.6%となっている。

(38) 回答者の属性 子どもの有無とその年齢

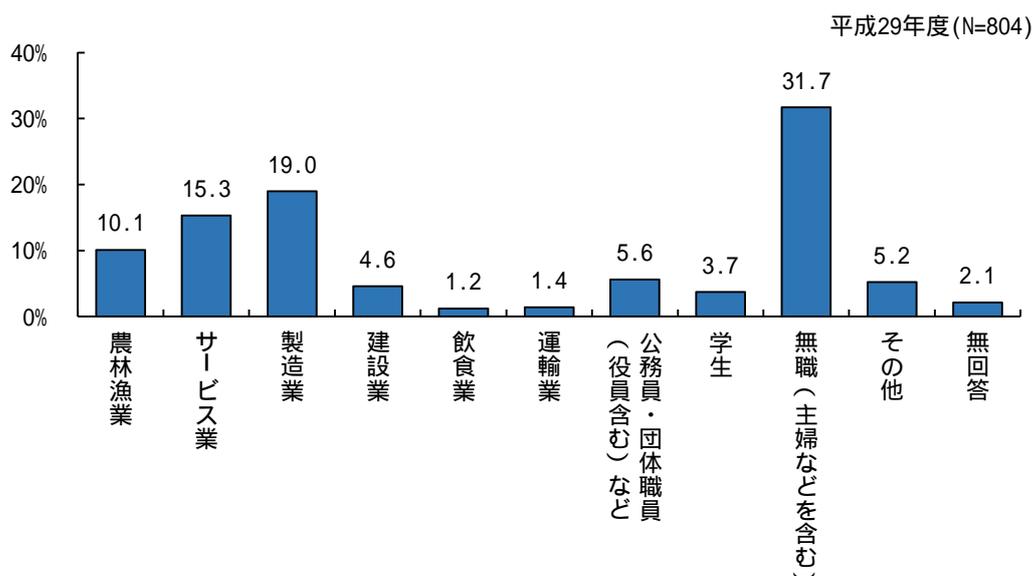
4 あなたにはお子さんがいますか？いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。



子どもの有無とその年齢では、「社会人 (1～6に該当しない場合を含む)」57.7%が最も多く、以下「子どもはいない」20.8%、「小学生」4.6%、「未就学児 (小学校入学前)」4.2%、「短大・高専・大学・大学院・専門学生など」3.9%などとなっています。

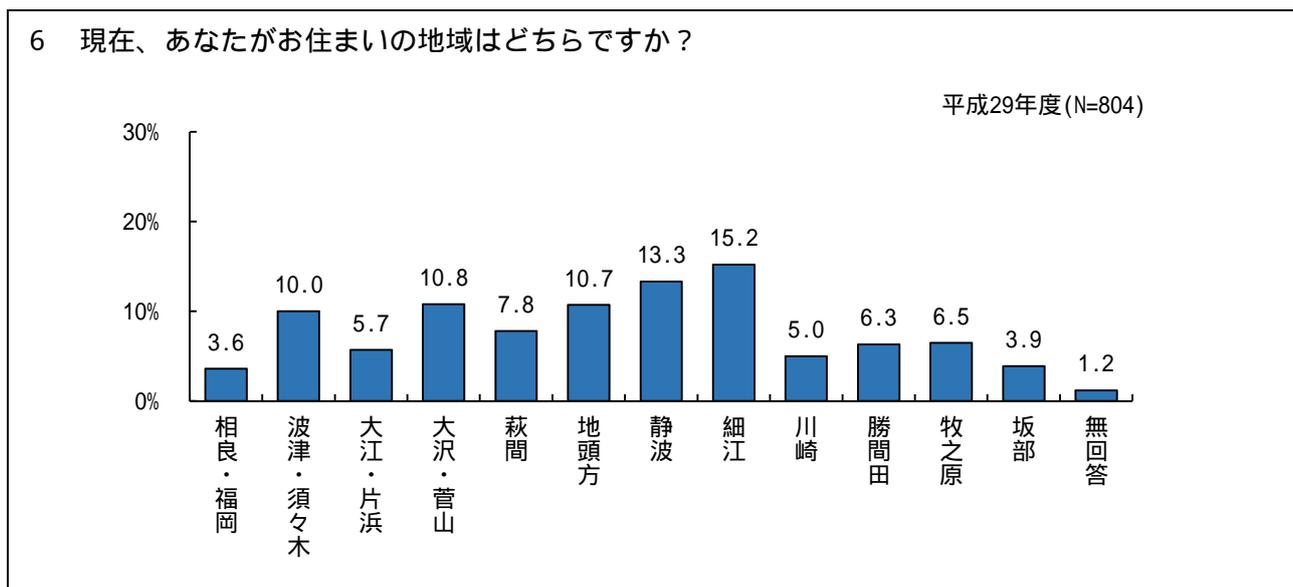
(39) 回答者の属性 職業

5 あなたの職業は？



職業では、「無職 (主婦などを含む)」31.7%が最も多く、以下「製造業」19.0%、「サービス業」15.3%、「農林漁業」10.1%、「公務員・団体職員 (役員含む) など」5.6%などとなっています。

(40) 回答者の属性 居住地域



お住まいの地域では、「細江」15.2%が最も多く、以下「静波」13.3%、「大沢・菅山」10.8%、「地頭方」10.7%、「波津・須々木」10.0%などとなっています。

牧之原市の取り組みに「あなたの声」を聞かせてください！

牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力のお願い ～

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、「対話による協働のまちづくり」のもと、1,500人を超える市民が関わり策定した「第2次総合計画」が、平成27年度にスタートしました。

新しい総合計画では、将来都市像「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEX Tまきのはら」を実現するため、28の施策すべてに設定した数値目標を毎年検証し、改善するPDCAサイクルを導入しています。

この調査は、市民の皆様の声をお聞きすると共に、総合計画に設定した数値目標の進捗をチェックするために実施するものです。

調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。

調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんのでご安心ください。

設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様の声を必ず市政に反映しますので、ご協力をよろしくお願いします。

なお、調査結果については、本年7月に公表を予定しています。

平成29年4月

牧之原市長 西原茂樹



■記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞き取り等でご記入ください。（ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください。）

2. 回答は無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに（1つに○）、（3つ以内）などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けてください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例（①）

■調査票の返送と調査に関するお問い合わせ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒により、市役所政策協働部企画政策課までご返送ください。（切手は不要です。）

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ5月12日（金）までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

牧之原市 政策協働部 企画政策課（担当：田中・大倉） 電話0548-23-0040

<牧之原市での暮らしについてお聞きします>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 市内の他の場所へ移りたい |
| 3. 市外へ移りたい | 4. わからない |

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

▶問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 公共施設や商店がなく生活に不便だから | 2. 通勤や通学など交通面が不便だから |
| 3. 道路などの生活基盤が整備されていないから | 4. 子育てや教育環境が良くないから |
| 5. 医療や介護の環境が良くないから | 6. 自然環境が悪化しているから |
| 7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから | 8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから |
| 9. 知人や親族がいないから | 10. 故郷ではないから |
| 11. 勤めたい会社が市内にないから | 12. その他(具体的に:) |

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

(問3で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

▶問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 健康であるから | 2. 生きがいがあるから |
| 3. 生活環境が良好であるから | 4. 家族や友人との関係が良好だから |
| 5. 治安が保たれているから | 6. 住まいがあるから |
| 7. 生活に余裕があるから | 8. 災害がないから |
| 9. 食生活が良好であるから | 10. 良い職場に勤めているから |
| 11. 活躍できる場があるから | 12. 社会貢献する場があるから |
| 13. スポーツ活動などの趣味が充実しているから | 14. その他(具体的に:) |

<原子力発電についてお聞きします>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に： _____)

ちょっと見て①！ 子育て世帯を支援するため、次の取り組みを行っています。



- ・ 子育て医療費助成・・・0歳から中学生まで個人負担（保険診療分）なし
- ・ まきはぐ・・・スマートフォンやパソコンから予防接種の案内や健診結果、保育園、幼稚園、学校からの連絡など子育て情報を総合的に確認できるシステムを提供
- ・ 放課後児童クラブ・・・1～6年生までを対象に、各地区に設置
- ・ ファミリー・サポート・センター・・・子育ての支援（一時預かりや送迎）を受けたい人と支援を行いたい人を結びつけ、地域で子育てを支援
- ・ 妊産婦通院等支援（平成28年度～）・・・通院などの費用として3万円の商品券を助成
- ・ 病後児保育（平成29年度新規）・・・保育室で病後の回復期の幼児の預かりを実施
- ・ 妊婦出産包括支援（平成29年度新規）・・・妊娠～1歳になるまで専従職員が訪問や相談を実施

<子育て環境についてお聞きします>

問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思えますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実 | 2. 親子で遊べる施設や公園の整備 |
| 3. 子育てに関する経済的支援の充実 | 4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実 |
| 5. 教育・文化水準の向上 | 6. 一時的に子どもを預かる施設 |
| 7. 地震・津波などの災害対策 | 8. 地域で子どもを育てる意識の向上 |
| 9. 子育てについての積極的な情報提供 | |
| 10. その他（具体的に： _____) | |

<“公共施設の更新問題”についてお聞きします>

日本では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一齐に整備しました。現在、これらの公共施設は、一齐に老朽化しつつあり、また、近い将来、一齐に作り直さなければいけない時期を迎えますが、高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、すべての公共施設を維持することが難しくなります。このことは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と言われています。

問 8 あなたは、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」を知っていましたか？あてはまるものに 1 つ〇印をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

問 9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを行っています。あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに 1 つ〇印をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

(問 9 で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。)

▶ 問 10 その情報を何で見聞きましたか？あてはまるもの 全てに〇印をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------------|---------|
| 1. 広報まきのはら | 2. ホームページ | 3. 市の会合 |
| 4. 市民グループの会合 | 5. 職員の話 | 6. 議員の話 |
| 7. 家族や知人 | 8. その他（具体的に： _____） | |

問 11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対して、あなたはどう思いますか？あてはまるものに 1 つ〇印をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------------|-----------|
| 1. 容認できる | 2. ある程度までは容認できる | 3. 容認できない |
|----------|-----------------|-----------|

ちょっと見て②！ 市の産業を統計で見ると

【製造業】製造品出荷額の伸び率 県内の市で第1位（工業統計調査 平成25年から26年の伸び率）

【商業】年間商品販売額（小売業）の伸び率 県内の市で第2位
（商業統計調査 平成24年から26年の伸び率）

【雇用】有効求人倍率（平成27年度）1.44（ハローワーク榛原出張所管内）
5年前から毎年上昇、全国及び静岡県の数値を上回る。



<“産業・雇用”についてお聞きします>

問12 あなたは、市の産業に、活力（元気）があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

（問12で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。）

問13 あなたは、どの産業に活力（元気）があると思いますか。あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|---------------------|--------|-------|
| 1. 農業 | 2. 水産業 | 3. 商業 |
| 4. 工業 | 5. 観光業 | |
| 6. その他（具体的に： _____） | | |

問14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いませんか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 企業誘致の促進 | 2. 既存産業の設備投資などへの支援 |
| 3. 特産品・製品の市外へのPR | 4. 販路開拓や市場調査への支援 |
| 5. 後継者の育成への支援 | 6. 地域資源の活用 |
| 7. 起業・新規就農に対する支援 | 8. イベントの開催 |
| 9. 異なる業種との交流の促進 | 10. 事業者の意識改革 |
| 11. 新たな特産品、新製品、新技術の開発支援 | |
| 12. その他（具体的に： _____） | |

問 23 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ〇印をつけてください。

① 文字の大きさ

1. 大きい 2. ちょうど良い 3. 小さい

② 文字の量

1. 多い 2. ちょうど良い 3. 少ない

③ ページ数

1. 多い 2. ちょうど良い 3. 少ない

④ 見やすさ

1. 見やすい 2. どちらかといえば見やすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば見にくい 5. 見にくい

⑤ 内容

1. 良い 2. どちらかといえば良い 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば悪い 5. 悪い

ちょっと見て③！ 今、こんな事業に取り組んでいます。

- ◆海を活かした産業の活性化
 - ・東京五輪サーフィン事前合宿地（中国・アメリカ）の誘致
 - ・ビーチスポーツのにぎわいなどによる観光まちづくりの推進
- ◆東名相良牧之原インターチェンジ北側の開発
 - ・新たなにぎわいと安心安全な住宅地を創出し、定住・交流人口の拡大
- ◆特産品の PR による販路拡大
 - ・ふるさと納税制度の活用による市の特産品の販売促進
 - ・お茶については、歌手の橋幸夫さんを静岡牧之原茶親善大使に任命し、静岡牧之原茶の知名度向上による販売促進
- ◆富士山静岡空港の立地を活かし、中国資本の国内への投資を呼び込むための事業を推進
- ◆高齢者や免許返納者などの交通弱者等の移動手段の確保のため、モデル地区を選定し、予約に応じて目的地まで運ぶデマンド乗合タクシーの試験運行を実施
- ◆しずてつジャストラインでは、昨年 12 月からしずてつ相良営業所と渋谷駅を結ぶ「高速バス渋谷ライナー」の運行を開始
- ◆榛原総合病院では、平成 29 年 4 月から産婦人科の外来診療日が月～金曜日に
現在、総合内科や小児科をはじめ 21 の診療科で運営
- ◆平成 29 年 3 月、未整備地区への光ファイバー網整備が完了。（市内全域で光ファイバーの供用が可能に）



<牧之原市の行政サービスについてお聞きします>

問 24 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？また、その取り組みが重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←	→ 不満		高い ←	→ 低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取り組み	1	2	③	4	1	②	3	4
【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり								
1 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや学習支援教室などの取り組み、子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
3 こども医療費制度 (医療費の助成により中学生まで個人負担なし)	1	2	3	4	1	2	3	4
4 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
5 障がい者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
6 福祉施設などの整備 (介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
7 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
9 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (指定管理者制度により運営されています)	1	2	3	4	1	2	3	4
11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	←→		不満	高い	←→		低い
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり								
12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
13 小・中学校施設の整備 (校舎の改修やトイレの洋式化、空調の設置など)	1	2	3	4	1	2	3	4
14 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力 向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取 組み	1	2	3	4	1	2	3	4
【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり								
19 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対 策や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
22 茶業安定のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場 の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 起業支援、産業雇用支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 商工業の振興の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	←→		不満	高い	←→		低い
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり								
30 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
31 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
32 計画的な土地利用の推進 (住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担)	1	2	3	4	1	2	3	4
33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
34 生活環境対策などへの取り組み (ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援、環境美化の啓発など)	1	2	3	4	1	2	3	4
35 公害防止対策への取り組み (工場や事業所に対する取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
38 自然環境の保全への取り組み (活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
39 空港を活用するための取り組み (情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
40 公共交通の充実(バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり								
42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
47 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
49 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり								
50 自治会の住民自治活動への支援 (お金と人の支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	1	2	3	4	1	2	3	4
53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み (市では協働を進めています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
54 行政改革の取り組み (効果的、効率的な取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
56 情報通信(光ファイバーなど)の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み (市では三戸町、松川町などとの交流推進に取り組んでいます。)	1	2	3	4	1	2	3	4

<あなたご自身のことについてお聞きます>

問 25 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

2 あなたの年齢は？

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 19 歳以下 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 | 7. 70～79 歳 | 8. 80 歳以上 |

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

- | | | |
|--------------------|----------------|----------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 二世世代家族（親と子） |
| 4. 三世世代家族（親と子と孫）以上 | 5. その他（具体的に：) | |

4 あなたにはお子さんがいますか？いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

- | | | |
|------------------------|-------------------|--------|
| 1. 子どもはいない | 2. 未就学児（小学校入学前） | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生・予備校生・大学受験生 | |
| 6. 短大・高専・大学・大学院・専門学生など | 7. 社会人 | |

5 あなたの職業は？

- | | | | |
|---------|--------------------|---------------------|--------|
| 1. 農林漁業 | 2. サービス業 | 3. 製造業 | 4. 建設業 |
| 5. 飲食業 | 6. 運輸業 | 7. 公務員・団体職員（役員含む）など | |
| 8. 学生 | 9. 無職（主婦などを
含む） | 10. その他（具体的に：) | |

6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 相良・福岡 | 2. 波津・須々木 | 3. 大江・片浜 | 4. 大沢・菅山 |
| 5. 萩間 | 6. 地頭方 | 7. 静波 | 8. 細江 |
| 9. 川崎 | 10. 勝間田 | 11. 牧之原 | 12. 坂部 |

次ページの質問へのご回答もお願いします。

平成 29 年度
牧之原市 市民意識調査
報 告 書

発 行 平成 29 年 6 月
発 行 者 牧 之 原 市
企画・編集 政策協働部 企画政策課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059
E-Mail kikaku@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>